

平成23年度
神戸大学附属図書館年次報告

平成24年9月

編集：神戸大学附属図書館評価委員会

* 附属図書館ホームページ掲載 *

<http://lib.kobe-u.ac.jp/www/>

平成23年度神戸大学附属図書館年次報告

1. 達成度評価

- (1) 達成度評価特記事項 p. 1
- (2) 達成度評価表 p. 3

2. 学習・教育支援

- (1) 開館サービス p. 7
- (2) 学生用資料整備 p. 9
- (3) 資料提供サービス p. 10
- (4) 情報リテラシー教育の推進支援 p. 12
- (5) 設備・機器の整備 p. 16

3. 学術研究支援

- (1) 研究用資料の整備 p. 18
- (2) 電子的情報基盤の整備 p. 20
- (3) 蔵書目録データベースの整備 p. 25
- (4) 資料の保存 p. 26
- (5) その他の研究支援サービス p. 27

4. 社会連携・情報発信

- (1) 一般市民への資料提供サービス p. 28
- (2) 震災文庫 p. 30
- (3) 電子図書館システムによる情報発信 p. 30
- (4) 機関リポジトリによる情報発信 p. 33
- (5) 国際連携 p. 35
- (6) 大学文書史料室 p. 37

5. 管理運営等

- (1) 図書館組織と運営 p. 43
- (2) 事務組織と人事管理 p. 44
- (3) 予算及び財務会計業務 p. 48
- (4) 施設整備・システム整備 p. 50
- (5) 図書館界での諸活動 p. 52

<付録>

基本統計表	p. 53
蔵書・受入等の現況（各館室別）	
サービス業務の現況（各館室別）	
電子的情報サービスの現況	
図書館組織図・事務組織図	p. 57
附属図書館諸会議（議題一覧、委員名簿）	p. 58
附属図書館予算・決算表（運営経費、資料費）	p. 67
附属図書館活動日誌	p. 69

1. 達成度評価

(1) 達成度評価特記事項

項 目	「業務運営の改善及び効率化」
特記事項	該当なし
項 目	「財務内容の改善」
特記事項	該当なし
項 目	「自己点検・評価及び情報提供」
特記事項	<p>【利用者ニーズ・満足度調査及び年次報告書による自己点検評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズや利用者満足度を測る手段のひとつとして、昨年度実施していない館室を中心とした5館室にて「館長、副館長及び分館長と学生との懇談会」を実施した。利用者からの意見・要望をもとに、サービス改善に努めた。(総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館、自然科学系図書館、人間科学図書館、保健科学図書室) ・自己点検評価を含めた「平成22年度神戸大学附属図書館年次報告書」を発行し、ホームページで公開した。
項 目	「その他業務運営」
特記事項	<p>【施設・設備等の整備】</p> <p>○附属図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入退館管理システムの導入(社会科学系図書館、保健科学図書室)及び更新(医学分館)。 ・空調設備更新。(自然科学系図書館) ・中山正實画伯作油彩画4点の修復完了。(社会科学系図書館) <p>○大学文書史料室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害学生教育支援経費により神大会館西側にスロープ設置。 ・イナージェンガスによる自動消火設備設置。

項目	「教育研究等の質の向上」
特記事項	<p>【教育基盤環境の充実】 ・4月より土日の開館時間を午後6時から7時に延長及び年間を通して土日開館を実施し、利用者サービスを拡充した。(社会科学系図書館) ・学内における学生の学習環境(ラーニングコモンズ)の整備に向け、他大学の見学等を実施。</p>
	<p>【情報リテラシー教育】 ・研究者支援のためエルゼビア・ジャパン株式会社と共催で「若手研究者のためのAuthor Workshop—英語論文を読み、投稿してみよう—」を企画・開催した。(日程:11月8日、会場:神戸大学六甲ホール、参加者数:125名)</p>
	<p>【教育研究基盤資料の充実】 ・全学経費(1.5億)及び間接経費(1.4億)により、2011年電子ジャーナル15,023誌及びデータベース31種の提供維持、20%の外国雑誌購読補填を実施した。平成24年度以降の新たな教育研究基盤資料の維持・整備については、今後の値上げ及び為替の予測に基づいた対応策を、実施していく予定。</p>
	<p>【研究支援機能の強化】 ・「神戸大学学術成果リポジトリ」のコンテンツ収集に努めると共に、神戸大学学術成果リポジトリKernel開設5周年記念講演会「Kernelが拓く研究の未来—かわいい論文には世界中、旅をさせよ—」を企画・開催した。(日程:10月26日、会場:神戸大学瀧川記念学術交流会館、参加者数:84名)</p>
	<p>【「震災文庫」の活動:東日本大震災の被災地支援を中心として】 ・災害復興や地震研究・防災対策のため、阪神・淡路大震災における震災関係資料の収集・保存・公開を実施している「震災文庫」は、東日本大震災の被災地支援としてその活動を強化した。被災地における震災資料の収集等を目的とした見学・意見交換を希望する機関を多く受け入れるとともに、各地で開催されるシンポジウム等での講演をおこなった。特に神戸大学附属図書館が地域連携推進室から助成を受けて主催した「東北被災地の図書館と震災資料の収集・公開に係る情報交換会」は参加者数26名となり、被災地図書館への積極的な支援となった。 ・「大学図書館における先進的な取り組みの実践例」(平成23年12月文部科学省)の中で、「震災文庫」の活動が「機関リポジトリのさらなる発展、地域と取り組む震災資料の共有化及びライブラリー・アーカイブズ連携の取り組み」として紹介された。また「デジタルアーカイブの構築・連携のためのガイドライン」(平成24年3月総務省)の中で、デジタルアーカイブの実例として「震災文庫」の活動が紹介される予定である。</p>
	<p>【展示会による資料公開】 ○附属図書館 ・附属図書館資料展「神戸ことはじめ—外国人のいた風景—」開催期間中の社会科学系図書館来館者数57,338名 ・資料展パネル巡回展(神戸大学アカデミア館) 入場者数373名 ○大学文書史料室 ・神戸大学史常設展「神戸大学史展—百年の歩みと展望—」(百年記念館) ・神戸大学史特別展「学生寮の青春譜—神戸大学史にみる寮文化—」(百年記念館) 入場者数492名 ・神戸大学史パネル巡回展(神戸大学アカデミア館) 入場者数329名、(神戸大学東京六甲クラブ)入場者数1,398名:前年度比約2.5倍</p> <p>【大学文書史料室の活動】 ・公文書等の管理に関する法律が定める「国立公文書館等」に相当する施設として、内閣総理大臣による指定を受け、「神戸大学における法人文書等の大学文書史料室への移管等に関する要項」を平成23年4月1日施行した。初の政令指定を受けた国立大学法人6校の文書館等の中でも唯一図書館に附属しており、後継諸機関のモデルケースとして大きく注目され、大学文書史料室の調査・見学等を希望する機関の受入をおこなっている。 ・学内の歴史公文書等の移管文書の受入・整理及び目録作成を開始し、メタデータの作成・公開によりデジタルアーカイブ化への対応を実施した。更には「神戸大学特定歴史公文書等データベース」が、平成24年3月1日より国立公文書館デジタルアーカイブ横断検索に搭載され提供を開始した。また学内職員に対し、歴史公文書等の適切な保存及び移管を確保するために必要な知識・技能を、習得及び向上させるため文書管理者研修を実施した。 ・工学部90周年記念展示(平成23年10月29日開催)に協力し、工学部の歴史についての展示パネルを作成・展示した。また「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」による六甲台本館及び兼松記念館等の改修に合わせて各施設案内パンフレットを考案中であり、神戸大学の歴史にかかる調査研究及び公開等について様々な活動をおこなっている。</p>

(2)達成度評価表

平成23年度附属図書館の活動総括として、附属図書館年次計画に対する達成度自己評価表を示す。

全学中期計画 (図書館年次計画関連部分のみ抜粋)	附属図書館年次計画	自己 評価	自己評価判断理由
<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 1 教育に関する目標</p> <p>(2)教育の実施体制等に関する目標 ○国際的教育研究拠点としてふさわしい、充実した教育を実施するための教育実施体制を強化する。</p> <p>・明確な責任体制の下、大学として必要な教育基盤環境を充実させる。</p>	<p>・附属図書館において施設・設備等の計画的な充実を図る。(H22-27)</p>	IV	<ul style="list-style-type: none"> ・入退館管理システムの導入(社会科学系図書館、保健科学図書室)及び更新(医学分館)。 ・空調設備更新。(自然科学系図書館) ・空調機修理。(総合・国際化学図書室、医学分館、海事科学分館) ・受付カウンター・事務室等を整備。(社会科学系図書館) ・グループ学習室を整備。(社会科学系図書館、総合・国際化学図書室) ・閲覧座席(12席)を増設し、開架閲覧室を整備。(医学分館) ・書庫内に蓄光式の非常口サイン及び避難口誘導サインを設置。(大学文書史料室) ・倒壊の危険性がある展示ホール入口の可動式掲示板を撤去し、ピクチャーレールを設置。(大学文書史料室) ・障害学生教育支援経費(2,689,000円)により神大会館西側にスロープを設置。(大学文書史料室) ・イナージェンガスによる自動消火設備設置。(大学文書史料室) ・中山正實画伯作油彩画4点の修復完了。(社会科学系図書館)
<p>(3)学生への支援に関する目標 ○学生に対する修学支援、生活支援、キャリア形成支援等を充実させる。</p> <p>・修学支援を充実させるため、学習相談をはじめとした支援体制を点検・評価し、改善する。</p>	<p>・附属図書館において、情報リテラシー教育を支援するため、全学共通授業科目「情報基礎」での授業支援活動や対象者・分野を考慮したきめ細かなデータベース講習会及び図書館ガイダンス等を実施する。(H22-27)</p>	III	<ul style="list-style-type: none"> ・全学共通1年次必修授業科目「情報基礎」において、1コマ(90分)を、附属図書館各館室の職員で構成する「情報リテラシー教育支援WG」のメンバーが担当し延べ23回授業を実施、全クラス2,677名が受講。 ・新入生を対象とした図書館ツアー・ガイダンス、留学生オリエンテーション、雑誌論文の探し方ガイダンス、専門講師によるデータベース操作説明会、教員等からの要望にもとづくオーダーメイドガイダンス等を実施。(計127回、1,766名参加) ・利用者の要望や受講者アンケート及び参加人数の実績等を踏まえ、日程・所要時間の見直しを行い、配付資料等を改善。 ・研究者支援のためエルゼビア・ジャパン株式会社と共催で「若手研究者のためのAuthor Workshop—英語論文を読み、投稿してみよう—」を企画・開催。(日程：11月8日、会場：神戸大学六甲ホール、参加者数：125名)
<p>2 研究に関する目標</p> <p>(2)研究実施体制等に関する目標 ○国際的教育研究拠点として、卓越した研究成果を創出するための研究実施体制等を充実させる。</p> <p>・研究者の自律性を尊重し、それぞれの学術領域における研究が発展し得るよう、大学として必要な研究基盤環境を整備する。</p>	<p>・附属図書館は、全学的な教育研究基盤資料である電子ジャーナルや情報データベース等を計画的・安定的に提供する。(H22-27)</p> <p>・平成24年度以降の新たな教育研究基盤資料の維持・整備方策を策定する。(H22-23)</p>	III	<ul style="list-style-type: none"> ・全学経費(1.5億)及び間接経費(1.4億)により、2011年電子ジャーナル(15,023誌)及びデータベース(31種)の提供維持、20%の外国雑誌購読補填を実施。(平成23年電子ジャーナルアクセス数：829,744件) ・平成24年度の財源以降の新たな教育研究基盤資料の維持・整備については、今後の値上げ及び為替の予測に基づいた対応策を、実施していく予定。
	<p>・附属図書館は、外国雑誌センター館機能を持つ人文・社会科学系分野の拠点図書館として、全国共同利用の観点から資料収集を進めるとともに、利用サービスの改善を図る。(H22-27)</p>	III	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、社会科学系図書館において国内未収集の外国雑誌878誌を収集・整理し、全国に文献複写等の情報サービスを提供している。 ・学内外の利用者への迅速な雑誌所蔵情報提供のために、国立情報学研究所全国総合目録データベースへのデータ更新をほぼ毎日実施している。 ・全国の外国雑誌センター館(9館)で来年度以降の資料収集方針を検討中。
	<p>・附属図書館では、本学が所蔵する知的資源や学術成果のデジタル化を推進する。その一環として「神戸大学学術成果リポジトリ」のコンテンツの充実を図り、国内外の各種情報ポータル等への情報提供を行うことにより、学内研究成果の発信に寄与する。(H23-27)</p>	III	<ul style="list-style-type: none"> ・「神戸大学学術成果リポジトリ」として、コンテンツの充実を図った。(登録総数：16,076件、年間ダウンロード数：約50万件) ・各部署等の長宛に学位論文(博士)使用許諾への協力依頼をするとともに、「学位論文(博士)使用許諾書」の配布・回収方法について学内教職員等への周知を行い、学位論文(博士)の登録数の増加に努めた。(登録総数：807件) ・神戸大学学術成果リポジトリ/Kernel開設5周年記念講演会「Kernelが拓く研究の未来—かわい論文には世界中、旅をさせよ—」を企画・開催。(日程：10月26日、会場：神戸大学瀧川記念学術交流会館、参加者数：84名)

全学中期計画 (図書館年次計画関連部分のみ抜粋)	附属図書館年次計画	自己 評価	自己評価判断理由
<p>3 その他の目標</p> <p>(2) 社会との連携や社会貢献に関する目標 ○国立大学の公的な役割を踏まえ、教育研究成果の社会還元を通じて、積極的な社会貢献を行う。</p> <p>・大学の施設・設備の開放、知的資産及び授業の公開等を推進し、地域社会の発展に寄与する。</p>	<p>・附属図書館では、図書館資料を公開する展示会を開催するなど、一般市民の生涯学習を支援し、地域社会への貢献を図る。(H22-27)</p> <p>・大学文書史料室において、法人文書のうち歴史的又は学術的に貴重な文書及び神戸大学の歴史に係る資料の計画的な収集、整理、保存及びそれらに関わる調査研究を行うとともに、公開等の利用に供することにより、地域社会との連携を図る。(H22-27)</p>	<p>III</p>	<ul style="list-style-type: none"> 被災地域の大学の学生・教職員へ、図書館サービスを提供し、被災者支援を実施。(期間:3月18日～9月末、利用者数:13名) 国立情報学研究所と共催で目録システム地域講習会(図書コース)を開催。受講者数:20名 一般市民への図書館開放、本学卒業生・修了者及び放送大学学生等への貸出サービス、学外者への館外貸出サービス(2館)を実施。 附属学校再編計画に伴い、附属中等教育学校生徒(高校生)への図書の貸出を実施予定。(平成24～28年度) 兵庫県大学図書館協議会会長館として、協議会加盟館による一般市民等への学外者サービスについて調査し、公開している。 ○図書館所蔵資料による資料展(附属図書館) ・附属図書館資料展「神戸ことはじめ—外国人のいた風景—」開催期間中の社会科学系図書館来館者数57,338名 ・資料展パネル巡回展(神戸大学アカデミア館) 入場者数373名 ○神戸大学の歴史に係る資料展(大学文書史料室) ・神戸大学史常設展「神戸大学史展—百年の歩みと展望—(百年記念館) 入場者数2,590名(4～1月末) ・神戸大学史特別展「学生寮の青春譜—神戸大学史にみる寮文化—(百年記念館) 入場者数492名 ・神戸大学史パネル巡回展(神戸大学アカデミア館) 入場者数329名、(神戸大学東京六甲クラブ) 入場者数1,398名 ・公文書等の管理に関する法律が定める「国立公文書館等」に相当する施設として、内閣総理大臣による指定を受け、「神戸大学における法人文書等の大学文書史料室への移管等に関する要項」を平成23年4月1日施行。 ・旧百年史編集室所蔵史料の整理及び目録作成を完成。(目録入力総数:19,105件) ・学内の歴史公文書等の移管文書の受入・整理及び目録作成を開始。(移管文書数:約1,000件、寄贈文書数:326件、目録入力総数:19,523件) ・学内職員に対する文書管理の研修実施。 神戸大学職員に対する研修:「神戸大学文書管理者研修」(受講者数:70名) 大学文書史料室職員に対する研修:3回 ・利用案内の作成・配付により広報を充実させた。 ・「神戸大学学報」デジタル画像の作成・公開、デジタルアーカイブ化への対応開始。(「神戸大学学報」デジタル画像作成数:388件) ・「神戸大学特定歴史公文書等データベース」が、平成24年3月1日より国立公文書館デジタルアーカイブ横断検索に搭載され提供開始。 ・室員(専任講師)が、大学史の教育研究及びアーカイブズ学に関する調査研究を実施 ・大学文書史料室資料利用件数:242件 ・他機関からの大学文書史料室の調査・見学等を受け入れた。 (調査及び見学受入件数:9件) ・常設展、特別展及び巡回展を企画・実施。 ・工学部90周年記念展示(平成23年10月29日開催)に協力し、工学部の歴史についての展示パネルを作成・展示。
	<p>・附属図書館において、「震災文庫」の資料収集とデジタル化を進め、震災関係では最大規模のコレクションとして、これを広く社会に公開するとともに、震災関係資料を収集する他機関との連携を図る。(H22-27)</p>	<p>IV</p>	<ul style="list-style-type: none"> 被災者支援のための復旧復興関連文庫の送信提供サービスを実施した。(期間:4月7日～5月31日、利用件数9件) ・前年度に引き続き、資料収集を進めるとともに、震災文庫電子化を継続した(新規受入1,426件、電子コンテンツ登録75件)。これにより資料総数は49,120件となり、電子コンテンツ登録総数は4,914件となった。(メタデータ作成総数:266,505件) ・震災文庫(来館者数:295名、HPアクセス数:36,431件) ・「震災文庫」と「阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター」所蔵図書資料の横断検索システムのデータ更新を継続しており、新たに兵庫県立図書館が参加(3月15日公開)。 ○「震災文庫」の見学及び意見交換等。 ・被災地における震災資料の収集を目的とした見学・意見交換会等。(実施件数:21件 4月5日毎日新聞社、他) ・震災資料収集組織構築・デジタルアーカイブの構築を目的とした見学・意見交換会等。(実施件数:4件 5月23日経済産業省、他) ○シンポジウム等における「震災文庫」の活動。 ・11月9～11日第13回図書館総合展特別フォーラム「東日本大震災からの復興と震災への備えに向けて」(発表:神戸大学「震災文庫」が伝えてきたもの)、他。(講演件数:4件) ○被災地図書館の震災資料収集を支援する情報交換会を神戸大学で開催。 ・2月21～22日「東北被災地の図書館と震災資料の収集・公開に係る情報交換会」(神戸大学附属図書館主催 参加者数:26名)を本学地域連携推進室から助成を受けて開催。 ・文部科学省が取りまとめた「大学図書館における先進的な取り組みの実践例」(平成23年12月)の中で、「震災文庫」の活動が「機関リポジトリのさらなる発展、地域と取り組む震災資料の共有化及びライブラリー・アーカイブズ連携の取り組み」として紹介された。 ・総務省による「デジタルアーカイブの構築・連携のためのガイドライン」(平成24年3月)の中で、デジタルアーカイブの実例として「震災文庫」の活動が紹介された。
	<p>・附属図書館では、経済関係資料・古文書等の図書館所蔵資料や学内研究成果等のデジタル化を推進することにより、本学の知的資源を社会に発信する。(H23-27)</p>	<p>III</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「神戸大学学術成果リポジトリ」として、コンテンツの充実を図った。(登録総数:16,076件、年間ダウンロード数:約50万件) ・経済関係資料では、新聞記事文庫のデジタル化について、本年も引き続き科研費補助金(研究成果公開促進費)を12,600,000円獲得し、全文テキスト化を実施。新聞記事文庫の電子コンテンツ作成総数は254,813件となった。 ・人文学研究科地域連携センターと連携し、「神戸大学附属図書館所蔵郷土文書類目録」の作成・公開を継続実施。 ・各部署等の長宛に学位論文(博士)使用許諾への協力依頼をするとともに、「学位論文(博士)使用許諾書」の配布・回収方法について学内教職員等への周知を行い、学位論文(博士)の登録数の増加に努めた。(登録総数:807件) ・神戸大学学術成果リポジトリ/Kernel開設5周年記念講演会「Kernelが拓く研究の未来—かわいしい論文には世界中、旅をさせよ—」を企画・開催。(日程:10月26日、会場:神戸大学瀧川記念学術交流会館、参加者数:84名)

全学中期計画 (図書館年次計画関連部分のみ抜粋)	附属図書館年次計画	自己 評価	自己評価判断理由
<p>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標 1 組織運営の改善に関する目標</p> <p>○機動的かつ柔軟な大学経営を実現するため、効果的な人的資源管理を行う。</p> <p>・人的資源管理を推進するため、事務職員の採用・配置・養成、並びに人事考課に基づく処遇について、点検・評価し、改善する。</p>	<p>・附属図書館において、専門の情報サービスが行えるよう、専門主題や専門資料に関する知識習得等職員の養成を図る。(H22-27)</p>	III	<p>学外の各種図書館関連の専門主題(漢籍・古典籍等)及び専門資料に関わる研修に多数職員を派遣した。その成果は、報告書の提出や報告会の開催の義務付けにより、図書館職員全体の能力開発に役立っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「漢籍整理長期研修」(1名受講) ・「公文書管理法制セミナー」(1名受講) ・「大学図書館近畿(近畿)中級研修」(4名受講) ・「古文書合宿」(1名受講) ・「漢籍担当職員講習会(初級)」(1名受講) ・「日本古典籍講習会」(1名受講) ・「アークス研修Ⅱ」(1名受講)他
<p>2 事務等の効率化・合理化に関する目標</p> <p>○卓越した大学経営を実現するため、業務改善を推進する。</p> <p>・定期的な事務業務を点検・評価し、改善するとともに、必要に応じて事務組織の見直しを行う。</p>	<p>・専門の情報サービスに必要な知識・能力の向上を図るための研修会等に職員を積極的に参加させる。(H22-27)</p>	III	<p>専門の情報サービスに必要な知識・能力の向上を図るため、学内外の研修会等に多数職員を派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「情報システム統一研修」(2名受講) ・「アプリケーションソフトウェア研修」(3名受講) ・「ILLシステム講習会」(1名受講) ・「NACSIS-CAT/ILLワークショップ」(1名受講) ・「科学技術情報資料研修」(1名受講) ・「学術ポータル担当者研修」(1名受講) ・「目録システム地域講習会」(4名受講) ・「図書館等職員著作権実務講習会」(1名受講) ・「機関リポジトリ新任担当者研修」(講師1名派遣、1名受講) ・「学術情報リテラシー教育担当者研修」(1名受講) ・「機関リポジトリ中堅担当者研修」(1名受講) ・「NAIST電子図書館学講座」(1名受講)他 <p>神戸大学附属図書館職員として必要な知識の共有を図るため、全職員を対象に「震災文庫」「神戸大学図書館史」等についての情報交換会を実施した。(日程:12月28日、参加者数56名)</p>
<p>2 事務等の効率化・合理化に関する目標</p> <p>○卓越した大学経営を実現するため、業務改善を推進する。</p> <p>・定期的な事務業務を点検・評価し、改善するとともに、必要に応じて事務組織の見直しを行う。</p>	<p>・業務の合理化・質的向上と職員の活力向上を図り、研究・教育活動に密着した支援サービスを推進するために、図書館業務の点検・評価を行う。(H22-23)</p> <p>・点検・評価結果を踏まえて図書館業務の見直しを実施する。(H24)</p> <p>・実施後の状況を点検し、必要に応じて改善を図る。(H25-27)</p>	III	<ul style="list-style-type: none"> ・各図書館室の平成22年度事業計画書に基づき、「事業達成度及び評価・反省点」を提出させ、各担当による評価を行った。また「平成23年度事業計画・課題表」を提出させ、それに基づき各館室の点検を実施した。 ・業務改善ワーキンググループに参加し、すでに提出されている業務改善対応策の取組状況の点検を実施した。 ・図書館業務の見直しを実施し、新たな業務改善について提案した。
<p>V その他業務運営に関する重要目標</p> <p>1 施設設備の整備・活用等に関する目標</p> <p>○全学的視点に立った施設マネジメント及び環境マネジメントを更に推進する。</p> <p>・全学的視点に立った施設マネジメントを推進するため、施設・設備の有効活用の観点から、継続的に施設点検と評価を実施し、計画的な施設・設備の整備・保全を行う。また、医学部附属病院立体駐車場施設整備等事業及び農学系総合研究棟改修事業をPFI事業として確実に推進する。</p>	<p>・附属図書館では、重複資料、不用資料等の処分を計画的に実施し、収蔵スペースの有効活用を図る。(H22-27)</p>	III	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵スペースの有効活用を図るため、重複雑誌等の廃棄を実施。(総合・国際文化学図書館、自然科学系図書館、人間科学図書館、医学分館、経済経営研究所、海事科学分館) ・資産点検における不明図書について毎年追跡調査を行い、不明期間が3年以上経過した資料の不用決定を実施。(総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館、人文科学図書館、人間科学図書館、海事科学分館)
<p>2 安全管理に関する目標</p> <p>○大学の諸活動における安全性の向上を目指すとともに、情報セキュリティ対策を推進する。</p> <p>・学生及び教職員の安全並びに情報セキュリティに対する意識を向上させるため、各種法令等の周知・徹底を行う。</p>	<p>・プレゼンテーション・ホールの利用について点検・評価を行い、関係規則の見直しを検討する。(H22-24)</p> <p>・図書館施設・設備の安全点検に努め、利用者・職員の事故等防止のための改善を着実に進める。(H22-27)</p>	III	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページのプレゼンテーション・ホールの利用案内を改善し、広報の充実を図った。 ・平成24～25年度に予定されている附属図書館改修に伴い、図書・備品等の保管場所として使用するため、プレゼンテーション・ホールの利用を休止。
	<p>・安全衛生に係る講習会や研修会に職員を積極的に参加させ、意識向上を図る。(H22-27)</p>	III	<p>安全衛生に係る講習会等に職員を参加させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「メンタルヘルスマネジメント検定試験Ⅱ種受験を含むメンタルヘルス研修」2名受講し、試験に2名とも合格した。 ・「救急講習会」(7名受講)

全学中期計画 (図書館年次計画関連部分のみ抜粋)	附属図書館年次計画	自己 評価	自己評価判断理由
<p>・大学の諸活動における安全性の向上を目指すため、安全衛生環境及び管理体制を点検・評価し、改善する。</p>	<p>・附属図書館では、館内点検を継続実施するために、安全衛生管理の有資格者の計画的な増員を図る。(H22-27)</p> <p>・図書館施設・設備の安全点検に努め、利用者・職員の事故等防止のための改善を着実に進める。(H22-27)</p>	<p>III</p>	<p>・第一種衛生管理者試験の受験準備講習会(8月3～5日)を1名受講し、試験に合格した。</p> <p>・各館室の避難経路等の防災対策調査を行った。蓄光式の非常口サイン及び避難口誘導サイン等を整備した。</p> <p>・安全衛生委員(衛生管理者)の館内点検を、毎週継続実施している。</p> <p>平成23年度は、安全衛生に関わる営繕工事について、以下を実施。</p> <p>・入退館管理システムの導入(社会科学系図書館、保健科学図書室)及び更新(医学分館)。</p> <p>・空調設備更新。(自然科学系図書館)</p> <p>・空調機修理。(総合・国際文化学図書館、医学分館、海事科学分館)</p> <p>・書庫内に蓄光式の非常口サイン及び避難口誘導サインを設置。(大学文書史料室)</p> <p>・倒壊の危険性がある展示ホール入口の可動式掲示板を撤去し、ピクチャーレールを設置。(大学文書史料室)</p> <p>・障害学生教育支援経費(2,689,000円)により神大会館西側にスロープを設置。(大学文書史料室)</p> <p>・イナージェンガスによる自動消火設備設置。(大学文書史料室)</p>
<p>3 法令遵守に関する目標</p> <p>○適正な大学運営を行うため、大学の諸活動における法令遵守はもとより、大学倫理を徹底する。</p> <p>・大学の諸活動における法令遵守を徹底し、大学の社会的責任を果たすため、学生及び教職員に対する啓発活動を充実させるとともに、内部監査体制等を実質化する。</p>	<p>・ハラスメント防止のため、ポスターの掲示等により、構成員への啓発を推進する。(H22-27)</p>	<p>III</p>	<p>・昨年度に引き続きハラスメント防止のため、3名のハラスメント相談員を図書館職員より選出し、相談員を中心として図書館構成員及び利用者への啓蒙活動を掲示等により進めた。</p>
<p>4 広報活動の充実に関する目標</p> <p>○大学の多様な情報を発信するため、戦略的な広報活動を展開する。</p> <p>・学内の様々な情報を収集、発信するため、学内組織の連携体制を強化する。</p>	<p>・各種の情報やサービスが統合的にタイムリーに利用できるように図書館ホームページの充実を図る。(H22-27)</p>	<p>III</p>	<p>・昨年度追加されたポータル機能について、ガイドランス等を通じ利用者への普及を図った。</p> <p>・お知らせ等のコーナーで常に最新で有用な情報を提供し、広報機能の主力として活用し充実を図った。</p> <p>・生協による学生への携帯配信及び食堂トレイ広告を利用した広報を開始した。</p>
<p>・学生及び保護者、卒業生をはじめとした多様なステークホルダーのニーズに応えた戦略的な広報活動を推進する。</p>	<p>・英語版図書館ホームページの整備・充実を図る。(H22-27)</p>	<p>III</p>	<p>・利用案内等、トップページからリンクした主なページについて、英語版を公開し、英語版ホームページを充実した。</p>

2. 学習・教育支援

(1) 開館サービス

<開館状況>

		総合・国際	社会科学系	自然科学系	人文科学	人間科学	研究所	医学分館	保健科学	海事分館
通常期	平日	8:45-21:30	8:45-21:30	8:45-21:30	8:45-20:00	8:45-21:00	8:45-17:00	8:45-21:00	8:45-20:00	8:45-20:00
	土曜	10:00-18:00	10:00-19:00	10:00-18:00	10:00-18:00	10:00-18:00	休館	9:00-17:00	10:00-18:00	10:00-18:00
	日曜	休館	10:00-19:00(注1)	休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館
休業期	平日 17:00まで 土日休館	通常期と同じ	平日 17:00まで 土日休館	平日 17:00まで 土日休館	平日 17:00まで 土日休館	通常期と同じ	通常期と同じ	平日 17:00まで 土日休館	平日 17:00まで 土日休館	
試験期 特別開館	日祝 10:00-18:00	祝 10:00-19:00	日祝 10:00-18:00	平日21:00 まで延長 日祝 10:00-18:00	日祝 10:00-18:00	通常期と同じ	通常期と同じ	通常期と同じ	平日21:00 まで延長 日祝 10:00-18:00	

(注1) 毎月第1日曜日は除く

- ・平成23年度の開館時間帯は上表のとおりである。
- ・社会科学系図書館においては、利用者サービス向上のため、平成23年度から、従来は閉館していた8月の土・日曜日にも開館することとした。また、土・日曜日の開館時間も、10時から18時までであったところを、10時から19時までとし、1時間延長した。
- ・前年度に引き続き9月末日まで、平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」で被災された地域の大学に所属し、震災のために兵庫県や近隣府県に滞在せざるを得なくなった学生・教職員を対象に、全館室で本学学生・教職員とほぼ同等の図書館サービスを提供した。

<入館状況>

平日 8:45～17:00 時間帯の1日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H23/H22	0.88	1.02	0.92	0.94	0.75	0.98	1.14	1.00	0.66	0.92
H22年度	1155.3	715.3	456.8	267.9	388.5	17.8	238.3	371.5	187.6	421.5
H23年度	1013.8	726.7	422.2	252.2	292.3	17.5	272.8	369.9	124.2	386.4

- ・上表は、平日 8:45～17:00 の時間帯の1日あたりの入館者数を平成22年度と比較したものである。
- ・平成23年度から入館退管理システムの運用を開始した総合・国際文化学図書館、自然科学系図書館、人間科学図書館、海事科学分館での減少が顕著である。
- ・後述するように、貸出冊数自体は前年度とほとんど変わらないことから考えて、より正確な入館者数が得られるようになったとも言える。

<夜間開館>

平日夜間（17:00～）時間帯の1日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H23/H22	0.49	1.05	0.50	1.03	0.59	—	1.17	1.14	0.40	0.76
H22 年度	403.1	293.9	238.9	68.2	89.5	—	73.5	94.3	55.1	166.1
H23 年度	196.8	307.9	119.6	70.1	53.2	—	86.2	107.2	22.0	126.1

- ・平成22年度と比較すると、入退館管理システム導入館では、ほぼ半減していることが分かる。入退館管理システムの影響が、特に夜間開館に強く現れている。

<土曜・日祝開館>

土曜・日祝日の1日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H23/H22	0.41	1.11	0.80	1.10	0.86	—	1.15	0.99	0.63	0.88
H22 年度	429.7	366.0	213.9	65.9	66.8	—	94.0	147.1	52.9	200.6
H23 年度	175.8	404.7	170.5	72.3	57.2	—	108.5	145.2	33.4	176.4

- ・夜間開館同様、入退館管理システム導入館で大きな減少が見られる。
- ・それに対して、開館時間を延長し、開館日数も増やした社会科学系図書館では入館者数がかなり増加している。

<24時間開館>

- ・前年度に引き続き、医学分館と自然科学系図書館で24時間開館を実施した。利用者数は右表のとおりである。
- ・両者の利用者数に大きな開きがあるのは、医学分館では、主に医学科2年次以上（10月からは保健学科2年次以上を含む）の学生が自学自習のために利用しているのに対し、自然科学系図書館では、院生等が雑誌論文の複写のために入館するといった利用が中心となっているからである。

	自然系	医学
H23/H22	1.48	0.96
H22 年度	208	17,533
H23 年度	308	16,899

◆評価と課題

平成23年度の入館者数は1,076,805人で、平成22年度と比べて、全体数としては12%（約14万5千人）減少した。これは、前述したとおり、入退館管理システムの導入が、利用者カードを携行し忘れた者や学外者などへの心理的な障壁となり、入館を諦めるケースがままあったのではないかと推測される。しかしながら、図書館利用者の安全・安心のためのシステムであり、また利用者を今まで以上に正確に把握し、サービスの改善へと繋げるためのシステムである以上、適切な運用を続けなければならない。平成24年3月には、社会科学系図書館、保健科学図書室に新たに入退館管理システムが導入された。医学分館では、従来からシステムを導入していたが、この機会にシステム更新が行われ、平成24年度からは、7館で共通の入退館管理システムが稼動することになった。

入退館管理システムが利用者の心理的な障壁にならぬよう、図書館自体が利用者にとって、一層魅力的な場、学習空間へと変わって行く必要がある。ラーニングコモンズの設置など、施設、設備の改善を行い、自然に利用者が集まるような環境づくりを進めることが重要である。

(2) 学生用資料整備

館室別の蔵書数、受入図書冊数、資料費総額等は別添基本統計のとおりである。

<資料費予算と重点整備>

- ・ 図書館予算（図書館セグメント）として各館室に配分する経費と、サービス対象部局から拠出された経費（部局セグメントの図書資料費）を合わせて、各館室の学生用資料整備を行う予算構造となっている。
- ・ 平成 23 年度は図書館予算として 6,000 万円（内 e-study 資料費 550 万円）規模とし、部局拠出分と合わせて引き続き学生用図書資料の充実を図った。これは平成 22 年度と同様に部局拠出分が減少するなかで、学生用図書費の維持を最重点の事項として予算確保し、部局拠出分と合わせ計画的で着実な資料整備を目指すことが、附属図書館運営委員会で承認されたことによるものである。
- ・ 平成 18 年度より震災文庫資料費（50 万円）は独立した予算項目となっている。
- ・ 平成 16 年度より実施している装備付納品を、引き続き総合・国際文化学図書館（2,180 冊）、社会科学系図書館（1,498 冊）、自然科学系図書館（1,832 冊）、人間科学図書館（836 冊）、保健科学図書室（747 冊）において実施し省力化・合理化を進め、その人的資源を目録遡及入力作業等に投入した。

<各館室の整備状況>

H23 受入	総合	国際	社会	自然	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
図書冊数	4,467	380	3,224	3,026	342	2,011	195	1,508	1,090	944	17,187
雑誌種数	90	12	41	158	23	115	0	212	105	0	756

- ・ 各館室では配分された資料費をもとに関係部局のシラバス掲載図書の購入をはじめ参考図書、授業関連図書等の資料整備を行った。

<選書体制と収集方針>

- ・ 平成 16 年度に「学生用資料整備計画大綱」（附属図書館運営委員会決定）に基づき各館室図書委員会にて学生用図書資料の範囲、選定体制・方法等の整備計画の策定を行った。
- ・ 総合図書館では「総合図書館学生用資料整備計画」を策定するとともに学生用資料整備を推進するため「総合図書館資料選定委員会」（構成委員は職員）を立ち上げて具体的な選書スケジュール、選書手順などについて検討し、資料整備を進めた。
- ・ また、総合図書館では、学生の声を資料選定に反映させるための試みとして、「学生選書ツアー」（学生が図書館に置いてほしい図書を、書店の店頭で直接手にとって内容を確認しながら選定するというもの）を平成 22 年度に引き続き実施した。11 月 17 日（木）、ジュンク堂書店三宮店において、午前の部（10：00～）と午後の部（14：00～）の 2 回に分けて実施。あわせて 19 名の学生（学部生 9 名、院生 10 名）が参加して約 270 冊が選書され、重複等を除いて最終的に 204 冊を購入した。学生が必要とする資料の一層の充実を図るため、今後も、こうした取り組みを継続する方針である。

<選書評価>

- ・ 平成 18 年度から、前年度に整備した学生用図書の利用状況の分析及び収集資料の評価を開始した。
- ・ 平成 21 年度からは、各館室とも共通したフォーマットによる選定評価を行っている。

◆評価と課題

平成 17 年度以降、学生用資料費の図書館予算が大幅に増額され、概ね要求は満たされたものとなっており、引き続き教育・学習活動の支援・拡充を図るため、現行の予算規模を維持する必要がある。

平成 22 年度に整備した学生用図書を選定評価を実施した結果、選定が蔵書構成上並びに利用上ほぼ適切に行われたことが実証されている。(附属図書館運営委員会〔平成 23 年度第 5 回開催〕に選定結果及び評価として資料配付の上報告)

(3) 資料提供サービス

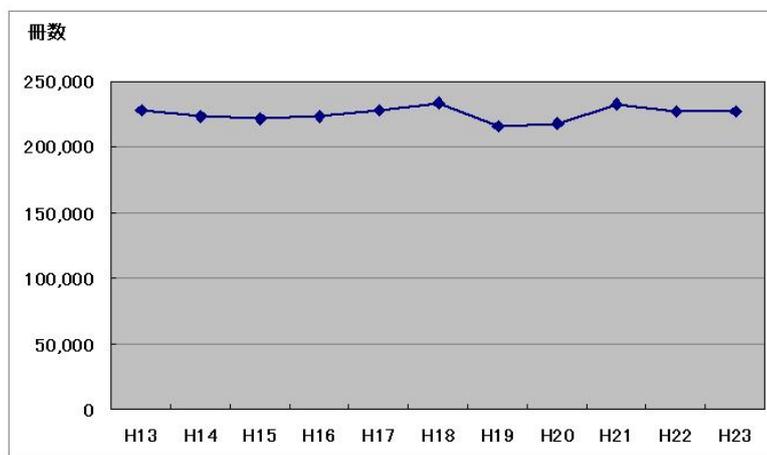
入館者数、貸出冊数等は別添基本統計のとおりである。相互利用サービスについては、3(5)に後述する。

《貸出サービス》

貸出冊数等の条件面での変更など、特に運用に関係する変更はなかった。

<貸出冊数(学生・院生)経年推移>

平成 13 年度から平成 23 年度までの図書館全体の貸出冊数の経年推移を右に掲げた。



<館室別学生・院生貸出冊数>

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H23/H22	1.01	0.97	0.97	0.97	1.24	0.71	0.91	1.01	1.00	1.00
H22 年度	60,743	61,996	35,434	15,087	16,254	607	8,121	14,948	13,988	227,178
H23 年度	61,294	59,883	34,479	14,590	20,233	431	7,399	15,027	14,009	227,345

- ・ 全体としては、ここ 10 年以上、一貫して 22 万冊前後の高い貸出数が維持されており、充実した貸出サービスが提供されていると言える。
- ・ 社会科学系図書館、自然科学系図書館、人文科学図書館、医学分館でやや減少しているが、人間科学図書館が大きく貸出数を伸ばしたため、前年度とほぼ同数となった。

＜卒業生及び修了者に対する貸出＞

本学卒業生及び修了者に対する図書資料の貸出サービスは、平成 21 年 3 月から行っているが、平成 23 年度は前年度より利用登録者数、貸出数ともに大幅に増加した。中でも社会科学系図書館の利用が半数近くを占めている。

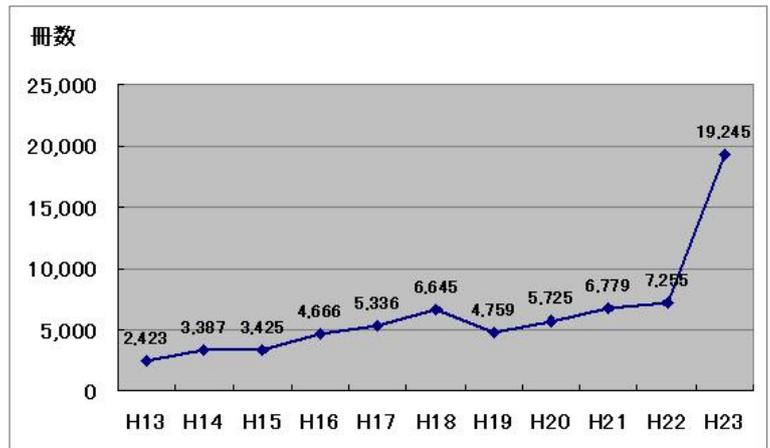
	利用登録者数	貸出冊数
H23/H22	1.71	1.22
H22 年度	328	2,729
H23 年度	560	3,324

《デリバリ（図書配送）サービス》

＜デリバリサービス貸出冊数推移＞

デリバリサービスは、平成 12 年度後期から、院生・教職員（異キャンパス間は学部学生も）を対象に開始され、年とともに貸出数を伸ばしてきていた。

平成 23 年度からは、六甲台キャンパス内の学部学生にもサービスを拡大したことから、貸出冊数が激増した。貸出冊数の経年変化を右に掲げた。



＜館別デリバリ発送・受取冊数＞

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
発送冊数	5,860	4,661	1,084	1,391	2,844	—	527	962	1,916	19,245
受取冊数	5,150	4,119	2,017	4,383	2,359	—	300	268	649	

- ・ 上の表は、取寄せ申し込みに応じて、他館室へ発送した冊数と他館室から受け取った冊数を館室別にまとめたものである。
- ・ 館によって違いはあるが、いずれの館でも貸出数は大きく増加し、全体数としては前年度比 2.65 倍にもなっている（前年度 7,255 冊）。
- ・ サービスを拡大した六甲台キャンパス内のみならず、遠隔地キャンパスでも同様に増加している。

◆評価と課題

学生の貸出冊数は、全体としては平成 19 年度の総合・国際文化学図書館の耐震改修工事の影響から回復し、工事前の水準を維持している。卒業生及び修了者に対する貸出は、開始から 2 年が経過し、生涯学習を支援するサービスとして定着したと言える。

デリバリサービスは、平成 19 年度の耐震改修工事の影響による一時的減少を除けば、当初から増加傾向を継続しており、平成 22 年度は貸出冊数が開始当時の約 3 倍に達した。さらに平成 23 年 1 月の業務システムリプレイスに伴い、予約サービスと一体化し、申し込み手続きが OPAC の結果から簡便にできるように改善されたこと、及び平成 23 年度からの六甲台キャンパス内における学部学生へのサービス拡大により、一気に増加した。利用者にとっては最寄りの図書館で全館の図書が利用できることになり、利用者サービスとして一歩前進したと評価できる。更に、平成 24 年度からは、経済経営研究所図書館を除き、どの館室でも図書の返却が可能となる「どこでも返却サービス」も開始されることとなっており、一層のサービスの充実を図る方針である。

学生用図書費が伸び悩む中、今のところは貸出総冊数に大きな変化は見られないが、デリバリサービスの拡大が貸出サービス全体の活性化につながるかどうか、今後も注意深く見守る必要がある。同時に、このサービスの実施には、事務に大きな負担がかかるため、急激な増加に対する対応を考えていく必要がある。

(4) 情報リテラシー教育の推進支援

<情報リテラシー教育支援>

- 平成 16 年度より設けられた全学共通教育必修科目「情報基礎」では、平成 20 年度より 1 コマ (90 分) が「情報の活用：レポート・論文作成のための情報リソース活用法」にあてられ、5 月中旬～6 月下旬を中心に計 23 回 (補講・再履修を含む) 講義 (実習を含む) を行った。
- 平成 20 年度より情報リテラシー係と各館室のサービス係員から構成される「情報リテラシー教育支援 WG」を組織して、課題やちからだめしなども改訂し、WG メンバーで分担し講義を行った。学部新生全員に補講受講者等を加え、約 2,700 人が受講した。
- 基本となる図書館ホームページ上のサービス紹介をはじめ、レポート・論文作成の際に役立つ、各種データベースの紹介、所蔵検索 OPAC (実習を含む)・各種 Web サービス等を中心とする内容で実施した。
- 次年度に向けて、授業内容やテキスト・課題・理解度テスト (ちからだめし) の再検討を行った。

＜オリエンテーション、ガイダンス＞

- ・ 情報リテラシー係を中心に情報リテラシー教育支援 WG メンバーで以下のガイダンスを開催した。

名称	内容	時期	時間	会場	回数	参加者
留学生オリエンテーション	施設紹介・利用全般	4、10月	10分	六甲ホール	2	510
館内ツアー、検索ガイダンス	OPACの検索方法 資料入手方法、他	4、5月	15～20分	各館室	60	194
雑誌論文の探し方 「国内編」と「海外編」	CiNii、Jdream 、WOS 電子ジャーナル	6月上旬	60分	自然科学系図書館	4	51
Web of Science 操作説明会 (自然科学編)	Web of Science	6月上旬	60分	自然科学系図書館	2	33
SciFinder 講習会	SciFinder	6月上旬	90分	自然科学系図書館	2	22
Web of Science 操作説明会 (社会・人文編)	Web of Science	6月中旬	60分	社会科学系図書館	2	34
日経テレコン操作説明会	情報収集、操作説明	6月下旬	60分	社会科学系図書館	2	34
雑誌論文の探し方 「国内編」と「海外編」	医中誌、PubMed、WOS 電子ジャーナル	8月上旬	60分	保健科学図書室	4	47
CINAHL 操作説明会	CINAHL(PsycINFO)	8月上旬	60分	保健科学図書室	2	14
雑誌論文の探し方 「国内編」と「海外編」	CiNii、Jdream 、WOS 電子ジャーナル	10月下旬	70分	自然科学系図書館	4	18
Web of Science 操作説明会 (自然科学編)	Web of Science	11月上旬	60分	自然科学系図書館	2	21
Web of Science 操作説明会 (海事科学編)	Web of Science	11月上旬	60分	海事科学分館	2	37
日経テレコン操作説明会	情報収集、操作説明	11月中旬	60分	社会科学系図書館	2	12
雑誌論文の探し方 「国内編」と「海外編」	Econlit、CiNii 電子ジャーナル	11月中旬	70分	社会科学系図書館	4	29
雑誌論文の探し方 「国内編」と「海外編」	CiNii、Jdream 、WOS 電子ジャーナル	11月下旬	70分	人間科学図書館	4	21
PsycINFO 操作説明会	PsycINFO	11月下旬	60分	人間科学図書館	2	20
オーダーメイドガイダンス	雑誌論文検索方法等 依頼内容を説明	4-2月	60～120分	国文・人間・ 社会・海事・保健等	25	526
				計	125	1,623

- ・ Web of Science、SciFinder、日経テレコン 21、CINAHL、PsycINFO のガイダンスは、各キャンパスからの要望にも応えつつ、ベンダーから専門講師を招いて実施した。その他は情報リテラシー係職員が講師を務めた。
- ・ 前期の新生を含む利用者へは、各館室で図書館ツアーを集中的に実施した。
- ・ 「情報の探し方ガイダンス」は、遠方のキャンパスも含む 4 つの館室で実施した。また、情報リテラシー係主体で、教員からの依頼によるオーダーメイドガイダンスも多数実施した。

- ・ 実施会場には iMac 端末の設置場所を設定し、参加者が端末操作して実習できるようにしている。広い会場には、スピーカとマイクを持ち込んで使用したり、指し棒やポインタの操作を工夫したりして、理解しやすいようにつとめた。また、後期の「情報の探し方」等のガイダンスより、実施時間を 10 分延ばして 70 分とし、内容の改善を図った。
- ・ ちらし・ポスターや、ホームページ上のお知らせなどに、情報リテラシー系のメールアドレスや HP の URL を組み込んだ QR コードを採用するなど、利用者が参加しやすいように工夫した。
- ・ 平成 21 年 6 月から開始した「神大図書館 NEWS」の普及を更に促進すると共に、ガイダンスやトライアル、図書館行事等、様々なニュースを発信して広報に活用した。1 年間で No.55～83 の 29 回発信した。加えて、今年度は初めて生協の携帯配信サービスを、ガイダンス等の広報に活用した。

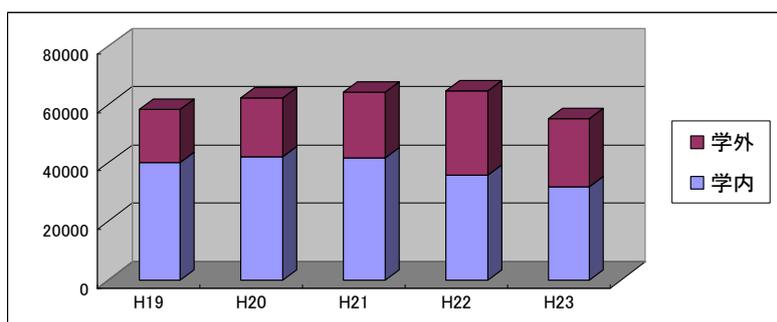
<ワークショップ>

- ・ 今年度、初の試みとして、11 月 8 日に、附属図書館とエルゼビア・ジャパン株式会社との共催により、大学院生や若手研究者を対象とした、英語論文執筆のためのワークショップ「若手研究者のための Author Workshop—英語論文を読み、投稿してみよう—」を開催した。参加者は 125 名、身分別では大学院生が 65%、教員が 21%であった。アンケート回答にも、「大変参考になった」「次回もまた参加したい」といった声が寄せられ、大変充実した有意義なものとなった。

<図書館ホームページの維持・更新>

- ・ 月平均アクセスは約 55,200 件となっている（月別アクセス数は別添統計【p56】のとおり）。
- ・ 図書館ホームページについては、訪問者を求める情報に効率的に導けるよう、恒常的に調整を図った。
- ・ 今年も昨年に続き英語版の HP の作成、充実を図り、英語版 HP のトップページからリンクした主要ページについて、国際企画課のネイティブ職員による校閲にもとづき一部修正した。また、英語版 OPAC の館名表記を全館的に統一した。
- ・ ガイダンスに際して作成した資料をホームページに順次アップした。また、各種情報のメンテナンス及び新着事項の掲載等を引き続き行った。

<図書館トップページ月平均アクセス数>



◆評価と課題

必修科目「情報基礎」は 8 年目に入り、滞りなく運営できた。「情報の探し方」等のガイダンスに積極的に参加する利用者はある程度限定されるので、新入生全員を対象とした必修授業において図書館が果たすべき教育支援への効果は大きい。

4 年前より授業内容の「情報の活用：レポート・論文作成のための情報リソース活用法」と図書館サービス、各館室紹介とを合わせて説明の時間が 1 コマ 90 分に拡大されたことによって、新入生がより充実した内容の授業を受けることが可能となった。また昨年より、授業の課題を、実際に図書を検索して図書館で探すという、より実践的な内容にして、授業内容の定着を図っている。その成果は授業後のアンケートにもうかがえる。

「情報の探し方」等のガイダンスと、専門講師を招いての講習会については、ほぼ昨年並みの実施回数と参加者数となっている。実施においては、時期や開催館を教員や各館室からの希望を容れて少々変更した。結果、初開催となったキャンパスでの講習会には多数の参加があった。その一方で、参加者が伸び悩んだものもある。学生数から見れば図書館主催のガイダンス参加者はまだ少なく、広報の工夫や、学生の授業日程を踏まえた開催時期・曜日・時間等の検討が常に必要である。

参加者が端末操作して実習できるように、図書館の情報端末室を会場としたり、場合によっては情報基盤センターや各部局の演習室などで実施したり工夫している。複数の会場で実施できる用意があることで、その機会や可能性を広げている一方で、常設の会場を持たないため、実施毎に設営に手間がかかる、恒常的な講習会の日程を組みにくい、といった側面も抱えている。

熱心な受講者や教員からオーダーメイドガイダンスは引き続き増加している。特に教員からのオーダーメイドガイダンスは、1 度開催すると翌年以降も申込があり、リピーターとなる確率が非常に高い。たとえば、理学部化学科や医学部保健学科看護学専修などでは、3 年次に学科・専修単位で毎年実施しており、卒業までの履修・学習全体を通した情報リテラシー教育支援を考える上での一例となると思われ、今後も継続していく意義があると考えられる。ただ、申込から実施まで短期間であることから、依頼者の希望内容に沿った資料作成など準備の負担が大きいことが課題である。

図書館ホームページについては、最新の情報を掲載できるよう留意し日々維持更新につとめた。

英語版ページの充実を図り、サービスに関わるページの相当部分を公開できた。しかし韓国語版のトップページの内容の充実、また留学生の半数以上を占める中国留学生用の中国語版作成の検討等と、まだ課題は残っている。

広報については、掲示物、ホームページや「神大図書館 NEWS」の配信等従来の形態に加え、新たに、生協の携帯配信サービスと、生協が各食堂で実施している「トレイ広告」を活用した。こうした様々な形態を組合せ、効果的に使用することが必要だと思われる。

(5) 設備・機器の整備

施設面の整備については、5(4)で記述することとし、本章では、学習環境改善のための設備・機器に絞った整備について記述する。

<設備更新による学習環境の整備>

- ・ 建物の改修工事はなく、特に学習支援に直接係わる事項として次のものがある。

総合・国際文化学図書館	空調設備修理、グループ学習室(プロジェクター映写ホワイトボード)整備
社会科学系図書館	入退館管理システム導入、受付カウンター・事務室等整備、グループ学習室整備、自動貸出返却装置1台増設、中山正實画伯作油彩画4点修復完了、プレゼンホールプロジェクター更新
自然科学系図書館	空調設備更新
人文科学図書館	空調設備修理
人間科学図書館	自動貸出返却装置更新
医学分館	入退館管理システム更新、空調設備修理、閲覧座席(12席)増設、防犯カメラシステム更新、自動貸出返却装置更新、推薦図書用書架増設
保健科学図書室	入退館管理システム導入
海事科学分館	空調設備修理、参考図書用書架整備、利用者用サイン更新、館内放送設備整備

<自動貸出装置等>

※ 利用者のセルフサービスを支援する機器類の導入状況は次のとおりである。

自動貸出装置	研究所を除く各館室
BDS(無断持出防止装置)	研究所を除く各館室
24時間入退館管理システム	自然科学系図書館、医学分館
セルフ式コピー機(コイン式等)	研究所を除く各館室

<情報機器の更新>

- ・ OPAC等検索用端末(*2)およびスタンドアロン等の更新及び整理を行った。
- ・ 利用者用PC等の設置台数は次のとおりである。

	総・国	社会	自然	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
PC台数	48	44	38	20	17	2	20	12	15	216
(*1)	(37)	(28)	(32)	(16)	(13)	(0)	(14)	(10)	(11)	(161)
一部サイト(*2)	(11)	(12)	(6)	(4)	(4)	(2)	(5)	(2)	(4)	(50)
スタンドアロン等	(0)	(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(5)
情報コンセント	80	21	12	10	9	0	30	4	12	178

注) (*1) 161台は情報基盤センター教育研究用計算機システムの教育用端末

(*2)は、OPACに加えて限定された検索サイト(国会図書館等)がアクセス可能なもの

◆評価と課題

医学分館では、老朽化した自動貸出返却装置を更新し、24時間開館業務での貸出がスムーズに行えるようになった。更に自動貸出返却装置を更新（人間科学図書館）及び1台増設（社会科学系図書館）したことにより、利用者サービスが向上した。

入退館管理システムの導入（社会科学系図書館・保健科学図書室）及び更新（医学分館）を実施した。さらに平成24年度は人文科学図書館分を要求している。

社会科学系図書館では、入退館管理システムの導入に伴いサービスカウンターを1階に移動させた。また人の動線にあわせ書庫入口を2箇所（1階と2階開架図書室）にしたことで利用者へのサービスが向上した。

社会科学系図書館本館の油彩画4点（中山正實画伯作）の修復が完了し、平成17年度修復済の油彩画「新秋」とともに落下防止措置を行い、安心して鑑賞出来る環境となった。

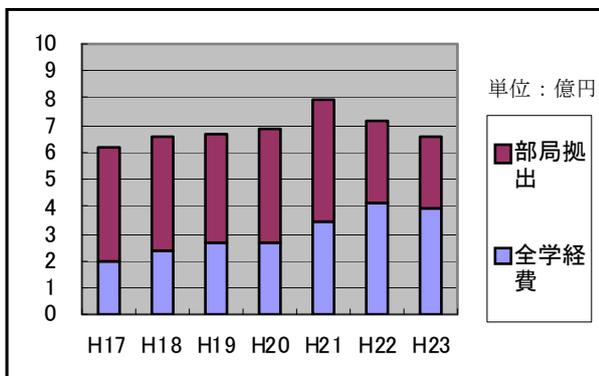
3. 学術研究支援

(1) 研究用資料の整備

各館室の蔵書数、受入図書冊数、資料費等は別添統計【p53】のとおりである。

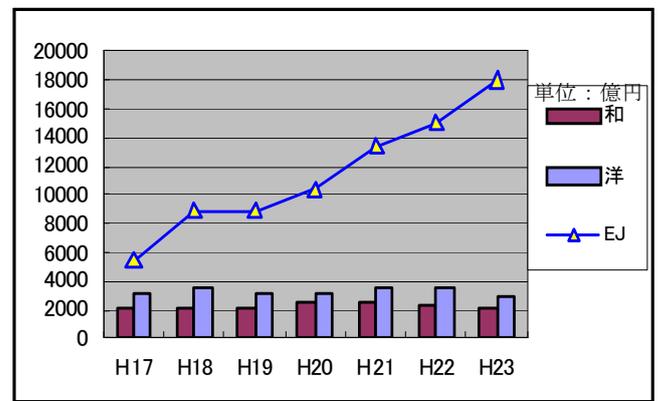
<資料受入状況>

(図1) <資料費経年推移>



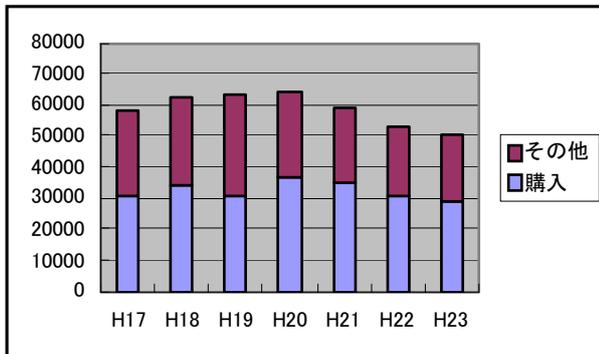
* 一般財源に限る

(図2) <資料費の用途別内訳推移>



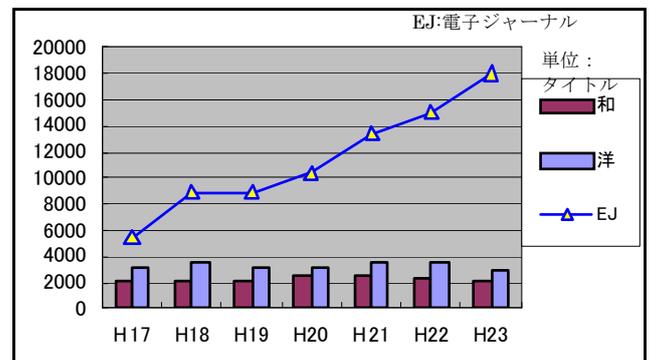
* 電子ジャーナル経費は雑誌として計上

(図3) <受入図書冊数経年推移>



* 「購入」は一般財源のみ

(図4) <購入雑誌数経年推移>



* 「購入」は一般財源のみ

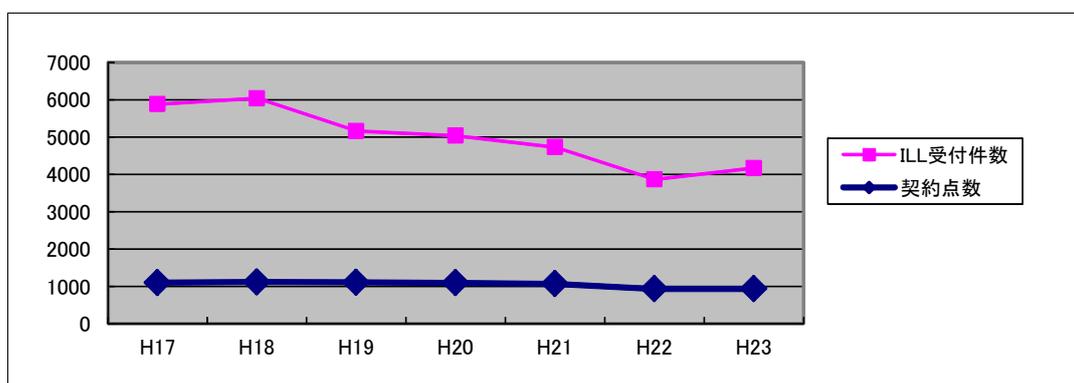
- 資料費（一般財源）は、総額では平成 21 年度から減少しているが、全学経費分だけ見れば、臨時的経費である「教育研究基盤資料整備費」による予算措置のおかげで、総額は約 3.9 億に達しており、電子ジャーナル・データベース等の提供が維持された。(図 1)
- 図書資料費は、図書が減少しているため、全体的に減少傾向にある。(図 2)
- 受入図書冊数は、平成 20 年度から減少傾向にあり、平成 23 年度も部局セグメントの学生用図書費予算の減額などが影響し約 5 万 1 千冊となっている。(図 3)

- ・ 昨年と比べ、和雑誌・洋雑誌とも購入タイトル数に大きな変化は見られない、平成 19 年度に電子オンリー中心の包括利用契約に変更したため、冊子体の購入タイトル数の大幅な増加は今後ないであろうが、電子ジャーナル数は増加を続けており、平成 23 年度末には、1 万 8 千タイトルを越え、学術雑誌情報リソースとして確固たる地位を築くものとなっている。(図 4)

<外国雑誌センター館>

- ・ 昭和 61 年度より「人文・社会科学系外国雑誌センター館」の指定を受け、国内での所蔵館が 3 館以内の外国雑誌を体系的に収集し、全国共同利用に供している（配架は社会科学系図書館）。分野別の外国雑誌センター館は全国で計 9 大学に設置され、人文・社会科学系は一橋大学と神戸大学の 2 大学に設置され、分担収集を行っている。
- ・ 外国雑誌センター館本来の趣旨に鑑み、国内所蔵希少雑誌として選定後、所蔵館が 4 館以上となった雑誌の中止と、新規雑誌の追加購入により、平成 23 年度予約点数は 878 誌となった。
- ・ ILL 複写サービスについては、他機関からの複写依頼を常時受け付け、迅速な対応により外国雑誌センター館としてのサービス体制を継続している。

<契約点数と ILL 受付件数（社会科学系）の推移>



◆評価と課題

平成 23 年度も、「教育研究基盤資料整備費」2 億 9 千百万円が措置され、電子ジャーナル及びデータベースの提供維持及び 20%の外国雑誌購読経費補填を実施した。今中期計画期間中の教育研究基盤資料整備事業の維持については、値上げ及び為替変動による価格高騰に対して、予測を立てて対応策を実施していくことが課題となっている。

大学全体の予算減少が図書館の予算にも影響を与え、学生用資料費も 100 万円減額することになった。学生用資料の充実は基本的な教育研究支援となるため、予算の維持が望まれる。

全国の外国雑誌センター館（9 館）では、来年度以降の外国雑誌センター資料収集方針を検討中である。

(2) 電子的情報基盤の整備

<外国雑誌と電子ジャーナル>

有料で導入している主な電子ジャーナルは次のとおりである。

	分野	導入年	誌数	範囲	備考
Elsevier 社 ScienceDirect	全分野	H14	3,000	1995～	コンソーシアム契約によるフリーダムコレクション 講読規模維持が条件
Elsevier 社 ScienceDirectBackFile	全分野	H21	2,000	(分野による)	
Springer 社 SpringerLINK	多分野	H14	1,700	1997～	発行のほぼ全タイトル(主要部分は創刊号から) 講読規模維持が条件
Wiley-Blackwell 社 WileyInterScience	多分野	H14	1500	1997 前後～	発行のほぼ全タイトル 講読規模維持が条件
JSTOR	自然科学及び社会科学	H14	1228	創刊号～ (最近 3～5 年は対象外)	Arts & Sciences I (H14～) Arts & Sciences II (H17～) Arts & Sciences III (H19.3～) Arts & Sciences IV (H18.3～) Arts & Sciences V (H23.1～) Arts & Sciences VI (H23.1～) Arts & Sciences VII (H21.4～) Arts & Sciences VIII (H23.1～) Arts & Sciences IX (H23.1～) Life Sciences (H15～) Business III (H23.1～)
Nature 社	自然科学	H15	32	創刊号～	
AAAS Science Online	自然科学	H15	1	過去 5 年	
IEEE CSDL	情報通信	H15	27	1968～	会議録年間 300(1995 以降)も利用可能
ACM Portal	情報通信	H15	47	ほぼ創刊号～	会議録等も利用可能
APS	物理系	H16	8	2001～	米国物理学会。 *H16 よりライセンス料要 (以前から利用可能)
Cell Press	生命科学	H16	8	1996～	ScienceDirect で利用
LWW via Ovid	医学臨床	H16	100	1996～	H24.1 より 50 誌に
ACS	化学系	H16	38	1996～	米国化学会
Oxford University Press	多分野	H17	200	創刊号～	発行のほぼ全タイトル 講読規模維持が条件
Cambridge University Press	多分野	H18	200	1999 前後～	発行のほぼ全タイトル(うち 81 誌は創刊号から) 講読規模維持が条件

- ・ その他、単体で購読しているもの等も加えて、平成 23 年度末における電子ジャーナル購読数は 18,029 タイトルとなった。
- ・ 総体としては非常によく利用されており、今や必須の教育研究基盤資料となっている。
- ・ 外国雑誌については、平成 19 年度分から大幅な方針変更を行った。

附属図書館審議会答申「教育研究支援強化のための諸施策の具体化について I. 教育研究基盤資料の維持・整備方策（平成 18 年 3 月 9 日）」により、部局拠出経費を加味した全学経費を投入する方針が示され、世界レベルの研究水準を目指す本学の学術情報基盤として重要な電子ジャーナルを含む外国雑誌の維持・整備を図る方向性が定まった。

この答申を受け、平成 19 年度から大手出版社の電子ジャーナルの導入については、従来の冊子体を維持する方法から、電子ジャーナルの利用に当たって冊子体を維持する必要がない電子オンリー中心の包括利用の契約方法に大幅に変更した。

また、附属図書館審議会答申「次期中期計画における教育研究基盤資料の維持・整備方策について」(H21.2.12) に基づいて、平成 22 年度から負担方式を、部局負担分を間接経費に切り替え、全学共通経費と間接経費により、電子ジャーナル等の提供・維持を実施している。

平成 23 年度は次のとおりである。

(1) 電子オンリー中心の包括利用契約

大手 5 社（Elsevier 社、Wiley-Blackwell 社、Springer 社、Oxford 社、Cambridge 社）発行のものについては、各社発行電子ジャーナル全タイトルが利用できる電子オンリー中心の包括利用契約をおこない、その対象となる冊子体の購読はオプションとする。

なお、冊子体の購読を希望する場合は、購読額の 25% 程度の特別価格で購読できるが（Oxford を除く）、これに関しては、20% の雑誌購読補填は行わない。

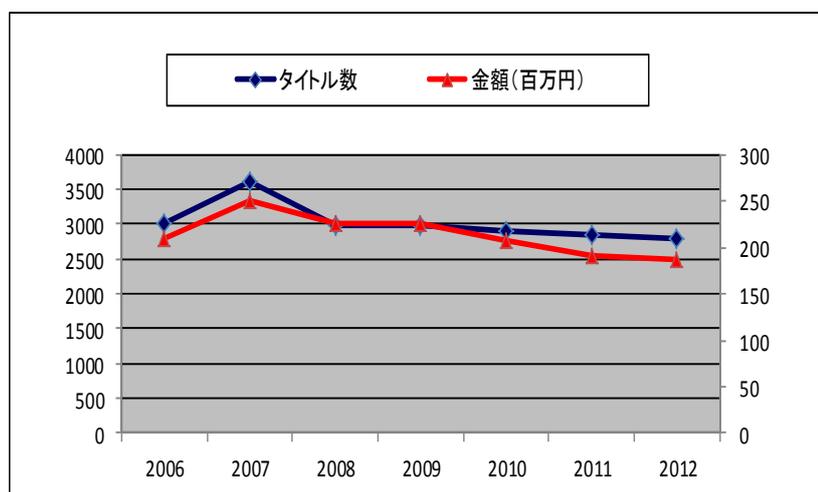
(2) 上記以外の外国雑誌購読に係る経費補填

冊子体を各図書館室に配置し、全学共同利用が可能なものについては、全学経費から、当該雑誌購読所要額の 20% を補填する。

- ・ 平成 23 年外国雑誌の契約は、点数・金額とも若干の減少となった。平成 24 年は契約点数が若干減少し、契約金額はほぼ同額である。

平成 23 年契約点数 2,787 点 → 平成 24 年 2,709 点 (2.8%減)
 平成 23 年契約金額 約 187 百万円 → 平成 24 年 約 186 百万円 (0.05%減)

<外国雑誌購読推移>



<データベースの整備>

主な導入データベースは次のとおりである。(全てウェブアクセス)

	分野等	導入	範囲	備考
Web of Science SCIE	自然科学 (引用索引)	H15	1900～	H22 バックファイル追加
Web of Science SSCI	社会科学 (引用索引)	H21	1900～	H22 バックファイル追加
Web of Science AHCI	人文学 (引用索引)	H21	1975～	H22 バックファイル追加
JCR Web	全分野	H17		
MathSciNet	数学	H13	1940～	
SciFinder Academic	化学	H16	1840～	利用申請が必要
Readers' Guide to Periodical Literature	一般雑誌	H6	1983～	H18.4 より Web 版に変更 同時アクセス 1
Business Periodicals Index	経営学	H3	1982～	同上 同時アクセス 1
EconLit	経済学	H3	1969～	同上 同時アクセス 4
Index to Legal Periodicals & Books	法学	H3	1981～	同上 同時アクセス 1
EBSCOhost (Business Source Premier, PsycInfo, PsycArticles, CINAHL)	経営学 心理学 看護学	H22		
HeinOnline	法学	H22		
Lexis.com	法学	H22		利用申請が必要
Westlaw International	法学	H22		
OECD iLibrary	多分野	H22		H22 に「Source OECD」より 名称変更
ProQuest Dissertations & Thesis	多分野	H22		抄録と索引のみ
CiNii	多分野	H15	多種	機関別定額制
医学中央雑誌	医学	H5	1983～	Web 版は H14 から 医学・保健にサービス
メディカルオンライン	医学	H22		
官報	官報記事	H18	1947.5～	同時アクセス 2
日経テレコン21	新聞記事等	H18	1975～	H19.7 より全学利用可
*JapanKnowledge	全分野 (辞典等)	H17		同時アクセス 4
*KOD(研究社オンライン・ディクショナリー)	辞典	H21		同時アクセス 5
*MAGAZINEPLUS	国内雑誌記事	H18	1945～	同時アクセス 3
*J-DreamII	科学技術・ 医学・薬学	H19		同時アクセス 8
*閨蔵 II ビジュアル(朝日新聞)	新聞記事	H12	1879～	同時アクセス 3
*ヨミダス歴史館	新聞記事	H21	1874～	同時アクセス 2

*毎索	新聞記事等	H21	1872～	H23「毎日 News パック」より名称変更 同時アクセス 2
*Marquis bibliographies online	人名録	H21	1985～	H24「Who's Who」より名称変更 同時アクセス 1

- 平成 15 年度途中に導入した引用索引データベース Web of Science SCIE（自然科学系）は、平成 18 年度までは間接経費、平成 19～23 年度は教育研究基盤資料整備費で契約を維持した。
- タイトル先頭に*を付したものは、H18 年度より学生資料費として措置されている「e-study」資料費により契約している。
- 平成 22 年より CINAHL（看護学）、Lexis.com、Westlaw International（以上法学）を導入した。いずれも経費は関係部局との分担で拠出されている。
- 各データベースの利用は別添統計のとおりである。学術分野やデータベースの特性から、個々の利用度は大きく異なっている。

<電子ジャーナル等バックファイルの整備>

平成 23 年度教育研究活性化支援経費の配分により、電子ジャーナル等バックファイルの整備を行った。

- ・ Cambridge Journals Digital Archives: 2011 Top Up (Medicine, American Studies)
- ・ Oxford Journals Online Archives: 2007-2011 Top Up (全分野)
- ・ Springer Backfile: 創刊-1999 年

<電子ブックの整備>

学内で利用できる主な電子ブックは次のとおりである。（全てウェブアクセス）

	分野	購入年度	タイトル数
*Elsevier Handbooks in Economics	経済学	H20-(継続)	26
*Emerald Business, Management and Economics eBook Series Collection	経営学、経済学	H21	450
LWW Doody's Core Collection	医学	H21	129
**NetLibrary: ネットライブラリー	多種	H22-(随時)	451
Oxford Handbooks Online	経営学、哲学、政治学、宗教学	H22	83
ScienceDirect レファレンスワークス	多分野	H23	21
*Springer eBooks Mathematics & Statistics	数学	H17-(継続)	2200

注) *部局予算による購入

**部局予算による購入分を含む

平成 23 年度教育研究基盤資料整備費により次の電子ブックの整備を行った。

- ・ ScienceDirect レファレンスワークス 21 タイトル

◆評価と課題

電子ジャーナルおよびデータベースは研究者（大学院生を含む）にとって、不可欠な学術情報基盤環境となっている。平成 19 年度から 3 年間は、附属図書館審議会答申「教育研究支援強化のための諸施策の具体化について I. 教育研究基盤資料の維持・整備方策（平成 18 年 3 月 9 日）」により、部局拠出経費を加味した全学経費を投入し、電子ジャーナルを含む外国雑誌及び各種データベース等の維持・整備を図った。また附属図書館審議会答申「次期中期計画における教育研究基盤資料の維持・整備方策について」（H21.2.12）に基づいて、平成 22 年度から負担方式を、部局負担から間接経費に切り替え、全学共通経費と間接経費により、電子ジャーナル等の提供・維持を実施した。平成 23 年度は円高の影響により、教育研究基盤資料の維持が可能となったが、今後は為替変動及び値上げ等による価格高騰への対応が課題となる。

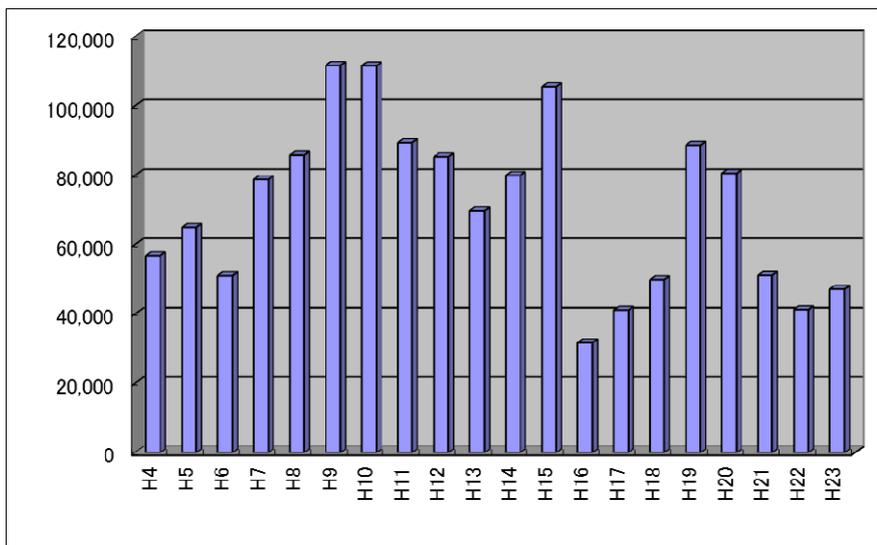
電子ブックについては、海外図書館と比べると、国内図書館において普及が全般的に遅れているのが現状であり、本学においては部局予算による購入がこれまで中心であった。しかし、今後、海外出版社を中心に電子ブックの発行点数が増える見通しであることから、図書館の予算でも若干の先行投資をしているところである。現在のところ国内出版物の電子版が急に普及する見通しは無いが、今後の電子ブック出版の動向には注意する必要がある。

(3) 蔵書目録データベースの整備

<目録遡及入力事業>

- 目録遡及入力は学内予算措置を得て平成4年度から事業を開始し今年度で20年目となった。この間、科学研究費補助金（社会科学文献・画像データベース作成事業）の獲得や国立情報学研究所との共同事業への参加など外部資金による入力にも努め、遡及入力総数は平成23年度実績を加えると約142万冊となった。

<年度別入力冊数>



- 平成23年度計画と経費
外部委託によるロシア語図書等の入力と、館員による研究室からの返納図書等の入力を合わせ、30,000冊を目標とした。

電子図書館事業経費(600万円)	15,000冊
館員入力	15,000冊

- 平成23年度入力実績 47,117冊

電子図書館事業 (外部委託)	総合・国際文化学図書館	ロシア語図書	4,482冊
	人間科学図書館	ロシア語図書	2,611冊
	自然科学系図書館	ロシア語図書	1,079冊
	人文科学図書館	中国語図書	2,204冊
	社会科学系図書館	マイクロフィルム	8,100点
館員入力	各館室	研究室戻り等	28,641冊

◆評価と課題

外部委託と館員入力で目標を上回る入力を達成できた。社会科学系図書館所蔵「米国主要大学学位論文マイクロフィルムコレクション」は、総数約 2 万点の内、平成 22 年度までの 9,591 点と平成 23 年度の 8,100 点を合わせた 17,691 点の入力を達成した。

また、今年度は、平成 22 年度末までの未入力数を調査し、その配置別内訳の冊数を確定させた。

現在、全蔵書の約 80%が OPAC で検索できるようになっており、残る未入力冊数は約 73 万冊で全蔵書の約 20%にあたる。このうち館室配置図書については、和・洋古書、漢籍などの特殊資料と製本雑誌を除いて、第 2 次中期目標期間中（平成 22～27 年度）に入力を完了することを目標に遡及計画を進めていくこととなった。

<各館室の主な未入力資料群（平成 23 年度末現在）>

総合・国際文化学図書館	漢籍、和古書、研究室備付図書
社会科学系図書館	統計書、マイクロ資料、和洋古書、中央図書、研究室備付図書
自然科学系図書館	旧兵庫農科大学蔵書、研究室備付図書
人文科学図書館	漢籍、和古書、研究室備付図書
人間科学図書館	旧姫路師範・兵庫師範・明石分校等蔵書、研究室備付図書
医学分館	研究室備付図書
経済経営研究所図書館	アメリカ文庫、附属企業資料総合センター図書、研究室備付図書

（４）資料の保存

<貴重資料の保存>

- デジタル化事業の一環として住田文庫の「難船之節控」ほか計 10 点を修復した。（デジタル公開準備中）
- 経済経営研究所が所蔵している「新聞記事文庫」の原本の一部にカビが発生していることが発見されたため、燻蒸処理（2,112 冊）に協力した。

<一般資料の廃棄>

- 学内各館室で重複所蔵している製本雑誌を中心に、8,192 冊の資料の廃棄を行なった。

館室名	冊数
総合・国際文化学図書館	1,101
社会科学系図書館	437
自然科学系図書館	2,042
人文科学系図書館	60
人間科学系図書館	2,547
経済経営研究所図書館	35
医学分館	1,806
海事科学分館	164
合計	8,192

◆評価と課題

資料収容力確保のため、各館室において自館が保管責任館ではない重複製本雑誌を中心に廃棄作業を継続している。雑誌に関しては、電子ジャーナルのバックファイル購入を進めているが、このような状況を視野に入れた廃棄基準の見直しが必要である。書庫の新設や増設がほとんど見込めない情勢の中、依然として収容力確保は逼迫した問題となっており、雑誌のみならず図書についても、なんらかの全学的な対策を考えなければならない時期にきている。

(5) その他の研究支援サービス

<相互利用サービス>

区分		総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計	
複写	受付	H23/H22	0.65	1.11	0.98	0.90	1.30	0.73	1.25	1.12	0.95	1.06
		H22 年度	433	3,753	1,284	731	391	426	1,500	959	393	9,870
		H23 年度	283	4,170	1,258	655	509	313	1,868	1,072	375	10,503
	依頼	H23/H22	1.50	1.40	0.93	1.03	0.65	1.11	0.96	0.66	0.55	0.94
		H22 年度	573	529	873	837	1,143	27	1,381	1,071	152	6,586
		H23 年度	862	742	815	862	747	30	1,323	712	83	6,176
貸借	受付	H23/H22	1.00	1.25	0.93	0.74	1.41	1.08	1.50	1.00	0.73	1.07
		H22 年度	269	1,341	161	580	153	26	8	14	127	2,679
		H23 年度	270	1,670	149	427	216	28	12	14	93	2,879
	依頼	H23/H22	0.88	1.00	0.52	1.15	0.84	1.67	2.00	0.25	0.75	0.96
		H22 年度	275	264	147	526	195	12	2	12	4	1,437
		H23 年度	242	264	76	606	163	20	4	3	3	1,381

- ・ 館によって増減はあるが、全体として文献複写、現物貸借ともに前年度とほぼ変わりなかった。依頼業務は減少傾向が続いているが、受付業務は昨年度より微増している。
- ・ 文献複写依頼は理系の学部をサービス対象としている館室（自然系、人間、医学、保健、海事）では今年度も減少している。

◆評価と課題

平成 23 年度の利用は全体としては前年度並みであったが、文献複写依頼では、電子ジャーナルの利用定着が影響しているとみられる減少傾向が続いている。

受付業務は、一時に比べて減ったとはいえ依然、文献複写で約 1 万件、現物貸借で約 3,000 件近くの利用があり、社会科学系の外国雑誌センター館として、また地域の中核となる図書館として、その責務を果たしていくことが求められていると言えるだろう。

平成 23 年 4 月 1 日より、中華民国(台湾)の国立成功大学図書館と相互利用を開始した。当面は「文献複写」のみに限定して実施することになっている。このような海外の図書館との協力を含め、今後はより多様化するニーズに応えるようなサービスを展開していかなければならないであろう。

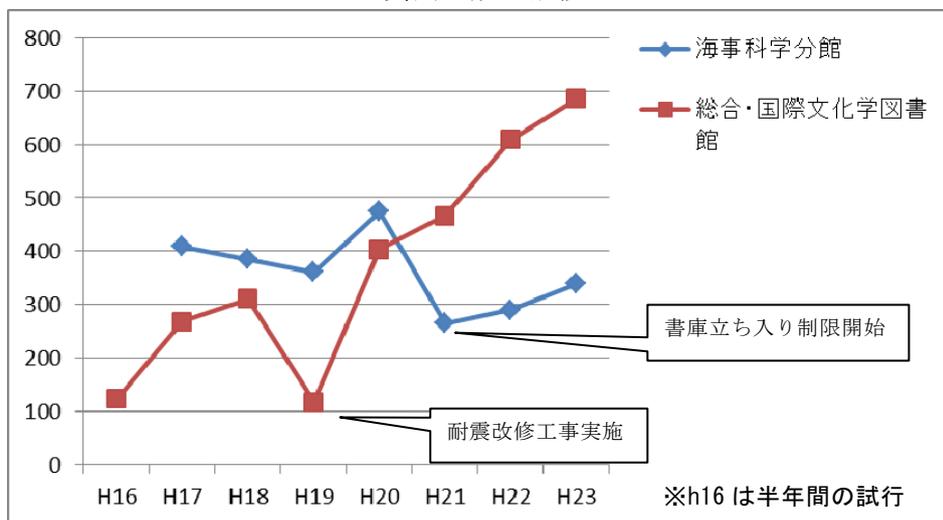
4. 社会連携・情報発信

(1) 一般市民への資料提供サービス

<一般市民の図書館利用>

- 総合・国際文化学図書館と海事科学分館において一般市民への貸出サービスを実施している。平成23年度の利用登録者数は124名で、平成22年度より29名増加した。貸出冊数は総合・国際文化学図書館で開始当初の約2.5倍の685冊になった。海事科学分館でも2年間連続して増加し、340冊になった。

<貸出冊数の推移>



<展示会の開催>

- 資料展
 - 2011年10月21日(金)～2011年12月20日(火)
 - 「神戸ことはじめ ー外国人のいた風景ー」
 - 会場 神戸大学附属図書館
社会科学系図書館「2階展示コーナー」
 - 時間 月～金曜日 8:45～21:30
土～日曜日 10:00～19:00
(祝日・第1日曜日を除く)
 - 展示内容：以下の4つのサブテーマに分けて、関連資料やパネルを展示
 - 1) 舞台としての居留地
 - 2) 神戸ゆかりの外国人たち
 - 3) 六甲山の開発とスポーツ
 - 4) 神戸華僑のはじまりと活躍

神戸大学附属図書館 主催 平成23年度資料展

神戸ことはじめ

ー外国人のいた風景ー

2011年10月21日(金)～12月20日(火)

会場：神戸大学附属図書館 社会科学系図書館【2階展示コーナー】
 展示時間：月～金曜日 8:45～21:30
 土～日曜日 10:00～19:00(祝日・第1日曜日を除く)
 交通：阪神「御影」駅(六甲通)・阪急「六甲」の各駅から徒歩3分
 神戸大学附属図書館 社会科学系図書館
 〒657-8501 神戸市東灘区六甲台町2-1
 問合せ先：情報リテラシー係 TEL:078-803-5313
 e-mail: literacy@lib.kobe-u.ac.jp

入場無料

- ・ 巡回展

2012年1月20日（金）～2012年2月9日（木）

「神戸ことはじめ ー外国人のいた風景ー」オープンアカデミー巡回展

会場 神戸大学社会科学系アカデミア館「2階オープンアカデミー」

時間 月～金曜日 10:00～17:00 （土・日曜日休館）

展示内容 パネル展示のみ

- ・ 今年度は、「神戸ことはじめ ー外国人のいた風景ー」と題して、開港から昭和初期にいたる神戸に関する資料を、当館を代表する資料コレクションである「神戸開港文書」や「新聞記事文庫」その他の所蔵資料から展示した。今回の展示会では、特に当時神戸を拠点として活躍した外国人に焦点を当て、彼らの活動の跡をたどり、黎明期、発展期の神戸を紹介することに努めた。
- ・ 昨年度と同様に、夜間や土・日の来場希望者にも配慮し、開催時間を会場である社会科学系図書館の開館時間に合わせた。
- ・ 会場の「2階展示コーナー」は、雑誌閲覧室・開架図書室への連絡通路部分であるため、正確な来場者数をカウントすることはできないが、資料展開催期間中に社会科学系図書館に来館した利用者（計 57,338 名）の多くが資料展を観覧したと思われる。なお、10月29日（土）の第6回神戸大学ホームカミングデーにおける見学者は129名で、昨年度より24名増えた。
- ・ アンケート回収数は62件（学内者22件、学外者40件）で、資料展についての感想は、「よかった」という回答が9割を占めた。
- ・ 学内各部局、近畿地区各大学、及び近隣の公共図書館等へチラシ、ポスターを送付して広報した。
- ・ 図書館ホームページに展示品目録等を公開している。

<公共図書館との協力>

- ・ 前年度に引き続き、兵庫県大学図書館協議会で加盟館の図書館相互協力便覧や一般市民への公開状況を取りまとめ、同協議会ホームページ上で情報公開を行った。
- ・ 平成20年度から、兵庫県立図書館で公開されている兵庫県内図書館横断検索に参加し、県内公共図書館等との横断的な所蔵検索が可能となっている。

◆評価と課題

一般市民への資料の貸出サービスは、総合・国際文化学図書館では改修工事の影響で一時的に貸出数が落ち込んだものの、平成17年度の開始以来ずっと増加している。海事科学分館でも書庫立ち入り制限の実施によって平成21年度に大きく減少したが、その後は回復傾向にあることが認められる。地域社会への貢献活動のひとつとして定着しつつあると評価できるだろう。

資料展は、昨年度と同様にホームカミングデーを含む期間中に社会科学系図書館内で開催し、その後館外でパネル巡回展を行うという2本立てで実施した。2回目となった巡回展は、今回もパネル展であったにもかかわらず373名の来場者があり、昨年度の284名を大きく上回った。またアンケートには、展示の説明や解説がわかりやすかったという意見が複数寄せられており、職員の中に展示会に関するスキルが確実に蓄積されつつあることがうかがえる。附属図書館とその所蔵資料を広く知ってもらうための貴重な機会として、継続することは容易ではないが、今後も継続していくよう努めなければならない事業である。

(2) 震災文庫

<資料収集と一般公開>

- 引き続き、様々なチャンネルから情報収集を行い、購入や寄贈依頼等の積極的な収集活動により関連資料の網羅的収集に努めた。1,426 点（H22 年度は 1,834 点）を収集し、資料所蔵総数は 4 万 9 千件を超えた。

	全点数 (タイトル数)	H23 新着		全点数 (タイトル数)	H23 新着
図書資料	7,173 (6,328)	273 (219)	地図資料	134 (128)	2 (2)
雑誌資料	13,064 (3,220)	450 (159)	動画資料	289 (244)	18 (16)
新聞・広報誌資料	16,015 (4,790)	315 (193)	音声資料	97 (77)	3 (3)
パンフレット資料	5,887 (5,781)	178 (121)	コンピュータ資料	88 (87)	2 (2)
一枚もの資料	6,253 (6,253)	162 (162)	www	7 (1)	0 (0)
写真資料	113 (92)	23 (4)	総合計	49,120 (27,001)	1,426 (881)

注) 雑誌等の各号を1冊ずつ数えた数が「点」(件)、同一タイトルを1と数えたのが「タイトル」。

写真資料はコレクション単位(概ね撮影者単位)を1としているため、点数が少ないが、写真2万枚強のコレクションも含まれている。

<震災デジタルアーカイブ>

- 資料全体のタイトル等だけでなく、掲載されている記事情報等からも検索できるよう、詳細なメタデータを継続的に作成している。本年度は、約 7,200 件を入力し、その結果、メタデータベースのレコード総数は約 26 万 6 千件となった。
- 震災関係資料について、著作権許諾の得られた雑誌 1 タイトル (25 号分)、図書 2 点、写真 51 点をデジタル化し公開した。(前年度は雑誌 1 タイトル)
- 各機関から、防災資料作成等のための転載許可願いが、写真を中心に 29 件(前年度 61 件)あり、著作権者へ許諾確認を行い回答した。
- 平成 21 年 1 月より開始した人と防災未来センターと震災文庫の「震災資料横断検索」に新たに兵庫県立図書館が加わり、3 機関での横断検索が可能となった。(年 4 回のデータ更新を継続中)

<東日本大震災に関する取組>

- 被災地における震災資料の収集を目的とした、見学・意見交換会を 21 件実施した。
- 震災資料収集組織構築・デジタルアーカイブの構築を目的とした、見学・意見交換会を 4 件実施した。
- 11 月 9 日に、第 13 回図書館総合展特別フォーラム「東日本大震災からの復興と震災への備えに向けて」において、「神戸大学「震災文庫」が伝えてきたもの」と題し講演した。この他にも 3 件講演を行った。
- 2 月 21～22 日に、「東北被災地の図書館と震災資料の収集・公開に係る情報交換会」を、神戸大学附属図書館主催で、本学地域連携推進室から助成を受けて開催した。26 名の参加があった。

◆評価と課題

平成 23 年 3 月の東日本大震災以降、震災資料アーカイブの先例として当「震災文庫」が注目され、被災地からの見学や問合せが続いた。また、「震災文庫」の活動が、総務省「デジタルアーカイブの構

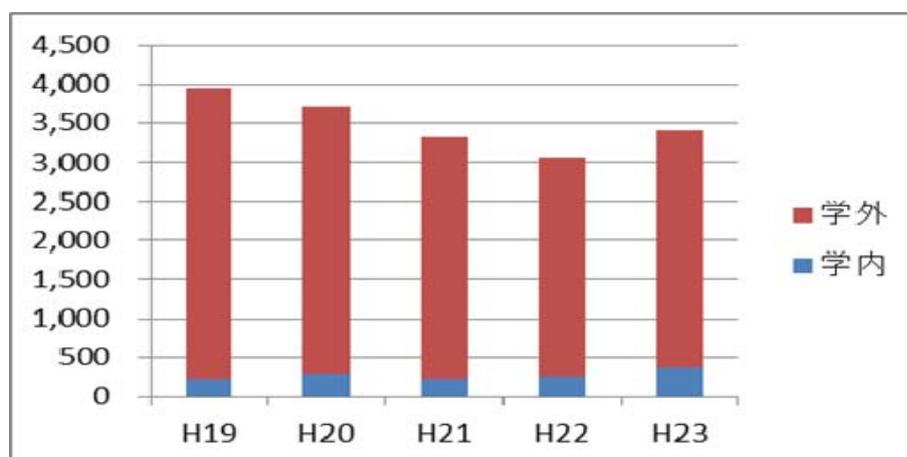
築・連携のためのガイドライン」第3章デジタルアーカイブの実例で紹介された。

稲葉洋子氏（元情報管理課長）が第14回図書館サポートフォーラム賞を受賞するなど、「震災文庫」の活動が評価された。

課題として、収集資料の媒体の問題が挙げられる。デジタルデータの中にはハードウェアの生産終了やファイルフォーマットのサポート終了などの要因により再生環境が失われ、再生不可能に陥る危険性のあるデータが生じてきている。

貴重な資料を今後も利用可能な状態で保存することが大切であり、そのために収録メディアおよびデータの変換作業（マイグレーション）を行う必要がある。優先順位を決め、順次作業していきたい。

<震災文庫トップページ月平均アクセス数推移>



(3) 電子図書館システムによる情報発信

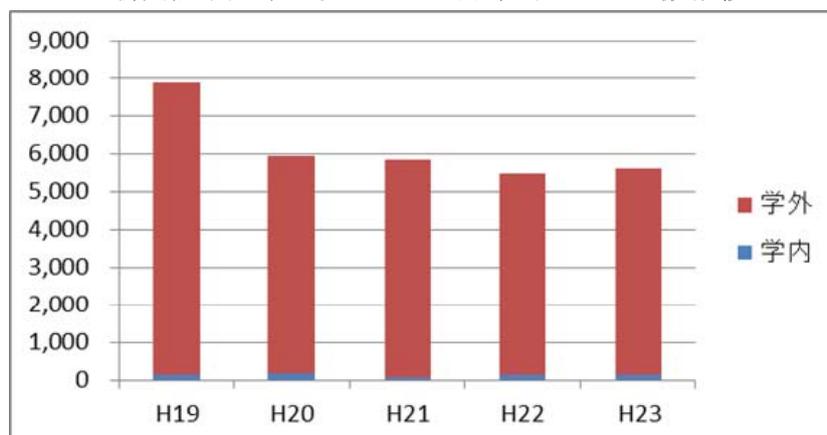
<「神戸大学電子図書館システム」によるデジタルアーカイブ構築>

- ・ 同システムは当初全国5大学に「先導的電子図書館プロジェクト」として予算措置されたもので、本学には平成10年度補正予算で措置され、平成11年から稼働している。法人化後は電子図書館事業費として学内経費化され、運営を続けている。
- ・ 「震災関係資料」、「経済関係資料」、「学内研究成果」を3本柱に事業を推進し、デジタル化した資料をWeb上で公開してきた。経費には上記の電子図書館事業費と、科学研究費補助金研究成果公開促進費（平成11-15年度 震災デジタルアーカイブに措置、平成16-23年度 戦前期新聞経済記事文庫に措置）を充ててきた。
- ・ コンテンツのうち震災関係資料については、前節で述べた。

<経済関係資料デジタル化1>

- ・ 新聞記事文庫（戦前期記事切抜）デジタル化については、昨年に続き科学研究費補助金研究成果公開促進費（「戦前期新聞経済記事文庫データベース」）を獲得した（配分額1,260万円）。「政治・行政」分野約19,000記事を全文テキスト化した（累計約26万記事）。

＜新聞記事文庫トップページ月平均アクセス数推移＞



＜経済関係資料デジタル化 2＞

- ・ 住田文庫から「難船之節控」ほか計 10 点を修復・デジタル化した。
- ・ 昨年度電子化した「日華新報」3 年分（1923-1925）「日華実業」6 年分（1922-1927）を公開した。

＜学内研究成果資料デジタル化＞

- ・ 機関リポジトリは 2011 年 10 月に開設 5 周年を迎え、記念講演会を開催した。学術雑誌論文の収集点数は 1,400 件を超えた。平成 23 年 3 月末現在 16,075 件（前年度末 14,347 件）の学術成果を一般公開している。詳細は次項に述べる。
- ・ キク科の染色体数データベース（渡邊邦秋名誉教授作成）のデータ更新を続けている。更新頻度は月 1 回、レコード増加数は 17,742 件で、累計レコード数は 87,076 件である。
- ・ 人文学研究科地域連携センターの協力を得て、附属図書館所蔵郷土文書類目録データ登録作業を継続している。2 文書群データ・解題追加した。（1,476 件入力、累積 4,618 件）
- ・ 引き続き学内研究成果メタデータ（書誌情報）として、紀要類目次情報（144 件入力、累積 38,169 件）、博士学位論文情報（318 件入力、累積 8,909 件）の入力を進めた。博士学位の新規授与分について要旨の電子化公開を行った。また本文の公開のため著作権調査を行い、可能なものについて電子化公開を行った（今年度 183 件公開）。今後も継続して要旨、本文の電子化を行っていく。

◆評価と課題

新聞記事はその規模の大きさと希少性（戦前の記事切抜きはほとんど残っていない）から高い評価を得ており、HP へのアクセス数は継続してデジタルアーカイブ中トップであり、主に外部からの利用が多数を占める（H23 年度トップページアクセス数 65,913 件のうち約 98% が学外からのアクセスである）。今年度も、科学研究費補助金研究成果公開促進費の獲得により計画どおりに電子化公開を進めることができた。次年度以降も引き続き、計画的に電子化をすすめ、戦前 I 期の完成を目指したい。

また、当デジタルアーカイブと機関リポジトリが、文部科学省「大学図書館における先進的な取り組みの実践例」5. 地域社会連携・国際対応「機関リポジトリのさらなる発展、地域と取り組む震災資料の共有化及び ライブラリー・アーカイブズ連携の取り組み」として取り上げられた。

「学内研究成果」については、学術論文は機関リポジトリ（次項）へ、その他成果はデジタルアーカイブへ登録している。今後も継続してコンテンツ収集に努めたい。

(4) 機関リポジトリによる情報発信

<コンテンツ収集活動>

- 平成 18 年度に稼動を始めた神戸大学学術成果リポジトリ (Kernel) は、比較的順調に成長を続けている。平成 23 年度末現在のコンテンツ数は 16,000 件を超え、1 年間で約 1,700 件増加した。種別内訳は下表のとおりである。

一般雑誌記事	54	図書	22	会議発表論文	39	
データベース	2	紀要論文	13,387	学術雑誌論文	1,467	
研究報告書	60	博士学位論文	807	教材その他	11	
					合計	16,075

- 学術雑誌論文については、Kernel と連携している神戸大学研究者情報データベース (KUID) から得られる業績情報や、Web of Science 等の文献情報データベース、研究者の個人ホームページ等から得た神戸大学研究者の論文情報をもとに登録の案内を継続して行った。その結果、学術雑誌論文の収集件数は 1,400 件を超えた。
- 神戸大学の博士号を持つ学内外の研究者を調査し、登録依頼を行った結果、収集件数 183 件であった (前年度 69 件)。また、博士学位論文公開を支援する目的で、論文要旨の電子化を継続した。
- コンテンツの効率的な収集を目的として、各分館の情報サービス担当職員を中心とする「リポジトリ WG」を設置した。

<広報活動>

- 学内教員への浸透を図るため、『Kernel 通信』の第 7 号および第 8 号を発行した。
- 6 月に登録論文数が 15,000 件を超えたこと、また 10 月に開設 5 周年を迎えることを記念し、お二人の研究者にインタビューを行い Kernel 通信に掲載し、10 月には Kernel 5 周年記念講演会「Kernel が拓く研究の未来 かわいい論文には世界中、旅をさせよ」を開催し 80 余名の参加があった。
- 登録者へのサービスとして、毎月 1 回ダウンロード数お知らせメールの自動配信を開始した。

<CSI 事業>

- CSI 事業領域 3 において、筑波大学を主管とする「オープンアクセスとセルフ・アーカイビングに関する著作権マネジメント・プロジェクト」に引き続き参画し、学協会の著作権ポリシーについて調査を進めた。またこの活動の一環で、平成 23 年度機関リポジトリ研修 (10 月、於：国立情報学研究所) および愛媛大学図書館学術講演会 (1 月、於：愛媛大学) に著作権処理実務に関する講師として、各職員 1 名を派遣した。
- さらに CSI 事業領域 2 では、島根大学を主管とする「全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト」に参画し、兵庫県の遺跡資料公開に向けて関係機関と協議を進めた。23 年度は加古川市教育委員会から刊行された、加古川市関連の遺跡調査報告書 10 点の公開を行った。

<その他>

- 各研究科において、博士学位論文のウェブ公開ならびに全文複写の許諾を論文提出時に確認する「使用許諾書」の配布が 6 月から開始された。

◆評価と課題

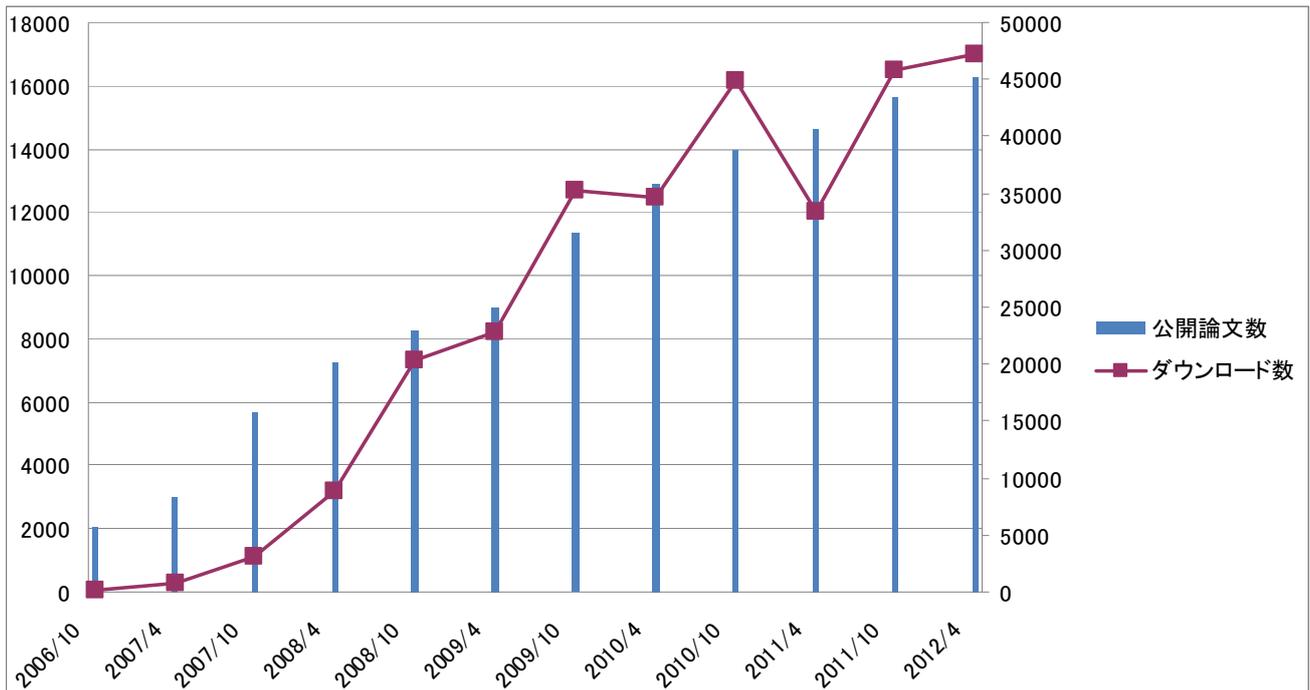
コンテンツ数の増加に伴って、論文のダウンロード数も増加している。下のグラフはコンテンツ数と論文ダウンロード回数の推移を示している。平成 24 年 1 月には月間約 5.5 万ダウンロードを記録し、段階的に増加している。

今後も更に引き続き学内研究者の学術成果の収集と公開を安定的に行っていく必要がある。

< Kernel 収録論文数およびダウンロード数推移 >

(公開論文数)

(ダウンロード数)



(5) 国際連携

<韓国海洋大学校図書館との協力推進>

- 昨年度に続き韓国海洋大学校図書館との協定にもとづく職員交流を行った。本年度は韓国海洋大学校から全幸順 (Jeon Heang Soon)、李南鈴 (Lee Nam Reong) 両氏が 11 月 21 日に来学された。(11 月 25 日帰国)。4 泊 5 日の短期研修であったが、「震災文庫」の見学にはじまり、社会科学系図書館、総合・国際文化学図書館での各係の業務説明と館内見学、さらに初めての試みとして職員の代表 7 名との情報交換会を行った。情報交換会では、韓国海洋大学校から情報端末室リモデリング (改修) について、神戸大学からは各館室の特色についての紹介を行った。写真を交えた説明や意見交換により、お互いの図書館についていっそう理解を深めることができた。また 24 日には、大阪大学附属図書館と関西学院大学図書館へ案内し、大学ごとの雰囲気の違いや韓国の図書館サービスとの違いなどについて、見学を通して実感していただいた。

<研修日程>

月 日	10:00~12:00	13:30~16:30	
11 月 21 日			附属図書館概要説明 震災文庫見学
11 月 22 日	業務の説明と館内見学 (社会科学系図書館) 電子図書館係 雑誌係 情報サービス係 展示会見学	神戸大学職員との 情報交換会	業務の説明と館内見学 (総合・国際文化学図書館) 情報リテラシー教育 「選書ツアー」の説明
11 月 24 日	大阪大学附属図書館総合図書館・関西学院大学図書館見学		

【研修風景】

<震災文庫見学>





< 情報交換会 >



< 関西学院大学図書館見学 >



< 韓国海洋大学校図書館 改修後 (Marin U-Square と BOOKCAFE) >

◆ 評価と課題

韓国海洋大学校とは平成 21 年度から 3 年連続で相互に職員を派遣し合い、研修を行っている。交流を重ねるに従い顔や名前を覚えあう職員の数も増え、貴重な情報交換の場となっている。今後も双方にとって有益な交流を継続していくためには、共通する問題点や互いに学ぶべき点を探りだし、課題を絞った研修を企画することが求められる。

(6) 大学文書史料室

<「国立公文書館等」としての責務>

- 平成 23 年 4 月 1 日の公文書等の管理に関する法律の施行に伴い、当室は、内閣総理大臣指定「国立公文書館等」の機関としての責務を全うし積極的な社会貢献を図ることとなった（初年度）。

<室長の交代>

- 平成 23 年 3 月 31 日付けで初代室長福長進（副館長、人文学研究科教授）が任期満了で退任し、同年 4 月 1 日付けで第 2 代室長に大塚裕史（副館長、法学研究科教授）が就任した。

<保存期間満了法人文書の移管協議及び受入れの開始（正規移管の開始）>

- 神戸大学法人文書管理規則第 11 条第 3 項及び神戸大学法人文書等の移管等に関する要項第 2 条の規定に基づき、保存期間が満了した神戸大学法人文書ファイル等の移管協議及び受入れを開始した（初年度）。

<文書等の受入れ状況>

- 平成 23 年度における文書等の受入れ状況は、学内各部局からの移管文書等 1,187 件、個人・団体からの寄贈寄託文書等 264 件（以上、公文書等の管理に関する法律第 2 条第 7 項が規定する「特定歴史公文書等」に該当）、他大学史等の参考図書 80 件、計 1,531 件である。

<平成 23 年度文書等の受入れ状況>

受け入れた文書等			受入れ件数（件）	
特定歴史公文書等	学内移管文書等	法人文書ファイル等（正規移管）	229	1,451
		法人文書ファイル等（非正規移管 ^(注) ）	439	
		学内印刷刊行物	519	
		(小計)	1,187	
	個人・団体からの寄贈寄託文書等		264	
参考図書	他大学史等の参考図書（寄贈図書）			80
		合計		1,531

注) 非正規移管とは、法人文書ファイル管理簿（神戸大学法人文書管理規則第 10 条）に未掲載の古い法人文書の移管を指す。

<目録入力>

- 平成 23 年度目録入力実績は 11,296 件であり、平成 23 年度末の目録総件数は 19,439 件となった。

<目録入力件数の内訳（平成 23 年度末）>

文書等の概要	目録入力件数		入力総件数 (H23 年度末)	未入力件数 (H23 年度末)
	H22 年度	H23 年度		
○特定歴史公文書等				
・旧百年史編集室所蔵史料 (15,396 件+未整理分 114 箱)	5,899	9,497	15,396	(114 箱)
・H22 年度受入れ分 (受入れ件数 1,684 件)	0	1,216	1,216	468
・H23 年度受入れ分 (受入れ件数 1,451 件)	—	519	519	932
(小計)	5,899	11,232	17,131	1,400+(114 箱)
○参考図書 (他大学史等)				
・旧百年史編集室所蔵図書 (所蔵 2,265 件)	2,201	64	2,265	0
・H22 年度受入れ分 (受入れ件数 43 件)	43	0	43	0
・H23 年度受入れ分 (受入れ件数 80 件)	—	0	0	80
(小計)	2,244	64	2,308	80
合 計	8,146	11,296	19,439	1,480+(114 箱)

<利用>

- 平成 23 年 4 月 1 日より、一般利用者の閲覧を開始した (初年度)。
- 平成 23 年度における利用請求件数は 242 件である。
- 一般利用者の利用に供するため、展示会の開催、「神戸大学史」講義の開催、本学の歴史に関する学内外からの照会等にも積極的に対応した (次項以降参照)。

<展示会の開催>

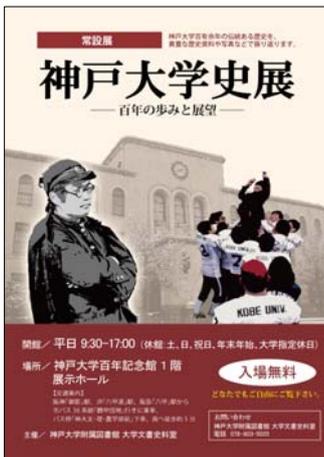
- 収蔵物を広く学内外に紹介するため、常設展「神戸大学史展—百年の歩みと展望—」を常時開催 (特別展の開催期間は除く) し、百有余年にわたる神戸大学の歴史に関する文書や実物資料、写真など 115 点を展示公開した。
- 住吉寮個室化改修と国維寮の再開を記念して「学生寮の青春譜—神戸大学史にみる寮文化—」をテーマに特別展及び巡回展 (神戸・東京) を開催した。学生寮がはぐくんだ多様な“寮文化”の中で、神戸大学及び前身諸校の学生たちがどのような寮生活を謳歌したのかを主な視点として、文書やモノ資料などの実物や写真など約 150 点を展示公開した。ただし巡回展では会場の都合上実物展示ができないためパネル展 (パネル 47 点) とした。なお、来場者数を把握するため、会場入口の人体検知センサ式人数カウンターで自動測定した。
- 平成 23 年 10 月 29 日第 6 回ホームカミングデイで開催された工学部 90 周年記念展示 (工学研究科主催) に協力して、工学部 90 年史の展示パネル 5 枚 (A0 サイズ) を作成・展示した。

＜平成 23 年度大学文書史料室主催の展示活動＞

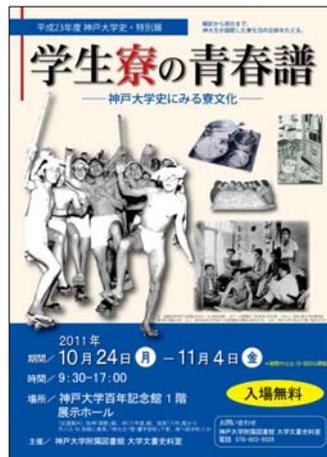
展示の種類	展示テーマ	開催期間	会場	来場者数
常設展	神戸大学史展—百年の歩みと展望—	常時 (特別展開催時除く)	神戸大学百年記念館 1 階 展示ホール	3,077 名
特別展	学生寮の青春譜—神戸大学史にみる 寮文化—	H23.10.24-H23.11.04	同上	492 名
巡回展(神戸)	学生寮の青春譜—神戸大学史にみる 寮文化—パネル展	H23.11.14-H23.11.25	神戸大学アカデミア館 2 階 オープンアカデミー	329 名
巡回展(東京)	学生寮の青春譜—神戸大学史にみる 寮文化—パネル展	H24.02.06-H24.02.16	神戸大学東京六甲クラブ	1,398 名

＜平成 23 年度大学文書史料室協力参加の展示活動＞

展示の種類	展示テーマ	開催期間	会場	来場者数
外部展示	神戸大学工学部九十周年記念展示	H23.10.29	神戸大学工学研究科	101 名



(常設展の案内チラシ)



(特別展の案内チラシ)



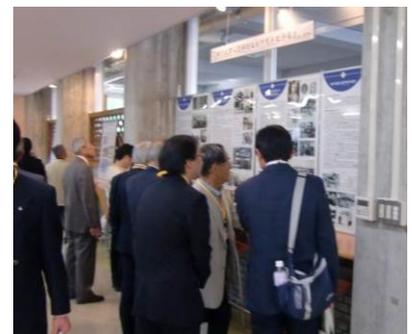
(特別展における来場者の様子)



(特別展の展示(一部))



(工学部 90 周年記念展示のパネル(一部)と展示会場の様子)



写真提供：KTC

<レファレンス>

- ・ 学内外からの照会等計 88 件（計 38 名）に対して情報提供を行った。

<平成 23 年度におけるレファレンス活動>

対 象		件数 (人数)	対 象		件数 (人数)
神戸大学	教員	8(7)	他大学	教員	25(4)
	教員以外の職員	13(12)		教員以外の職員	3(2)
	卒業生	1(1)	一 般	マスコミ関係	2(2)
	関係諸団体（同窓会等）	9(2)		その他（周辺住民等）	27(8)

<研修の実施>

- ・ 本学職員及び大学文書史料室職員に対して、以下の研修を実施した（初年度）

<平成 23 年度における研修実施の内容>

研修名	対象者	テーマ	開催日	受講者数
文書管理者研修 （総務部総務課との共催）	神戸大学各部局の文書管理者又は文書管理担当者	神戸大学法人文書の適切な管理に向けて	H24. 3. 13	70 名
大学文書史料室研修	大学文書史料室職員	①目録情報のインターネット公開方法について（第 1 回）、②同前（第 2 回）、③固着した文書の簡易修復について	① H23. 4. 25 ② H23. 6. 30 ③ H23. 11. 1	①5 名 ②7 名 ③4 名

<デジタル・アーカイブ化の開始>

- ・ 「デジタル・アーカイブ」開設
特定歴史公文書等のデジタル画像の情報をインターネットの利用により公開するため、大学文書史料室のホームページに「デジタル・アーカイブ」を開設した（初年度）。
http://lib.kobe-u.ac.jp/www/modules/bunsho_c/index.php?content_id=18
- ・ 『神戸大学学報』デジタル化
『神戸大学学報』（No.1～NO.327 別冊、昭和 25～昭和 58 年）388 冊のデジタル画像を作成し「デジタル・アーカイブ」でインターネット公開した。
http://lib.kobe-u.ac.jp/www/modules/bunsho_c/index.php?content_id=16
- ・ 目録データベースとのリンク
「デジタル・アーカイブ」の情報を「特定歴史公文書等データベース」にリンクさせ、「特定歴史公文書等データベース」の検索結果からデジタル画像の閲覧が可能となった。

<その他>

- ・ 講義・講演等
 - ・ 学部 1・2 年生を対象に教養原論「神戸大学史」の講義を実施した（履修者数：前期 196 名、後期 194 名、計 390 名。平成 15 年度より継続実施）。
 - ・ 平成 23 年度新任教職員研修において「神戸大学史」の講義を担当した（4 月 7 日、受講者 62 名、平成 21 年度より継続担当）。

- ・ 全国大学史資料協議会西日本部会 2011 年度第 1 回研究会（5 月 24 日 於：武庫川女子大学）において、「「国立公文書館等」大学施設の現状と課題—神戸大学附属図書館大学文書史料室の場合—」と題する研究報告を行った。
- ・ 本学附属図書館主催の附属図書館職員情報交換会（12 月 28 日 於：神戸大学）において、「神戸大学図書館史—社会科学系図書館を中心に—」と題する講演を行った。
- ・ **国立公文書館との横断検索を開始**
 - ・ 国立公文書館との連携を強化し利用者の利便性向上を図るため、大学文書史料室の目録データベース「神戸大学特定歴史公文書等データベース」を、「国立公文書館デジタルアーカイブ横断検索システム」に搭載し、横断検索の提供を開始した（初年度）。
<http://www.digital.archives.go.jp/globalfinder/cgi/start>
- ・ **他機関からの見学を受入れ**
 - ・ 他機関からの見学が、9 機関（34 名）あった。

＜平成 23 年度における見学の受入れ＞

年月日	大学文書史料室を見学した機関	見学者数
H23. 10. 24	情報科学技術協会	21 名
H23. 11. 8	筑波大学	1 名
H23. 11. 15	国立公文書館	1 名
H23. 12. 15	東京基督教大学（図書館）	1 名
H24. 2. 16	学習院大学（学習院アーカイブズ）	1 名
H24. 3. 1	熊本大学（60 年史編纂室）	1 名
H24. 3. 1	立教大学（立教学院史資料センター他）	5 名
H24. 3. 2	東北大学（東北大学史料館）	1 名
H24. 3. 15	九州大学（九州大学文書館）	2 名
計 9 機関（34 名）		

- ・ **内閣府による現地調査**
 - ・ 内閣府による大学文書史料室の現地調査が実施された（12 月 21 日、調査官：内閣府大臣官房公文書管理課企画官）。
- ・ **神戸大学沿革図の作成**
 - ・ 本学学務部発行『学生生活案内 平成 23 年度』掲載の本学沿革図（西暦版）を作成した。
 - ・ 本学企画部社会連携課発行『神戸大学概覧 2011』掲載の本学沿革図（元号版）を作成した。
 - ・ 本学ホームページ掲載の本学沿革略図の更新を担当した。
- ・ **神戸大学広報誌・同窓会誌への寄稿**
 - ・ 本学広報誌『KOBE university STYLE』に、以下を寄稿した。
 - ・ 「神戸大学のキャンパス〈その 2〉 深江地区 ——歴史のひとこま第 194 回」（同誌 Vol.15）
 - ・ 「神戸大学のキャンパス〈その 3〉 楠地区 ——歴史のひとこま第 195 回」（同誌 Vol.16）
 - ・ 本学広報誌『神戸大学最前線—研究・教育・産学官連携—』に、以下を寄稿した。
 - ・ 「教え子達の精神的慈父 加藤一郎 ——神戸大学の群像 No.13」（同誌 Vol.15）
 - ・ 「神戸高商の礎を築く 水島鍊也 ——神戸大学の群像 No.14」（同誌 Vol.16）
 - ・ 本学同窓会誌『KTC』・『凌霜』に、以下を寄稿した。
 - ・ 「工学部および前身校に関する資料提供へのご協力依頼」（『KTC』第 73 号）
 - ・ 「神戸大学創立記念日の由来について ——大学文書史料室から(1)」（『凌霜』第 392 号）

- ・ **兼松記念館パンフレットの作成**
 - ・ 経済経営研究所からの依頼により、国登録有形文化財である兼松記念館の改修及び一般公開にあわせて、同館の施設案内パンフレット（A4・三つ折り）を作成した。
- ・ **利用細則の制定**
 - ・ 神戸大学大学文書史料室利用等要項において「別に定める」とされた事項を中心に、利用について必要な事項を定めるため、神戸大学大学文書史料室利用細則を制定した（平成 24 年 2 月 28 日制定、同年 3 月 1 日施行）。
- ・ **設備の改善**
 - ・ スロープの設置
利用者の利便性向上及び歴史公文書等受入れの簡便化を図るため、百年記念館建物西側出入口から玄関前にかけて、屋外にスロープを設置した。
 - ・ 案内サインの更新
百年記念館 2 階六甲ホール前及び 1 階大学文書史料室玄関前の案内サイン 2 枚を更新し、記載を「年史編集室」から「大学文書史料室」に変更した。
 - ・ 避難誘導標識等の設置
書庫からの避難対策として、蓄光式避難誘導標識と避難誘導用の蓄光テープを書庫内に設置した。
 - ・ ピクチャーレールの設置
展示ホール入口の掲示物を固定するためピクチャーレールを設置。
 - ・ イナージェンガス自動消火設備の設置
書庫の火災対策として、イナージェンガスによる自動消火設備を書庫内に設置した。
 - ・ 落下防止チェーンの設置
書庫の震災対策として、書架上段に落下防止チェーンを設置した。
 - ・ 空気清浄器の増設
書庫の空気清浄のため、空気清浄器を 1 台増設（中古譲受け）。
- ・ **広報の充実**
 - ・ 大学文書史料室ホームページに「神戸大学を知るために」「大学文書史料室日誌」を新設した。
 - ・ 大学文書史料室の利用案内パンフレット（A4・三つ折り）を新規作成し、学内外に配布した。

◆評価と課題

平成 23 年度は、内閣総理大臣指定「国立公文書館等」の機関として初年度であり、「国立公文書館等」としての責務を果たすため、一般利用者による閲覧の開始、法人文書移管協議及び受入れの開始（正規移管の開始）、本学職員への文書管理者研修の開始、デジタル・アーカイブ化の開始、書庫の防災対策（避難誘導標識、イナージェンガス自動消火設備、落下防止チェーンの設置）など、アーカイブズ機能の整備・充実に努めた。また、国立公文書館との横断検索の開始によって、国との連携強化に努めると共に、利用者の利便性の向上を図った。さらに、展示会の開催、講義・講演等の実施、レファレンス、本学国登録有形文化財の一般公開への実質的な協力、本学広報への積極的な協力によって、本学の社会貢献に寄与することが可能となった。

なお、平成 23 年度の法人文書移管協議及び受入れの実施が、総務部総務課総務グループによる法人文書ファイル管理簿の調製を待って繁忙な年度末となり混乱が生じたため、今後は、年度末を避けて実施すると共に、移管文書のスムーズな受入れ体制を整えなければならない。また、旧百年史編集室所蔵史料のうち寄贈史料（文書保存箱 114 箱分）が未整理かつ目録未入力のため、平成 24～25 年度に遡及入力を実施したい。

5. 管理運営等

(1) 図書館組織と運営

<管理運営全般>

平成 23 年 3 月末、任期満了により瀧澤栄治館長（法学研究科教授）が退任し、4 月より部局長経験者である樋口保成館長（理学研究科教授）が就任した。館長の交替に伴い、副館長 3 名が交替した。4 月 25 日に館長・副館長懇談会が開催され、図書館の現状と課題全般の確認と新たな役割分担が決められた。新任の副館長及び役割分担は以下のとおりである。

大塚裕史副館長（法学研究科教授）	社会科学系図書館担当	大学文書史料室長
西野 孝副館長（工学研究科教授）	自然科学系図書館担当	国際交流担当
中山修一副館長（人間発達環境学研究科教授）	評価担当	広報担当

<館内諸会議>

*開催日時、議事内容等は、巻末添付資料に掲載

① 附属図書館運営委員会

- ・平成 23 年度は 5 回開催した。

② 附属図書館長・副館長・分館長懇談会

- ・平成 23 年度は 4 回開催した。

③ 附属図書館評価委員会

- ・平成 23 年度はメール回議を含め 4 回開催した。

④ 附属図書館研究開発室会議

- ・平成 23 年度はメール回議を含め 2 回開催した。

⑤ 大学文書史料室運営会議

- ・平成 23 年度はメール回議を含め 7 回開催した。

⑥ 全学図書系系長会議

- ・平成 23 年度は 2 回開催した。附属図書館事務部の部課長、補佐、係長、経済経営研究所図書係長及び大学文書史料室室員がメンバーで、全学図書館業務に係る実務的な会議である。

<教育研究基盤資料の充実>

平成 23 年度は全学経費 1.5 億円及び間接経費 1.4 億円を確保し、15,023 誌の電子ジャーナルと 31 種のデータベースを全学に提供した。

<入退館管理システムの導入及び更新>

平成 22 年度に総合・国際文化学図書館、自然科学系図書館、人間科学図書館、海事科学分館の 4 館に入退館管理システムを導入したのにつき、平成 23 年度には社会科学系図書館、保健科学図書

室の2館に導入し、医学分館の1館を更新した。

<「大学文書史料室」の運営>

大学文書史料室が、平成22年4月1日に附属図書館に設置され、平成23年3月30日付けで、「国立公文書館等」(＝国立公文書館に類する機能を有する施設)として内閣総理大臣の指定を受けた(平成23年内閣府告示第13号)。平成23年4月1日に「神戸大学における法人文書等の大学文書史料室への移管等に関する要項」を施行した。

◆評価と課題

入退館管理システムを、人文科学図書館・経済経営研究所図書館を除く7館室に設置したことにより、利用者の安全・安心の向上を図り、利用環境整備ができた。

大学文書史料室は、学内の歴史公文書等の移管文書の受入・整理及び目録作成を開始し、メタデータの作成・公開を実施した。更には「神戸大学特定歴史公文書等データベース」が、平成24年3月1日より国立公文書館デジタルアーカイブ横断検索に搭載され提供を開始した。また他機関からの調査及び見学等を目的とした訪問を受入れ、後継諸機関のモデルケースとして高い評価を受けている。

(2) 事務組織と人事管理

<図書館事務組織>

- 平成23年5月現在、附属図書館事務部は2課18係、定員48名、非常勤職員39名の87名となっている。また経済経営研究所図書係は、定員3名を配置しており、平成22年4月に設置した大学文書史料室は定員1名、非常勤職員1名(平成23年度ビジョン推進経費により非常勤職員を別途雇用)を配置している。
- 平成22年度末の退職により、平成23年4月は欠員1名であったが、さらに7月の人事異動により欠員は2名となった。
- 昨年度に引き続き、自然科学系情報サービス係長と自然科学系情報管理係長を併任とした。
- 平成23年5月現在、職員の配置状況は、以下のとおりである。

地区	館室	配置係数等	定員職員	非常勤職員	計
六甲地区	総合・国際文化学図書館	サービス課長 2係	5	4	9
	社会科学系図書館	部長 管理課長・補佐 7係	20	19	39
	自然科学系図書館	管理課補佐 3係	7	5	12
	人文科学図書館	1係	4	1	5
	人間科学図書館	1係	3	2	5
楠地区	医学分館	サービス課補佐(空席) 2係	4	4	8
名谷地区	保健科学図書室	1係	1	2	3
深江地区	海事科学分館	サービス課補佐 1係	4	2	6
		計	48 (欠員1)	39	87 (欠員1)

六甲地区	経済経営研究所図書館	1係	3	0	3
	大学文書史料室		1	1	2

- ・ 現在のところ、社会科学系図書館が事実上の中央館として機能しており、企画係・管理係が全館の総務機能を、図書受入係・雑誌情報係・目録情報係は、当該業務に係る全館調整機能と社会科学系図書館及び総合・国際文化学図書館の整理業務を担当している。
- ・ 情報管理課の電子図書館係（社会科学系図書館配置）、同情報システム係（自然科学系図書館配置）及び情報サービス課の情報リテラシー係（総合・国際文化学図書館配置）は、当該業務の全館調整機能を果たしている。
- ・ 情報管理係は、自然科学系図書館及び医学分館に配置し、各館の総務機能と整理部門を担当し、各館室に配置する情報サービス係は、主に各館室のサービス業務を担当している。

<職員の採用と育成>

- ・ 近畿地区国立大学法人等職員採用試験図書系専門試験受験者の中から平成 23 年度に職員 2 名を新規採用した。
- ・ 新規採用者は「神戸大学新任職員研修」及び「兵庫県下教育機関事務系職員（新規採用者）研修」を受講した。
- ・ 図書館では、事務系職員の「職員調書」とは別に図書系職員の「意向調書」を実施している。平成 23 年度も職員のキャリア形成に係わる目標や希望に加えて、業務内容やスキルの分析、業務目標の達成度評価等を盛り込み、よりの確な聴取に努め、その結果研修計画等に反映した。
- ・ 国立情報学研究所の主催する各種研修、大学図書館職員長期研修、主題専門知識の研修等に職員を派遣し、スキルアップに努めた。今年度参加の主な研修は次のとおりである。

区分	研修名	主催	日程	参加者
若手職員向けの基礎研修	図書館等職員著作権実務講習会	文化庁	8/31-9/2	係員 1
	大学図書館職員短期研修	国立情報学研究所	10/4-7	係員 2
中堅職員向けの研修	近畿地区中堅係員研修	人事院近畿事務局	6/7-10	係員 1
	大学図書館近畿イニシアティブ中級研修	大学図書館近畿イニシアティブ	6/23-24	係員 4
	大学図書館職員長期研修	筑波大学	7/4-15	係長 1
個別業務の専門的知識のための研修	漢籍整理長期研修	東京大学東洋文化研究所	6/13-17,9/5-9	係員 1
	メンタルヘルス研修	神戸大学	6/30(教材発送)	課長 1 係長 2
	NACSIS-CAT/ILL ワークショップ	国立情報学研究所	7/20-22	係員 1
	科学技術情報研修	国立国会図書館	7/22	係長 1
	学術ポータル担当者研修	国立情報学研究所	8/3-5	係員 1
	第一種衛生管理者試験受験準備講習会	神戸大学	8/3-5	係長 1
	目録システム地域講習会	国立情報学研究所	8/31-9/2	係員 3 非常勤 1
	古文書合宿及び事前指導	人文学研究科	9/2,9/5-6	補佐 1 係員 1
	機関リポジトリ新任担当者研修	デジタルリポジトリ連合	9/8-9	係長 1

	漢籍担当職員講習会(初級)	京都大学東アジア人文情報学研究センター	10/3-7	係員 1
	近畿地区国立大学法人等会計事務研修	神戸大学(当番校)	10/18-21	係員 1
	学術情報リテラシー教育担当者研修	国立情報学研究所	10/19-21	係員 1
	機関リポジトリ中堅担当者研修	デジタルリポジトリ連合	10/20-21	係員 1
	NAIST 電子図書館学講座	奈良先端科学技術大学院大学	10/20-21	係員 1
	学内会計事務研修	神戸大学	11/29-30	係員 1
	神戸大学広報研修会	神戸大学	12/16	補佐 1 係員 1
	日本古典籍講習	国文学研究資料館	1/24-26	係員 1

1 日以内の講演会・研修会等	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーションソフトウェア研修 ・ベンダー主催セミナー ・Iprism 著作権法シンポジウム ・近畿における機関リポジトリコミュニティ形成の支援 ・JdreamII 研修会入門コース ・兵庫県大学図書館協議会研究会 ・医図協近畿地区会等実務者研修会 ・京都大学図書館機構第1回講演会 ・兵庫県大学図書館協議会施設見学会 ・公開研修会「電子出版・学術情報の電子化の実践のために」 ・救急講習会 ・国立大学図書館協会シンポジウム ・全国遺跡資料ワークショップ ・XooNIps 研究会 2011 関西ワークショップ ・SPARC Japan セミナー ・大阪大学附属図書館シンポジウム ・研修会「多様な利用者への多様な対応」 	兵庫県大学図書館協議会、国立大学図書館協会、兵庫県図書館協会、京都大学、大阪大学、神戸大学ほか（主に近畿地区で開催されるもの）	各半日～1日	管理職を含め延べ 56
----------------	--	---	--------	-------------

- 大学文書史料室設置に伴い、公文書管理等についての専門性向上・知識習得を目的とした学外研修等に室員を派遣した。主な研修は次のとおりである。

区分	研修名	主催	日程	参加者
専門性向上・知識習得等の学外研修・説明会等	公文書管理法制セミナー	行政管理研究センター	6/21	室員 1
	アーカイブズ研修Ⅱ	国立公文書館	1/24-26	室員 1

加えて、室員が講師となって、学内職員に対する文書管理の研修を次のとおり実施した。

- 「神戸大学文書管理者研修」（受講者数：70名）
- 大学文書史料室職員に対する研修：3回

◆評価と課題

学外の各種図書館関連研修、情報関連研修、専門主題に関わる研修に職員を派遣した。また、学内の救急講習会や人文学研究科の古文書研修を職員に受講させた。その研修成果は、報告書提出の義務付けにより他の職員の能力開発に役立てている。

<業務の改善と効率化・合理化>

① 業務の標準化・合理化

- 平成23年1月に、図書館業務システムと電子図書館システムの契約を一本化したことにより、効率的な保守運用が可能となった。今後はシステム更新の際の契約業務の軽減、および統合的なシステム構築が見込まれる。
- 各館室に共通する業務や課題については、係横断的なワーキンググループを組織し、業務の合理化・質的向上を図った。特に「学術成果リポジトリ推進ワーキンググループ」が企画・開催した神戸大学学術成果リポジトリ Kernel 開設5周年記念講演会「Kernelが拓く研究の未来—かわいい論文には世界中、旅をさせよ—」(日程：10月26日、会場：神戸大学瀧川記念学术交流会館、参加者数84名)及び「情報リテラシー教育支援ワーキンググループ」が研究者支援のためエルゼビア・ジャパン株式会社と共催で企画・開催した「若手研究者のための Author Workshop—英語論文を読み、投稿してみよう—」(日程：11月8日、会場：神戸大学六甲ホール、参加者数:125名)などは、大盛況であった。

② アウトソーシング

- 定員削減等に対応し、業務の軽減方策として、図書館業務に関しては、雑誌製本業務、図書装備付納品、目録遡及入力業務、社会科学系図書館及び医学分館の時間外開館業務、電子化コンテンツの作成業務を平成22年度に引き続き外部委託をおこなった。
- 平成22年度に試行的に実施した資産点検業務のアウトソーシングは、臨時閉館の必要がなく利用者サービスにも繋がるため、平成23年度も実施した。
- 文献複写業務のアウトソーシングは経費削減のため、平成23年度より中止した。

③ 業務改善の検討

- 平成23年度神戸大学業務改善ワーキンググループが立ち上がり、業務改善プロジェクトで策定された業務改善対応策の取組状況の点検を実施した。図書館の業務改善策のうち、図書購入方法の見直し、図書予算の大括り化、予算確認・調整業務の廃止等については実施済となった。また複写経費一元化、文献複写経費一元化については、実施困難であることが了承された。

- ・ 新規業務改善として、下記(1)～(2)を提案し、今後検討することとなった。
 - (1)資産管理計画の策定：遡及入力
 - 第 2 期中期計画において遡及入力事業の終了を目指し推進を図る。
 - (2)資産管理計画の策定：資産点検
 - 資産点検にかかる業務軽減を目的としたアウトソーシングの推進を図る。

(3) 予算及び財務会計業務

<平成 23 年度附属図書館予算・決算>

① 経常運営費

- ・ 平成 23 年度当初予算 175,937 千円 決算額 182,769 千円であった。
- ・ 平成 22 年度の当初予算 177,303 千円、決算 181,612 千円に比較して、当初予算は減額となり、決算額は増額となった。(当初予算額 H22 予算比 1,366 千円 0.8%減、H22 決算比 1,157 千円 0.6%増)

② 経常事業費

- ・ 平成 23 年度当初予算 223,958 千円 決算額 218,927 千円であった。(大学文書史料室管理運営経費を除く)
- ・ 平成 22 年度の当初予算 230,660 千円、決算 233,993 千円に比較して、当初予算、決算額とも減額となった。(当初予算額 H22 予算比 6,702 千円 2.9%減、H22 決算比 15,066 千円 6.4%減)
- ・ 平成 23 年度の学生用資料費予算は、H22 予算 61,000 千円から H23 予算 60,000 千円に減額された。
- ・ 大学文書史料室管理運営経費（ビジョン推進経費）により、大学文書史料室の運営を図った。

③ 臨時的経費

- ・ 教育研究基盤資料整備費により、外国雑誌を含む電子ジャーナル、データベースの維持及び整備を実施した。(2.9 億円【全学経費 1.5 億円+間接経費（全学共通分）1.4 億円】)
- ・ 教育研究充実設備費により、入退館管理システムを導入（社会科学系図書館、保健科学図書室）及び更新（医学分館）した。
- ・ 六甲台後援会奨学寄付金により、中山正實画伯作油彩画 4 点の修復を完了した。(社会科学系図書館)
- ・ 運営費交付金（施設部営繕事業）により、自然科学系図書館の空調設備を更新した。
- ・ 障害学生教育支援経費により、神大会館西側にスロープを設置し、大学文書史料室への車椅子等での来館が可能となった。
- ・ 運営費交付金（施設部営繕事業）により、大学文書史料室のイナージェンガスによる自動消火設備を設置した。
- ・ 大学文書史料室奨学寄付金により、旧百年史編集室所蔵史料の整理及び目録作成を実施した。

④ その他の経費

- ・ 電子図書館事業に関連して新聞記事文庫コンテンツ作成のため、科学研究費補助金 12,600 千

円を獲得した。

- 平成 23 年度附属図書館予算及び決算を巻末に添付する。

◆評価と課題

教育研究基盤資料整備費として所要額 2.9 億円の財源を確保し、15,023 誌の電子ジャーナルと 31 種のデータベースを全学に提供維持すると共に、20%の外国雑誌購読補填を実施した。

平成 23 年度経常運営費及び経常事業費の当初予算総額が前年度より 8,068 千円減額となったことで、図書館資料費等の経費を減額せざるを得なくなった。また平成 22 年度より図書館施設の整備費として経常運営費や経常事業費より館長裁量経費を捻出しているが、予算減額に伴い平成 23 年度は 11,115 千円（2,000 千円減）の予算となった。この館長裁量経費により、社会科学系図書館の利用者及び事務スペースの配置見直しを行ったことで学習環境が整備できた。今後も予算の減少が予想される中で、図書館として教育研究支援や利用者サービス等を低下させることなく、どのように運営していくかが、課題となる。

大学文書史料室の管理運営経費は、ビジョン推進経費が当初配分された。これにより学内の歴史公文書等の移管文書の受入・整理及び目録作成を開始し、メタデータの作成・公開が実施できた。

<図書資産の管理>

①図書資産点検

- ・ 平成 23 年度の資産点検は、総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館、自然科学系図書館、人文科学図書館、人間科学図書館、海事科学分館の 6 館室で実施し、点検総冊数は 399,513 冊である。

②不明資料の追跡調査

- ・ 平成 20～22 年度資産点検時から不明となっている資料について、追跡調査を実施した。（資産点検時不明資料 11,313 点、追跡調査による発見資料 8,154 点）

③不用決定

- ・ 不明後 3 年以上経過している資料（平成 17～19 年度資産点検時からの不明資料）を不用決定した。（1,749 点、資産価格 6,060,876 円）
- ・ 重複資料やオンラインで利用可能となった資料を不用決定した。（6,443 点、資産価格 59,493,933 円）

◆評価と課題

図書資産点検は、資産の効率的運用を図るために中期計画期間と同じ 6 年周期で一巡するという計画を立て、第 1 期中期計画期間（平成 16・21 年度）において目標を達成することが出来た。今年度は第 2 期中期計画期間（平成 22・27 年度）の 2 年目であり、総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館、自然科学系図書館、人文科学図書館、人間科学図書館、海事科学分館において約 40 万冊の図書資産点検を実施した。また、平成 22 年度から試行している資産点検のアウトソーシングは、閉館の必要がないため利用者サービスの向上と業務の合理化が実現し、平成 23 年度も 4 館（社会、自然、総合・国際、海事）で実施した。

平成 20～22 年度資産点検時から不明となっている資料についても追跡調査を実施すると共に、平成 22 年度に実施していなかった「不明後 3 年以上経過している資料（平成 17～19 年度資産点検時からの不明資料）」の不用決定を実施し、図書資産の管理を強化した。

(4) 施設整備・システム整備

<各館室の施設整備>

- 平成 23 年度に整備した主な事項は、以下のとおりである。
 - 総合・国際文化学図書館：グループ学習室整備
 - 社会科学系図書館：入退館管理システム導入、本館 2 階ホール整備、受付カウンター・事務室等整備
 - 自然科学系図書館：空調設備更新
 - 医学分館：入退館管理システム更新、防犯カメラシステム更新、閲覧室整備
 - 保健科学図書室：入退館管理システム導入
 - 海事科学分館：館内放送設備整備、閲覧室整備
 - 大学文書史料室：敷地内西側スロープ設置

<安全点検>

- 労働安全衛生法に基づく衛生管理者を置き、毎週点検を実施した。
- 平成 23 年度の労働安全衛生に関連する改善事項を記す。

総合・国際文化学図書館	書庫避難誘導表示整備 照明回路絶縁改修
社会科学系図書館	管理棟外壁タイル剥離調査 利用者用サイン整備 空調機フィルター清掃 防犯カメラ装置増設設置 防犯カメラ表示サイン設置 電気錠設置
人文科学図書館	空調設備修理 開架閲覧室他避難誘導表示整備 地階倉庫内段差喚起のため、タイガーテープの貼付 地階書庫内非常口に LED 常備灯(懐中電灯)壁設置
自然科学系図書館	空調設備更新 書庫避難誘導表示整備
人間科学図書館	書庫避難誘導表示整備 廊下照明増設
医学分館	空調設備修理 防犯カメラシステム更新 24 時間開館の扉改修 書庫避難誘導表示整備
保健科学図書室	階段他照明増設 1 階雑誌室非常口設置 避難誘導表示整備
海事科学分館	蛍光灯安定器取替 渡り通路雨漏れ補修工事 書庫避難誘導表示整備
大学文書史料室	書庫内書架転倒防止工事 掲示物用ピクチャーレール設置 書庫内蓄光式非常口サイン及び避難口誘導サイン設置 イナージェンガスによる自動消火設備設置 案内サイン更新

◆評価と課題

頻繁に故障していた自然科学系図書館の空調設備が更新され、利用者へのアメニティが向上した。

利用者への安全管理のため全館室で非難経路等の防災対策調査を実施し、書庫等の避難誘導表示の整備をおこなった。また海事科学分館では、書庫に放送設備が設置されたことにより、安全安心のための整備ができた。大学文書史料室では、イナージェンガスによる自動消火設備を設置され、更には建物西側にスロープを設置出来たことで、身障者はもちろん健康者にも安心して来室できる環境となった。

今後の課題

1. 社会科学系図書館の書庫(A棟・B棟)及び管理棟エレベーターは、平成21年度に改修しているが、書庫(C棟)のエレベーターは老朽化が激しく、使用に苦慮している状態であるので改修が必要。
2. 海事科学系分館と医学分館の空調設備は、重要な部分の故障が発生しており、利用者へのサービス低下になっているので更新が必要。
3. 社会科学系図書館管理棟外壁タイルについて、平成23年9月に施設部で調査を行った結果、相当数のタイルの浮きが確認されている。剥がれる落下の危険があるため早期の改修が必要。
4. 各館室において頻繁に雨漏りが発生しているので、調査・補修及び防水工事等が必要。

<システム整備>

- ・ 平成22年4月から財務会計システムによる図書支払処理および検収データの図書館システムへの自動連携を開始した。
- ・ 平成23年1月に図書館システムの更新を実施した。これは、図書館業務管理機能、デジタルアーカイブ機能、統合情報提供機能、業務用端末およびネットワークシステム等を含み、大学シングルサインオンシステムとの連携も実現した。また、前システムから引き続き、統合ユーザ管理システムおよび財務会計システムとの連携も行っている。

◆評価と課題

図書館システム更新後も財務会計システムとの連携について大きなトラブルもなく、その他の業務においても新システム移行後1年を経過したが概ね問題なく稼働している。

システム更新に伴い利用者インタフェースにも変更があったが、OPACの機能向上や拡充された各種サービスのMyLibraryにおける一元的提供など、図書館利用者の利便性を向上させることができた。

平成24年度には試行中の情報基盤センターにおける学術認証フェデレーション(学認, GakuNin)を基盤とした各種サービスも正式に開始される予定であり、利用者の利便性は更に向上するものと期待される。またひきつづき図書館システムの安定稼働をはかり、情報管理および情報セキュリティ管理の徹底を期する。

(5) 図書館界での諸活動

<国立大学図書館協会>

- ・ 平成 24 年度総会当番館として、平成 23 年度総会において、開催会場(ANA クランプラザホテル神戸)及び期日(平成 24 年 6 月 21 日)等の案内をおこなった。総会開催に向け、会場等の準備を開始した。
- ・ 「人材委員会人材育成事業グループ」の委員を務めた(情報管理課長)。

<兵庫県大学図書館協議会>

- ・ 平成 22 年度に引き続き、会長館、事務局として協議会の運営にあたった。研修事業においては、研修担当館による事業の企画・運営を事務局として補助した。
 - ・ 研究会「大学図書館における情報リテラシー教育への参画」
 - ・ 施設見学会 神戸学院大学ポーアイ図書館
 - ・ 研究会「大学図書館における教育支援のあり方について」
- ・ 県の大学図書館にとどまらず、公共図書館や大学図書館近畿イニシアティブ加盟館とも連携強化を図っている。
- ・ 平成 23 年度の活動成果として、総会において、各加盟館における特色ある活動、または力を入れている活動について、事例報告と質疑応答を行った。書庫の狭隘化について、学習支援関連の状況、地域連携・図書館の地域開放について、選書方法といった事柄について、活発に情報交換がなされ、今後の大学図書館の展開を模索する上でも貴重な情報共有ができた。

<その他>

- ・ 近畿地区国立大学等職員採用図書系専門試験実施委員会の委員を務めた。
- ・ 近畿イニシアティブ運営委員会の委員を務め、また運営委員会の開催協力をおこなった。
- ・ 近畿イニシアティブ能力開発専門委員会の主査を務めた(情報サービス課長補佐)。
- ・ 日本医学図書館協会近畿地区会例会の会場館を務めた(情報サービス課長補佐)。

◆評価と課題

国立大学図書館協会や兵庫県大学図書館協議会の活動において、会員間で緊密な連携と協力を図ることによって、それぞれの図書館機能の向上を支援するとともに、学術情報資源の共同整備と相互利用を促進している。大学図書館職員の資質向上においてもメリットが大きい。

次年度は国立大学図書館協会総会の当番館となっており、この開催を成功させることが当面の大きな課題である。

附属図書館蔵書・受入等の現況(平成23年度)

		総合・国際	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計		
蔵書	蔵書数 (冊)	526,191	1,315,081	485,907	295,390	331,722	276,865	143,626	67,192	253,675	3,695,649		
	和洋区分	和漢書	378,600	620,643	258,312	185,891	256,376	120,655	62,094	57,956	196,733	2,137,260	
		洋書	147,591	694,438	227,595	109,499	75,346	156,210	81,532	9,236	56,942	1,558,389	
	遡及状況	入力済	462,198	1,144,835	291,132	249,669	252,276	169,709	76,096	65,167	253,675	2,964,757	
		未入力	63,993	170,246	194,775	45,721	79,446	107,156	67,530	2,025	0	730,892	
	所蔵雑誌数 (タイトル数)	2,988	16,000	5,432	4,186	3,608	6,249	3,094	1,040	3,563	46,160		
	和洋区分	国内雑誌	1,794	6,141	2,473	3,256	2,410	2,649	1,618	829	2,369	23,539	
外国雑誌		1,194	9,859	2,959	930	1,198	3,600	1,476	211	1,194	22,621		
図書受入	受入図書数 (冊)	4,695	3,828	19,029	6,601	4,218	3,787	1,192	3,070	1,708	2,395	50,523	
	和洋区分	和漢書	4,643	2,817	10,936	4,501	3,034	3,293	786	2,725	1,546	2,228	36,509
		洋書	52	1,011	8,093	2,100	1,184	494	406	345	162	167	14,014
	取得手段	購入(一般財源)	4,652	2,809	8,471	3,449	1,903	2,665	597	1,144	1,249	1,684	28,623
		補助金による購入	3	773	6,002	1,442	1,227	567	123	739	191	139	11,206
		一般寄贈	0	148	1,705	786	580	193	295	445	0	207	4,359
		製本編入	40	98	2,851	924	508	362	177	742	268	365	6,335
	取得目的	学生用図書	4,467	380	3,224	3,026	342	2,011	195	1,508	1,090	944	17,187
		図書館備付	164	915	8,410	610	1,904	237	755	763	268	1,134	15,160
		研究室備付	64	2,533	7,395	2,965	1,972	1,539	242	799	350	317	18,176
	除却・移譲等による減 (冊)	1,101	0	679	2,115	75	2,547	35	1,806	0	168	8,526	
	和洋区分	和漢書	75	0	491	47	75	2,469	35	968	0	163	4,323
		洋書	1,026	0	188	2,068	0	78	0	838	0	5	4,203
	年間増加数 (冊)	3,594	3,828	18,350	4,486	4,143	1,240	1,157	1,264	1,708	2,227	41,997	
	和洋区分	和漢書	4,568	2,817	10,445	4,454	2,959	824	751	1,757	1,546	2,065	32,186
		洋書	-974	1,011	7,905	32	1,184	416	406	-493	162	162	9,811
	雑誌受入	受入雑誌数 (タイトル数)	135	404	3,188	1,166	1,945	881	793	661	370	443	9,986
和洋区分		国内雑誌	94	346	990	837	1,678	758	502	428	327	360	6,320
		外国雑誌	41	58	2,198	329	267	123	291	233	43	83	3,666
取得手段		購入(一般財源)	135	117	2,902	699	329	371	325	224	116	144	5,362
		補助金による購入	0	0	22	0	0	0	0	46	0	1	69
		一般寄贈	0	287	264	467	1,616	510	468	391	254	298	4,555
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
取得目的		学生用雑誌	90	12	41	158	23	115	0	212	105	0	756
		図書館備付	0	349	2,872	768	1,922	521	781	376	254	417	8,260
		研究室備付	45	43	275	240	0	245	12	73	11	26	970
その他資料受入	受入新聞数 (タイトル数)	7	0	29	13	6	6	11	5	7	13	97	
	和洋区分	国内新聞	6	0	23	11	4	6	6	4	7	13	80
		外国新聞	1	0	6	2	2	0	5	1	0	0	17
	取得手段	購入	6	0	29	13	6	6	11	5	4	11	91
		寄贈	1	0	0	0	0	0	0	0	3	2	6
	データベース(年間契約点数)	18	0	7	1	0	0	0	5	1	0	32	
	電子ジャーナル(利用可能数)	18,029										18,029	
資料購入費	一般財源資料費	312,884,763	17,664,203	169,327,479	48,871,299	21,491,546	14,296,114	19,907,793	31,278,236	11,372,152	11,469,570	658,563,155	
	図書館セグメント	学生用図書	17,835,935	2,301,753	9,990,026	13,468,653	2,344,000	3,381,799	1,034,313	6,250,616	2,974,000	3,074,988	62,656,083
		その他資料費	292,140,601	0	33,610,698	0	0	0	0	0	0	0	325,751,299
	部局セグメント	館室備付	2,401,514	4,583,968	103,073,758	7,754,609	10,991,459	5,899,896	18,379,168	23,967,207	7,000,000	7,271,665	191,323,244
		研究室備付	506,713	10,778,482	22,652,997	27,648,037	8,156,087	5,014,419	494,312	1,060,413	1,398,152	1,122,917	78,832,529
	その他の財源 補助金等	3,875,023	5,405,143	37,704,509	16,115,581	7,430,974	7,094,150	1,161,700	8,289,200	1,147,014	1,107,964	89,331,258	
	図書購入費	11,942,533	18,282,825	106,981,949	30,273,723	21,707,841	13,761,125	6,995,915	13,974,684	6,745,067	7,689,733	238,355,395	
	和洋区分	和漢書	11,516,602	10,803,733	41,494,307	16,450,677	14,440,953	10,348,049	1,953,672	10,545,209	6,139,111	5,576,022	129,268,335
		洋書	425,931	7,479,092	65,487,642	13,823,046	7,266,888	3,413,076	5,042,243	3,429,475	605,956	2,113,711	109,087,060
	雑誌購入費	19,686,984	1,594,771	88,153,803	27,030,469	5,172,085	6,880,722	12,452,534	18,979,408	4,661,022	4,389,364	189,001,162	
	和洋区分	国内雑誌	1,169,699	631,367	15,784,059	5,495,637	1,179,324	3,051,965	3,603,997	3,742,161	1,963,125	1,279,811	37,901,145
		外国雑誌	18,517,285	963,404	72,369,744	21,534,832	3,992,761	3,828,757	8,848,537	15,237,247	2,697,897	3,109,553	151,100,017
	新聞購入費	247,656	0	2,574,334	619,281	297,576	173,460	796,622	247,656	173,160	493,807	5,623,552	
	電子資料費	284,664,792	0	5,977,515	1,273,998	0	0	0	5,476,891	333,182	0	297,726,378	
	その他の資料購入費	217,821	3,191,750	3,344,387	5,789,409	1,745,018	574,957	824,422	888,797	606,735	4,630	17,187,926	
	資料購入費計	316,759,786	23,069,346	207,031,988	64,986,880	28,922,520	21,390,264	21,069,493	39,567,436	12,519,166	12,577,534	747,894,413	
電子コンテンツ作成費	11,081,552										11,081,552		
製本費	301,392	6,226,584	2,018,016	1,125,222	790,608	386,568	1,620,528	585,312	818,370	13,872,600			

* 所蔵雑誌数は雑誌包括所蔵数から誌名変遷数を引いた数値とする(平成23年度変更)

附属図書館サービス業務の現況(平成23年度)

		総合・国際	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計	
施設	施設面積合計(m ²)	3,558	10,707	3,287	1,414	1,474	1,084	1,612	848	2,170	26,154	
	現行用途別(m ²)	サービススペース	1,954	2,359	1,577	775	538	141	838	653	719	9,554
		書庫スペース	1,208	5,771	449	473	714	887	431	38	1,051	11,022
		事務スペース	130	605	351	115	89	27	163	35	159	1,674
		その他	266	1,972	910	51	133	29	180	122	241	3,904
	閲覧座席数	閲覧座席数	450	466	222	106	151	24	202	80	143	1,844
		上のうち、教員用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	書架収容力	棚板延長(m)	11,719	49,030	10,535	8,824	7,857	6,833	5,634	2,317	7,258	110,007
収容可能冊数		325,500	1,361,900	292,600	245,100	218,300	189,800	156,500	64,400	201,600	3,055,700	
利用者端末台数		48	44	33	20	17	2	20	12	15	211	
利用者	利用対象者総数	5,015	4,540	5,896	825	1,453	67	2,561	900	1,373	22,630	
	利用者別	学部学生	4,241	2,264	2,532	365	821	-	547	545	803	12,118
		大学院生	229	1,327	1,945	240	341	-	518	209	251	5,060
		教職員	392	534	1,318	162	238	66	1,433	124	226	4,493
		その他	16	96	0	19	5	1	38	1	32	208
		学外登録者総数	137	319	101	39	48	0	25	21	61	751
内訳:卒業生等 560、放送大学 67、一般市民 124												
開館入館	開館日数	年間	269	318	278	273	273	237	287	256	267	2,458
		土曜(内数)	35	47	35	35	35	0	49	34	34	304
		休日(内数)	6	38	6	6	6	0	0	0	5	67
	時間外等開館時間数	平日時間外開館	751.5	1,035.0	787.5	543.0	692.0	0.0	940.0	498.0	521.0	5,768
		土曜開館	280	423	280	280	280	0	392	272	272	2,479
		休日開館	48	342	48	48	48	0	0	0	40	574
	入館者数	年間入館者総数	271,229	274,519	128,284	73,687	79,360	4,150	107,405	104,847	33,324	1,076,805
		内訳)時間内(含:土日)	238,362	203,705	107,042	61,484	70,165	4,150	70,246	87,045	29,613	871,812
		平日時間外	32,867	70,814	20,934	12,203	9,195	0	20,260	17,802	3,711	187,786
		閉館時(無人)	-	-	308	-	-	-	16,899	-	-	17,207
土曜(内数)		5,893	20,534	5,469	2,549	1,991	0	5,316	4,938	991	47,681	
休日(内数)		1,315	13,861	1,522	414	356	0	0	0	310	17,778	
学外者(内数)	学外者(内数)	3,686	1,705	1,361	149	1,168	72	1,100	218	938	10,397	
	うち、一般市民	3,220	1,176	1,055	68	1,066	31	853	171	786	8,426	
貸出	貸出総冊数	68,549	72,876	36,566	17,682	22,064	995	11,516	16,306	16,340	262,894	
	利用者別	学生	44,062	23,969	22,300	4,819	12,081	56	6,459	12,563	9,531	135,840
		院生	17,232	35,914	12,179	9,771	8,152	375	940	2,464	4,478	91,505
		教員	3,946	5,926	1,190	2,309	974	475	769	977	1,047	17,613
		職員	1,944	2,772	518	573	459	64	3,023	197	549	10,099
		その他	73	3	7	0	26	0	177	9	104	399
		学外者総数	1,292	4,292	372	210	372	25	148	96	631	7,438
うち、一般市民	685	-	-	-	-	-	-	-	340	1,025		
参考調査	参考調査件数	2,516	5,213	3,306	2,263	2,251	278	1,359	1,524	1,340	20,050	
	利用者別	学生	2,207	3,076	2,530	1,983	1,886	167	611	1,175	804	14,439
		教職員	222	312	418	146	350	90	476	131	80	2,225
		学外者	87	1,825	358	134	15	21	272	218	456	3,386
複写相互利用	来館複写件数	4,654	7,568	7,053	10,533	4,344	1,684	11,052	5,933	688	53,509	
	利用者別	学内者	3,722	6,388	6,441	10,235	3,602	1,662	8,610	5,497	543	46,700
		学外者	932	1,180	612	298	742	22	2,442	436	145	6,809
	学内相互利用	ILL文献複写 受付	82	179	112	184	88	49	173	112	71	1,050
		ILL文献複写 依頼	211	201	98	139	241	5	82	97	17	1,091
	図書配送	発送申込冊数	5,860	4,661	1,084	1,391	2,844	-	527	962	1,916	19,245
		受取申込冊数	5,131	4,138	2,017	4,383	2,359	-	300	268	649	2,879
		申込者数	712	620	501	396	348	-	71	83	148	1,381
	学外相互利用	ILL文献複写 受付	283	4,170	1,258	655	509	313	1,868	1,072	375	10,503
		ILL文献複写 依頼	862	742	815	862	747	30	1,323	712	83	6,176
		ILL現物貸借 受付	270	1,670	149	427	216	28	12	14	93	2,879
		ILL現物貸借 依頼	242	264	76	606	163	20	4	3	3	1,381
	海外ILL	文献複写 受付	0	26	0	0	0	0	0	0	8	34
		文献複写 依頼	3	33	6	10	0	0	0	0	0	52
現物貸借 受付		0	12	0	0	0	0	0	0	0	12	
現物貸借 依頼		4	19	0	7	0	0	0	0	0	30	

電子ジャーナルタイトル数(H23.4)

18,029(洋:16,777+和:1,252)

電子ジャーナルアクセス状況(2011.1~12)

フルテキストへのアクセス数

	2011.1	2011.2	2011.3	2011.4	2011.5	2011.6	2011.7	2011.8	2011.9	2011.10	2011.11	2011.12	合計
Elsevier ScienceDirect	31,223	26,175	24,641	29,424	35,085	34,634	31,371	25,563	28,386	35,160	37,473	29,461	368,596
SpringerLINK	4,646	4,548	4,301	5,279	6,550	6,102	5,139	4,961	4,983	6,520	6,658	5,656	65,343
Wiley-Blackwell	8,301	6,848	6,028	7,689	9,401	8,946	8,434	7,083	7,006	9,644	9,069	7,690	96,139
JSTOR	3,788	3,478	2,502	3,480	4,078	4,059	3,490	3,116	3,543	4,009	4,104	3,860	43,507
Nature	6,078	5,510	6,257	6,746	7,232	7,481	6,138	6,342	5,973	7,723	6,888	5,656	78,024
Science Online	1,246	836	1,051	1,074	1,190	1,305	1,127	1,056	982	1,293	1,246	994	13,400
IEEE CSDL	1,716	1,197	817	1,882	2,333	3,415	2,055	2,868	2,238	1,449	1,297	1,032	22,299
ACM Portal	1,357	1,528	1,525	943	1,508	2,058	1,080	1,165	576	821	641	443	13,645
APS	1,167	1,142	1,007	1,059	1,334	1,179	1,095	806	1,056	1,416	1,227	1,037	13,525
LWW via Ovid	1,112	972	918	1,192	1,433	1,180	875	1,123	1,071	1,119	1,121	1,182	13,298
ACS	3,116	2,740	2,742	4,566	5,844	5,657	5,051	3,624	4,587	8,060	7,631	4,824	58,442
Oxford UP	2,220	1,763	1,404	1,510	1,971	2,012	1,899	1,515	1,384	2,070	1,858	1,730	21,336
Cambridge UP	389	342	287	437	490	429	516	366	295	382	495	445	4,873
EBSCOhost	676	618	603	716	253	888	919	928	1,091	1,064	1,406	839	10,001
HeinOnline	918	516	474	802	467	636	432	244	323	601	1,364	569	7,346

導入データベース数(H23.4)

全学利用	48 WWWアクセス(外部サーバ28, CD-ROMサーバ20)※官報除
キャンパス限定(医学)	3 医学3(医中誌、EBMR、Up to date)
スタンドアロン	285 各館館内利用のみ

データベースアクセス状況(2011.1~12)

各項上段がセッション数、下段(カッコ)が検索数

	2011.1	2011.2	2011.3	2011.4	2011.5	2011.6	2011.7	2011.8	2011.9	2011.10	2011.11	2011.12	合計
Web of Science SCIE	6,914 (11,048)	5,739 (6,585)	4,091 (6,714)	5,899 (10,339)	6,672 (10,081)	7,417 (11,275)	6,426 (11,008)	4,852 (10,004)	5,239 (8,725)	6,784 (16,793)	7,268 (24,472)	5,929 (9,471)	73,230 (136,515)
JCR	666 (866)	533 (640)	507 (643)	577 (663)	564 (765)	729 (762)	591 (821)	505 (634)	448 (545)	619 (770)	566 (680)	473 (756)	6,778 (8,545)
医学中央雑誌	7,646	7,386	7,695	12,594	11,956	11,137	9,006	10,691	9,723	8,345	8,818	9,653	114,650
MathSciNet	2,262 (2,904)	1,706 (2,249)	2,143 (2,725)	3,215 (4,116)	3,412 (4,216)	3,216 (3,997)	3,104 (4,107)	3,433 (3,998)	3,130 (3,717)	2,515 (3,303)	1,993 (2,654)	3,030 (3,856)	33,159 (41,842)
SciFinder	436	350	295	470	553	625	569	430	444	568	570	461	5,771
Readers Guide to Periodical Literature	6 (12)	5 (13)	3 (6)	19 (74)	5 (7)	11 (27)	6 (14)	3 (8)	5 (7)	11 (23)	8 (21)	4 (9)	86 (221)
Business Periodicals Index	6 (12)	8 (17)	4 (7)	16 (53)	11 (25)	10 (27)	9 (19)	9 (20)	8 (11)	14 (41)	10 (36)	9 (34)	114 (302)
EconLit	106 (471)	79 (346)	75 (376)	91 (444)	115 (532)	79 (422)	118 (568)	76 (381)	141 (500)	110 (509)	92 (593)	64 (310)	1,146 (4,690)
Index to Legal Periodicals & Books	5 (6)	5 (7)	1 (7)	4 (9)	4 (16)	3 (10)	8 (14)	8 (22)	4 (14)	20 (95)	13 (19)	1 (1)	76 (220)
House of Commons Parliamentary Papers	0	1	2	4	1	5	8	0	7	9	1	4	42
Business Source Premier	494 (957)	402 (723)	417 (792)	702 (1,354)	666 (1,455)	645 (1,136)	566 (1,026)	436 (669)	546 (1,202)	711 (1,441)	649 (1,601)	509 (907)	6,743 (13,263)
CINAHL	46 (148)	181 (661)	27 (152)	80 (311)	48 (307)	27 (258)	35 (148)	83 (429)	29 (195)	31 (172)	28 (122)	35 (92)	650 (2,995)
ProQuest Dissertations & Theses Complete [A&I]	52 (71)	45 (57)	52 (61)	31 (110)	42 (129)	21 (39)	22 (58)	9 (35)	24 (49)	32 (62)	28 (65)	36 (216)	394 (952)
PhycINFO	52 (179)	27 (97)	24 (113)	56 (318)	85 (497)	84 (427)	53 (311)	89 (427)	108 (346)	47 (242)	101 (569)	68 (348)	794 (3,874)
PhycARTICLES	124 (303)	98 (225)	103 (196)	167 (476)	154 (532)	131 (412)	125 (514)	168 (414)	158 (373)	113 (331)	146 (453)	168 (526)	1,655 (4,755)
OECD iLibrary	15	21	26	47	38	26	66	35	50	49	40	39	452
メディカルオンライン	4,277	4,605	5,109	5,973	6,163	6,560	5,639	4,941	4,540	4,946	5,712	4,965	63,430
Lexis/Nexis.com	16	13	39	1	31	53	9	35	80	30	52	129	488
Westlaw International	116 (978)	112 (654)	68 (629)	82 (490)	95 (551)	107 (781)	52 (399)	122 (781)	49 (951)	99 (511)	111 (691)	56 (371)	1,069 (7,787)
** JapanKnowledge +NR	210 (1,332)	173 (970)	224 (2,307)	289 (2,795)	676 (6,813)	657 (6,101)	488 (5,049)	260 (2,288)	342 (3,718)	456 (5,841)	518 (6,701)	531 (5,040)	4,824 (48,955)
CiNii	6,754 (27,290)	4,468 (17,652)	2,304 (9,417)	6,303 (26,025)	6,737 (28,221)	8,436 (34,715)	6,998 (30,050)	4,179 (18,243)	4,250 (17,464)	7,515 (30,194)	7,296 (27,440)	6,779 (26,406)	72,019 (293,117)
日経テレコン21	287,649	165,351	147,895	155,658	273,990	708,835	453,581	245,165	259,793	271,937	423,178	438,589	3,831,621
間蔵IIビジュアル	479 (6,450)	439 (6,219)	410 (49,076)	397 (6,965)	556 (13,688)	673 (8,343)	660 (9,436)	408 (5,921)	219 (2,455)	499 (8,657)	678 (10,117)	688 (14,255)	6,106 (141,582)
ヨミダス歴史館	598	437	370	497	1,107	1,693	1,814	617	406	817	957	1,220	10,533
*** 毎日newsパック	277 (771)	244 (746)	386 (727)	152 (547)	352 (477)	754 (3,072)	466 (2,057)	323 (1,622)	154 (414)	226 (809)	418 (1,385)	774 (2,505)	4,526 (15,132)
* KOD(研究社オンライン・ディクショナリー)	*	*	*	64	139	134	66	53	32	55	79	67	689
MAGAZINEPLUS	176	113	185	214	274	292	224	164	154	318	446	356	2,916
Marquis Who's Who on the Web	7	0	5	2	5	18	2	14	19	3	7	4	86
JDreamII	226	260	156	447	461	984	834	221	143	494	405	185	4,816

※官報は統計データ未公開

* は2011導入

**2011.4よりJapan Knowledge Plus NRK

***2011.4より毎索

図書館ホームページ、OPAC等アクセス統計(H23.4～H24.3)

	H23.4	H23.5	H23.6	H23.7	H23.8	H23.9	H23.10	H23.11	H23.12	H24.1	H24.2	H24.3	合計
図書館トップページ	63,113	67,856	67,789	61,211	50,315	44,417	57,182	55,313	51,388	53,621	48,858	41,000	662,063
(うち学内)	20,894	32,373	48,349	37,656	29,956	26,932	37,024	35,491	31,661	30,967	28,937	22,618	382,858
(うち学外)	42,219	35,483	19,440	23,555	20,359	17,485	20,158	19,822	19,727	22,654	19,921	18,382	279,205
震災文庫トップページ	5,955	4,349	3,460	2,501	2,374	2,157	2,257	2,251	2,015	2,799	2,590	3,723	36,431
(うち学内)	629	832	637	218	281	228	313	242	156	207	232	354	4,329
(うち学外)	5,326	3,517	2,823	2,283	2,093	1,929	1,944	2,009	1,859	2,592	2,358	3,369	32,102
新聞記事文庫トップページ	4,799	5,134	5,756	6,240	6,359	4,744	5,017	5,527	5,949	5,521	5,643	5,224	65,913
(うち学内)	150	111	134	125	135	84	105	145	104	138	91	129	1,451
(うち学外)	4,649	5,023	5,622	6,115	6,224	4,660	4,912	5,382	5,845	5,383	5,552	5,095	64,462
OPAC延べ検索回数	122,447	153,638	176,942	157,021	102,294	80,980	137,288	134,453	119,478	131,587	104,081	64,368	1,484,577
(うち学内)	95,007	122,558	129,341	107,281	72,839	55,041	103,319	99,216	89,353	95,137	74,063	42,230	1,085,385
(うち学外)	27,440	31,080	47,601	49,740	29,455	25,939	33,969	35,237	30,125	36,450	30,018	22,138	399,192

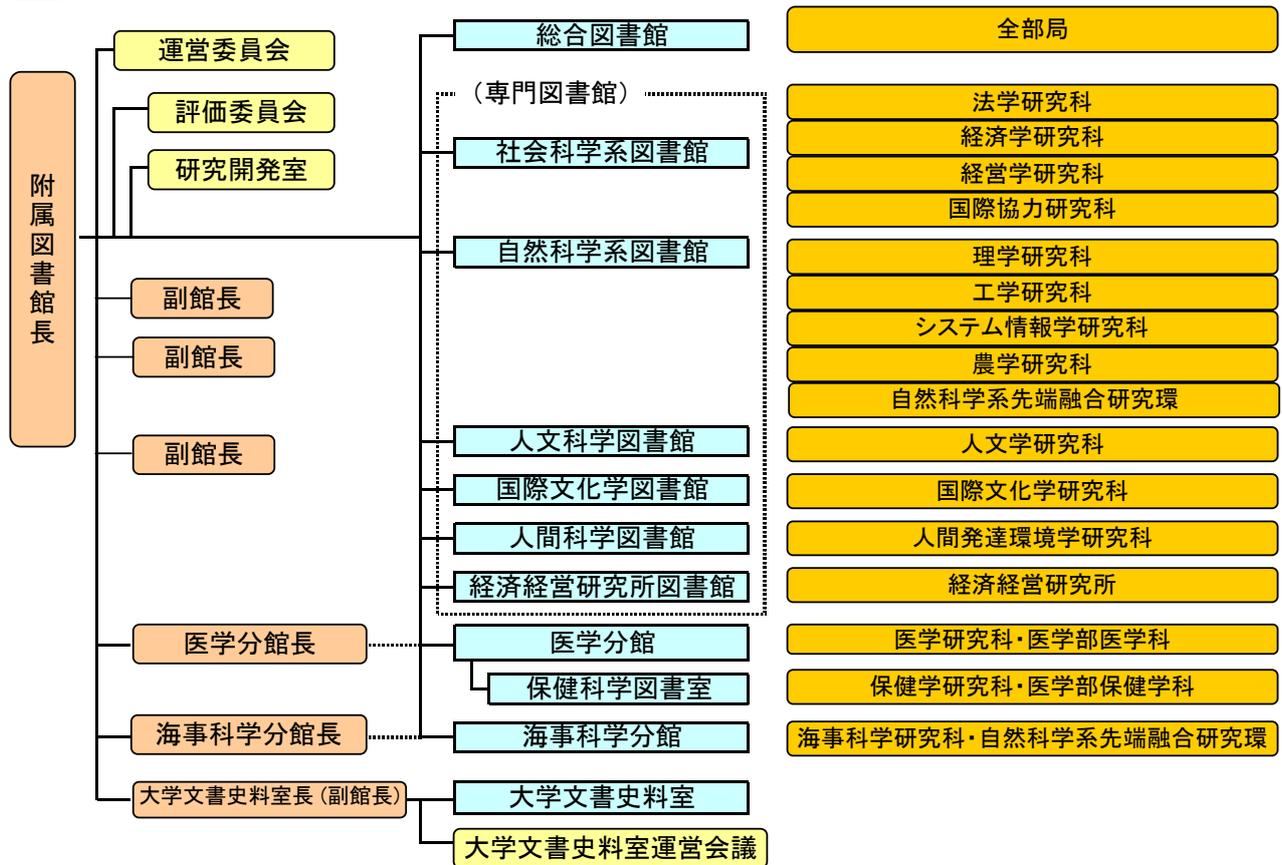
リンクリゾルバ(SFX)利用統計(H23.4～H24.3)

※SFX,H20.4より導入

	H23.4	H23.5	H23.6	H23.7	H23.8	H23.9	H23.10	H23.11	H23.12	H24.1	H24.2	H24.3	合計
電子ジャーナルアクセス数	27,551	30,126	30,094	24,986	21,219	20,943	26,255	26,226	22,993	20,726	18,763	15,231	285,113
電子ジャーナルリスト	7,381	7,904	7,185	6,046	5,506	5,611	6,136	6,164	5,321	5,574	5,763	4,800	73,391
DBからのアクセス数	20,170	22,222	22,909	18,940	15,713	15,332	20,119	20,062	17,672	15,152	13,000	10,431	211,722
→フルテキスト	14,272	16,137	15,070	13,069	11,531	11,803	13,550	13,629	11,768	11,569	11,158	8,956	152,512
→所蔵検索数	7,648	7,640	8,444	6,658	4,887	4,870	7,150	6,907	5,928	4,236	3,247	2,411	70,026
→文献複写依頼	546	626	798	678	530	503	605	643	710	511	329	288	6,767

※ アクセス数：電子ジャーナルリストやDBからのSFXリンクアイコン総アクセス数、所蔵検索数：OPAC、Webcatのアクセス回数
各DB(CiNii、WOS、JDreamII、PubMed、医中誌など)へのSFXのリンク設定

附属図書館組織



各専門図書館、分館及び保健科学図書室に、各館(室)の図書委員会を置く。

事務組織と職員配置



附属図書館 正規職員49名 非常勤職員38名
 大学文書史料室 特命職員 1名 非常勤職員 2名 (平成24年7月現在)
 * 非常勤職員数は、夜間開館要員等、特定事業に関わるものを除く

経済経営研究所事務長	研究所図書係	3	0	経済経営研究所図書館
------------	--------	---	---	------------

平成23年度附属図書館諸会議一覧

<附属図書館運営委員会>

第1回： 6月3日（金） 15:00～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 平成22年度決算について
- (2) 平成23年度電子図書館事業について
- (3) 2012年外国雑誌購読調査について
- (4) 平成23年度総合図書館学生用資料整備計画について
- (5) 資料の不用決定について
- (6) その他

報告事項

- (1) 各図書館・室報告について
- (2) 大学文書史料室報告について
- (3) 平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書
及び平成22年度年度計画実施状況一覧について
- (4) 学位論文（博士）使用許諾へのご協力のお願について
- (5) 平成23年度前期図書館ガイダンスについて
- (6) 社会科学系図書館大壁画「青春」修復報告について
- (7) その他

第2回： 10月13日（木） 10:30～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 教育研究基盤資料の整備について
- (2) 平成23年度年次計画進捗状況報告及び平成24年度年次計画について
- (3) 資料の不用決定について
- (4) その他

報告事項

- (1) 各図書館・室報告について
- (2) 大学文書史料室報告について
- (3) 神戸大学学術成果リポジトリ Kernel 開設5周年記念講演会について
- (4) 若手研究者のための Author Workshop について
- (5) 平成23年度後期図書館ガイダンスについて
- (6) 学生選書ツアーについて
- (7) 平成23年度附属図書館展示会について
- (6) その他

第3回： 12月21日（水）～27日（火） （メール回議）

審議事項

- (1) 大学文書史料室の専任教員ポストが今年度末で任期満了となることに伴う特命職員の募集・選考の方法について

第4回： 1月20日（金） 10:40～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 平成24年度電子図書館事業について
- (2) 平成24年度附属図書館予算要求について
- (3) 附属図書館関係規則の改正について
- (4) 資料の不用決定について
- (5) 平成25年度以降の「日経テレコン21」契約変更について
- (6) その他

報告事項

- (1) 各図書館・室報告について
- (2) 大学文書史料室報告について
- (3) 平成23年度附属図書館展示会について
- (4) 館長・副館長・分館長と学生との懇談会について
- (5) 学生選書ツアーについて
- (6) 若手研究者のための Author Workshop について
- (7) 「先生からのおすすめ本」について
- (8) 附属中等教育学校への図書の出借サービスについて
- (9) 附属図書館情報交換会について
- (10) その他

第5回： 3月21日（水） 10:40～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 平成24年度附属図書館当初予算配分について
- (2) 平成24年度附属図書館学生用資料について
- (3) 図書館関係規則の改正について
- (4) 資料の不用決定について
- (5) その他

報告事項

- (1) 平成22年度選定学生用図書の分析・評価結果について
- (2) 各図書館・室報告について
- (3) 大学文書史料室報告について
- (4) 平成23年度部局年次計画報告について
- (5) その他
 - ① 入退館管理システム導入について
 - ② 平成24年度拡充予定のサービスについて

<附属図書館長・副館長懇談会>

4月25日（月）15:00～ （於：社会科学系図書館 館長室）

報告

- (1) 附属図書館概要について
- (2) 附属図書館の重点事項について
- (3) 社会連携・社会貢献について
- (4) 図書館管理運営について

- (5) 附属図書館の当面の懸案事項について
- (6) 大学文書史料室の管理運営について

<附属図書館長・副館長・分館長懇談会>

第1回： 6月3日（金）14:00～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

議題

- (1) 平成22年度決算について
- (2) 平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書
及び平成22年度年度計画実施状況一覧について
- (3) その他

第2回： 10月13日（木）9:30～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

議題

- (1) 教育研究基盤資料の整備について
- (2) 平成23年度年次計画進捗状況報告及び平成24年度年次計画について
- (3) 資料の不用決定について
- (4) 図書館関係規則の改正について
- (5) その他
 - ・外国雑誌センター館資料収集方針の見直しについて
 - ・理学研究科から提出された確認事項について

第3回： 1月20日（金）9:40～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

議題

- (1) 平成24年度電子図書館事業について
- (2) 平成24年度附属図書館予算要求について
- (3) 図書館関係規則の改正について
- (4) 資料の不用決定について
- (5) 平成25年度以降の「日経テレコン21」契約変更について

第4回： 3月21日（水）9:40～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

議題

- (1) 平成24年度附属図書館当初予算配分について
- (2) 平成24年度附属図書館学生用資料について
- (3) 図書館関係規則の改正について
- (4) 資料の不用決定について
- (5) その他

<附属図書館評価委員会>

第1回： 7月5日（火）（メール回議）

議題

- (1) 附属図書館年次報告について

第2回： 10月3日（月） （メール回議）

議題

- (1) 平成23年度部局年次計画の進捗状況報告について
- (2) 平成24年度部局年次計画について
- (3) 各部局等における年次計画の重点事項について
- (4) 平成25年度及び平成26年度組織変更に係る計画
(入学定員の見直しに伴う組織変更は除く)

第3回： 10月13日（木） （メール回議）

議題

- (1) 平成23年度部局年次計画の進捗状況報告について
- (2) 平成24年度の年度計画作成について
- (3) 平成24年度の年度計画重点事項の作成について

第4回： 3月1日（木） （メール回議）

議題

- (1) 平成23年度の部局年次計画報告書について

<附属図書館研究開発室会議>

第1回： 5月24日（火） 10:30～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

報告事項

- (1) 平成22年度電子図書館事業報告について
- (2) 平成22年度学術成果リポジトリ事業報告等について
- (3) その他

協議事項

- (1) 平成23年度電子図書館事業計画について
- (2) その他

第2回： 1月6日（金） （メール回議）

審議事項

- (1) 平成24年度電子図書館事業について
- (2) 平成24年度電子図書館事業経費要求について
- (3) 平成24年度遡及入力事業について

<附属図書館大学文書史料室運営会議>

第1回： 5月18日（水） （メール回議）

議題

- (1) 平成23年度神戸大学史・特別展について

第2回： 7月1日（金） 15:45～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

議題

- (1) 平成22年度事業報告について
- (2) 平成22年度決算について
- (3) 平成23年度事業計画について
- (4) 平成23年度予算について
- (5) 利用案内パンフレットの作成について
- (6) 古い文書の受入れスケジュールについて
- (7)

報告

- (1) 内閣総理大臣による「国立公文書館等」指定の報告について
- (2) 平成22年度特別展及び巡回展（神戸・東京）の報告について
- (3) 平成23年度事業計画書（施設関係）提出の報告について
- (4) 室への動線確保に係る施設相談結果の報告について
 - ① 南側芝生の一部舗装（案）について
 - ② 案内サインの更新（案）について
- (5) 工学部九十周年記念展示への協力について
- (6) 書庫の狭隘化について
- (7) その他

第3回： 7月22日（金） （メール回議）

議題

- (1) 平成23年度第2回大学文書史料室運営会議の議事要録(案)の確認について
- (2) ホームページ等のURL短縮について
- (3) 巡回展の日程について

第4回： 11月18日（金） （メール回議）

議題

- (1) 利用案内パンフレットの作成について

第5回： 12月15日（木） 9:00～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

議題

- (1) 平成24年度からの大学文書史料室の体制について
- (2) その他

第6回： 2月21日（火） （メール回議）

議題

- (1) 大学文書史料室利用細則について
- (2) 平成23年度研修実施計画の策定について
- (3) 平成23年度利用制限事由の該当性に関する事前審査の方針について

第7回： 3月23日（金） （メール回議）

議題

- (1) 平成24年度大学文書史料室事業計画について

<全学図書系係長会議>

第1回： 9月30日（金） 15:30～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

議題

- (1) 平成23年度各館室事業計画に基づく実地調査及び防災対策調査について
 - ・ 防災関連
 - ・ 省エネ関連
- (2) 情報システムにおける緊急時対応計画策定プロジェクトについて
- (3) 入退館管理システム導入（平成23年度分）の進捗状況について
- (4) 各WG報告
- (5) 講演会・展示会の予定
 - ・ 神戸大学学術成果リポジトリ Kernel 開設5周年記念講演会(10/26)
 - ・ 若手研究者のための Author Workshop(11/8)
 - ・ 資料展「神戸ことはじめ—外国人のいた風景—」（11/21～12/20）
 - ・ 神戸大学史・特別展「学生寮の青春譜—神戸大学史にみる寮文化—」（10/24～11/4）
- (6) 大学文書史料室報告
- (7) 館長・副館長・分館長と学生との懇談会について
 - ・ 社会科学系図書館（11/15）— 経営学部・経営学研究科対象
- (8) 文化庁「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」
 - ・ 有形登録文化財建造物の保存活用・整備
- (9) 今年度の課題
 - ・ 雑誌の廃棄基準の策定
 - ・ 電子ジャーナル・データベースの担当の整理
 - ・ 資料管理計画の策定（遡及入力と資産点検の整理）
- (10) 個人情報の取扱いについて
- (11) 会計業務システム・アンケート調査の実施について
- (12) その他

第2回： 3月29日（木） 15:30～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

議題

- (1) 平成24年4月人事異動について
- (2) 平成23年度第5回運営委員会報告について
 - 1) 平成24年度予算配分について
 - 2) 規則制定及び改正について
 - ① 神戸大学附属図書館利用細則
 - ② 神戸大学附属図書館大学文書史料室利用細則
 - ③ 神戸大学附属図書館大学文書史料室要項
 - 3) サービスの拡充について
- (3) 平成23年度施設整備について
 - ① 入退館管理システムの新設・更新（社系・医学・保健）について
 - ② 社会科学系図書館カウンター及び事務室の移転について
 - ③ 空調設備の更新（自然）について
 - ④ 書庫自動消火設備設置（大学文書史料室）について
 - ⑤ 図書自動貸出返却装置更新・増設（社系・人間・医学）について

- ⑥ 中山正實画伯作油彩画4点修復(社系)について
- ⑦ 神大会館西側スロープ設置(大学文書史料室)について
- (4) 平成24年度障害学生学習支援設備について
- (5) 平成24年度人文科学図書館の耐震改修工事について
- (6) 平成25年度社会科学系図書館本館の文化遺産を活かした
観光振興・地域活性化事業による改修工事及び管理棟耐震改修工事について
- (7) 国立大学図書館協会総会(平成24年6月21~22日)について
- (8) 学内にある「歴史的文化財」の保管・管理について
- (9) 平成23年度神戸大学附属図書館と東日本大震災関連の動きについて
- (10) 各WG活動報告
- (11) 平成23年度各館室報告

<附属図書館運営委員会委員名簿>

	職名	氏名	任期等
附属図書館長	理・教授	樋口 保成	H23.4.1~H25.3.31
副館長 (社会科学系・図書委員長)	法・教授	大塚 裕史	H23.4.1~H25.3.31
副館長 (自然科学系・図書委員長)	工・教授	西野 孝	H23.4.1~H25.3.31
副館長 (附属図書館評価委員長)	発・教授	中山 修一	H23.4.1~H25.3.31
医学分館長	医・教授	横崎 宏	H23.6.1~H25.5.31
海事科学分館長	海・教授	嶋田 博行	H22.4.1~H24.3.31
大学教育推進機構	教授	山内 乾史	H23.4.1~H25.3.31
人文学研究科	教授	市澤 哲	H23.4.1~H25.3.31
国際文化学研究科	教授	窪田 幸子	H22.10.1~H24.3.31
人間発達環境学研究科	教授	木下 孝司	H22.4.1~H24.3.31
法学研究科	教授	中野俊一郎	H23.4.1~H25.3.31
経済学研究科	教授	永合 位行	H22.4.1~H24.3.31
経営学研究科	教授	水谷 文俊	H22.4.1~H24.3.31
理学研究科	教授	竹内 康雄	H22.5.1~H24.3.31
保健学研究科	教授	松尾 博哉	H22.4.1~H24.3.31
工学研究科	教授	水畑 穰	H23.4.1~H25.3.31
システム情報学研究科	教授	山本 有作	H22.4.1~H24.3.31
農学研究科	教授	金子 治平	H22.4.1~H24.3.31
国際協力研究科	教授	木村 幹	H23.4.1~H24.3.31
自然科学先端融合研究環	システム・教授	淵野 昌	H23.4.1~H25.3.31
経済経営研究所	教授	伊藤 宗彦	H23.4.1~H25.3.31
情報基盤センター	教授	嶋野 逸生	H22.4.1~H24.3.31
附属図書館	事務部長	山田 周治	-----

<附属図書館評価委員会委員名簿>

職名 (委員は全て官職指定)	氏名	備考
附属図書館長	樋口 保成	
副館長	大塚 裕史	
副館長	西野 孝	
副館長	中山 修一	委員長
医学分館長	横崎 宏	
海事科学分館長	嶋田 博行	
事務部長	山田 周治	
情報管理課長	稲葉 洋子	
情報サービス課長	星屋 真	

<附属図書館研究開発室室員名簿>

職名		氏名	備考
総括	附属図書館長	樋口 保成	室長
震災関係資料 電子化部会	副館長(発)	中山 修一	部会長
	国文・教授	大月 一弘	～H24. 3. 31
	都市安・教授	有木 康雄	～H24. 3. 31
	文・教授	奥村 弘	～H24. 3. 31
経済関係資料 電子化部会	副館長(法)	大塚 裕史	部会長
	研究所・教授	富田 昌宏	～H24. 3. 31
	経済・准教	橋野 知子	～H24. 3. 31
	文・准教	河島 真	～H24. 3. 31
学内研究成果 電子化部会	副館長(工)	西野 孝	部会長
	農・教授	前藤 薫	～H24. 3. 31
	国協・教授	木村 幹	～H24. 3. 31
	バイオ・准教	向井 秀幸	～H24. 3. 31
(部会に属さず)	基盤セ・教授	嶋野 逸生	～H24. 3. 31

<附属図書館大学文書史料室運営会議委員名簿>

	所 属 等	職名	氏 名	任 期 等
議長 1号委員	館長・理学研究科	教授	樋口 保成	H23. 4. 1～H25. 3. 31
室長 2号委員	副館長・法学研究科	教授	大塚 裕史	H23. 4. 1～H25. 3. 31
室員 3号委員	大学文書史料室	講師	野邑理栄子	H23. 4. 1～H25. 3. 31
4号委員	附属図書館	事務部長	山田 周治	H23. 4. 1～H25. 3. 31
5号委員	人間発達環境学研究科	教授	船寄 俊雄	H23. 4. 1～H25. 3. 31
5号委員	農学研究科	教授	金子 治平	H23. 4. 1～H25. 3. 31
5号委員	人文学研究科	准教授	河島 真	H23. 4. 1～H25. 3. 31
5号委員	総務部総務課	専門員	中野下 勉	H23. 4. 1～H25. 3. 31
5号委員	企画部社会連携課	情報公開 係長	影山 廣道	H23. 4. 1～H25. 3. 31

事 項	平成23年度 予 算 額	平成23年度 支 出 額	比較増減	摘 要
経常運営費				
備品・消耗品費	8,983	19,906	△ 10,923	備品類、事務用品、図書館用品、用紙類、電算用品、蛍光灯類 自動貸出返却装置増設(社会科学系図書館)・更新(人間科学図書館、医学分館)、空調機修理(総合・国際文化学図書館、医学分館、海事科学分館)、閲覧座席増設・推薦図書コーナー新設・防犯カメラ増設(医学分館)、参考図書用書架更新・館内放送設備整備・館内利用案内表示整備(海事科学分館)、その他
事務用図書費	800	534	266	事務用図書、事務用雑誌
印刷製本費	700	669	31	利用案内等
光熱水料	24,234	22,659	1,574	【当初予算(24,128)に生協光熱水料(106)配分】 電気代、ガス代、上下水道
通信運搬費	6,690	6,819	△ 129	切手代、郵便料、電話料、学内資料搬送、その他
借料及び損料	7,100	3,530	3,569	複写機、タクシー
雑役務等諸経費	37,000	38,806	△ 1,806	EV保守、特高設備保守、廃棄物処理、清掃請負、警備請負、各種営繕、備品修理、消防設備保守、その他保守業務費、諸会費、謝金、雑費
非常勤職員給与等	89,000	88,455	544	【当初予算(93,000)からH40非常勤職員給与(4,000)組替え】
電子計算機維持経費	30	16	13	情報基盤センター利用負担金
職員旅費	1,400	1,370	29	会議・研修会・講習会旅費、バス地下鉄私鉄カード
小 計	175,937	182,769	△ 6,832	【当初予算額(179,831)から配分・組替え分(3,894)減】
経常事業費				
時間外開館経費	20,000	18,961	1,038	
外部委託経費	8,360	8,189	170	社会科学系図書館・医学分館
開館要員(学生)賞金	11,640	10,772	867	その他分館
電子図書館事業	15,000	15,058	△ 58	
外部委託経費(コンテンツ作成)	1,700	1,378	321	震災関係資料、経済関係資料の電子化
外部委託経費(学術成果リポジトリ)	1,300	854	445	リポジトリに登録する学術成果の電子化、貴重資料の整備保存と電子化 【平成23年第1回運営委員会(6/3開催)において予算額を(1200)から(1300)に変更】
外部委託経費(遡及入力)	6,000	6,010	△ 10	目録遡及入力外部委託費
リンクリゾルバ維持経費	1,800	2,198	△ 398	
アルバイト経費	4,000	4,396	△ 396	
消耗品費	200	219	△ 19	【平成23年第1回運営委員会(6/3開催)において予算額を(300)から(200)に変更】
その他事業費	1,000	716	283	
展示会経費	1,000	716	283	
図書館資料費	96,500	98,407	△ 1,907	
学生用資料費	60,000	62,656	△ 2,656	
震災文庫資料費	500	470	29	
外国雑誌センター館経費	35,000	33,140	1,859	
電子的情報基盤資料整備経費	1,000	2,140	△ 1,140	
製本費	10,000	13,466	△ 3,466	
業務改善経費	6,120	0	6,120	
雑誌製本業務	3,240	0	3,240	
目録登録業務	2,880	0	2,880	
附属図書館長裁量経費	11,115	8,093	3,021	社会科学系図書館サービスカウンター・新聞閲覧室・サービス係事務室移転に伴う諸経費、社会科学系図書館書庫内トイレ改修、BDS塞ぎ板設置(人間科学図書館、その他) 【入退館管理システム導入による不足額(3,680)の補填】
小 計	159,735	154,704	5,030	
運営費+事業費	335,672	337,474	△ 1,802	【当初予算額(339,566)から配分・組替え分(3,894)減】
電算機借料				
図書館システム	64,223	64,223	0	情報化推進経費
小 計	64,223	64,223	0	
大学文書史料室				
管理運営経費	7,500	7,500	0	ビジョン推進経費
小 計	7,500	7,500	0	
経常経費 計	407,395	409,197	△ 1,802	【当初予算額(411,289)から配分・組替え分(3,894)減】

事 項	平成23年度 予 算 額	平成23年度 支 出 額	比較増減 (C-A)	摘 要
臨時的経費				
教育研究基盤資料整備費	290,000	290,000	0	外国雑誌を含む電子ジャーナル及びデータベースの維持及び整備のための経費
教育研究充実設備費	19,000	22,680	△ 3,680	入退館システムの導入(社会科学系図書館、医学分館、保健科学図書室) 【不足額(3,680)は館長裁量経費で補填】
営繕関係費	18,713	18,713	0	空調設備更新(自然科学系図書館) イナージェンガスによる自動消火設備設置(大学文書史料室)
教育研究設備維持運営費	747	747	0	中山正実画伯作油彩画保存修復事業に伴う輸送費
障害学生教育支援経費	2,689	2,689	0	大学文書史料室へのスロープ設置(神大会館西側)
地域連携事業特別支援	180	180	0	平成23年度地域連携事業特別支援
SciFinder 利用者負担金	3,860	3,860	0	受益者負担
前年度繰越分	649	649	0	
小 計	335,840	338,870	△ 3,030	
その他の臨時的経費				
収入確保インセンティブ経費	7,070	2,700	4,369	ILL文献複写料等収入見合
教員等館内複写料金	2,009	0	2,009	
小 計	9,079	2,700	6,378	
外部資金				
科学研究費補助金(研究成果公開促進費)	12,600	12,600	0	戦前期新聞経済記事文庫データベース 5力年計画の3年目
神戸大学六甲台後援会奨学寄付金	4,243	4,243	0	中山正実画伯作油彩画保存修復事業
大学文書史料室奨学寄付金	6,722	6,722	0	旧百年史編集室所蔵史料の整理、目録作成
山口誓子奨学寄付金	1,530	1,530	0	山口文庫資料購入
小 計	25,095	25,095	0	
臨時的経費 計	370,015	366,666	3,348	

図書館セグメント 計 777,410 775,863 1,546

*千円未満切捨のため、合計等は一致しません

平成23年度 図書資料費実績

(附属図書館セグメント)

単位:千円

館室名	学生用資料				震災文庫 資料費	外国雑誌 センター	電子の情報 基盤資料整 備経費	教育研究基盤 資料整備費 電子ジャーナル等 **	計 ***
	予算額	決算額 *	比較増減	図書購入冊数					
総合図書館	17,836	17,835	0	4,467			2,140	290,000	309,976
社会科学系図書館	9,690	9,990	△ 300	3,224	470	33,140			43,600
自然科学系図書館	13,470	13,468	1	3,026					13,468
人文科学図書館	2,344	2,344	0	342					2,344
国際文化学図書館	2,302	2,301	0	380					2,301
人間科学図書館	3,142	3,381	△ 239	2,011					3,381
経済経営研究所図書館	1,000	1,034	△ 34	195					1,034
医学分館	4,167	6,250	△ 2,083	1,508					6,250
保健科学図書室	2,974	2,974	0	1,090					2,974
海事科学分館	3,075	3,074	0	944					3,074
小計	60,000	62,656	△ 2,656	17,187	470	33,140	2,140	290,000	388,407

* 図書の他 雑誌・新聞・電子資料などを含む

** 電子ジャーナル経費・外国雑誌購読料補填経費

*** これ以外に、電子コンテンツ作成費 11,081千円(科研費補助金を含む)がある

(部局セグメント)

単位:千円

館室名	一般財源 図書資料費		
	館室備付 共同利用	研究室等 備付	計
総合図書館	2,401	506	2,908
社会科学系図書館	103,073	22,652	125,726
自然科学系図書館	7,754	27,648	35,402
人文科学図書館	10,991	8,156	19,147
国際文化学図書館	4,583	10,778	15,362
人間科学図書館	5,899	5,014	10,914
経済経営研究所図書館	18,379	494	18,873
医学分館	23,967	1,060	25,027
保健科学図書室	7,000	1,398	8,398
海事科学分館	7,271	1,122	8,394
計	191,323	78,832	270,155

(部局セグメント)

単位:千円

館室名	補助金等による購入				
	科研費	委任経理	受託研究	その他	計
総合図書館	14	0	0	3,860	3,875
社会科学系図書館	34,466	2,972	0	265	37,704
自然科学系図書館	11,804	1,103	2,803	404	16,115
人文科学図書館	6,995	0	0	435	7,430
国際文化学図書館	5,328	76	0	0	5,405
人間科学図書館	6,326	426	256	85	7,094
経済経営研究所図書館	1,143	17	0	0	1,161
医学分館	1,266	3,763	2,605	653	8,289
保健科学図書室	781	226	136	2	1,147
海事科学分館	638	0	0	469	1,107
計	68,764	8,587	5,800	6,178	89,331

単位:千円

合計
316,759
207,031
64,986
28,922
23,069
21,390
21,069
39,567
12,519
12,577
747,894

* 千円未満切捨のため、合計等は一致しません

平成23年度附属図書館活動日誌

<4月>

- 4 (月) ~ 15 (金) 図書館ツアーガイドランス <於: 総合・国際文化学図書館>
5 (火) 「震災文庫」取材: 毎日新聞社
- 5 (火) ~ 15 (金) 図書館ツアーガイドランス <於: 人間科学図書館>
6 (水) 入学式 <於: 神戸ポートアイランドホール 出席: 館長>
7 (木) 神戸大学新任教職員研修
<於: 理学研究科棟 講師: サービス課長・室員 受講: 3名>
- 7 (木) ~ 15 (金) 図書館ツアーガイドランス <於: 海事科学分館>
8 (金) 兵庫県大学図書館協議会企画委員会
<於: 社会科学系図書館 出席: 部長・両課長 他>
留学生オリエンテーション <於: 六甲ホール>
- 11 (月) ~ 15 (金) 図書館ツアーガイドランス <於: 自然科学系図書館>
11 (月) ~ 22 (金) 図書館ツアーガイドランス <於: 保健科学図書室>
13 (水) オーダーガイドランス <於: 情報基盤センター分館・自然科学系図書館>
兵庫県大学図書館協議会 役員会・企画委員会
<於: 社会科学系図書館 出席: 部長・両課長 他>
- 13 (水) ~ 15 (金) 図書館ツアーガイドランス <於: 社会科学系図書館>
18 (月) 図書館ツアーガイドランス <於: 医学分館>
19 (火) オーダーガイドランス <於: 理学研究科>
第1回海事科学分館 図書委員会
- 21 (木) Web of Science 新バージョン紹介
<於: 社会科学系図書館 出席: 部長・両課長・情報リテラシー係>
- 22 (金) 近畿地区国立大学等職員採用図書系専門試験実施委員会
<於: 社会科学系図書館 出席: 部長・管理課長>
国立大学図書館協会近畿地区加盟館図書系人事担当課長・事務部長懇談会
<於: 社会科学系図書館 出席: 管理課長>
国立大学図書館協会近畿地区協会 総会
<於: 図書館プレゼンホール 出席: 館長・部長・両課長>
- 25 (月) 附属図書館 館長・副館長懇談会 <於: 社会科学系図書館>
28 (木) 大学文書史料室について打合せ
<於: 社会科学系図書館 出席: 館長・部長・両課長・室員>

<5月>

- 9 (月) ~ 11 (水) 兵庫県下教育機関事務系職員(新規採用者)研修
<於: 国立淡路青少年交流の家 受講: 3名>
- 9 (月) ~ 13 (金) 図書館ツアーガイドランス <於: 人文科学図書館>
11 (水) 目録システム/ILLシステム講習会
<於: 国立情報学研究所 出席: 管理課長補佐(社会)>
- 12 (木) 外国雑誌センター館会議
<於: 一橋大学 出席: 部長・管理課長・雑誌情報係長>
監査法人による監査 <於: 社会科学系図書館>
- 13 (金) 国立大学図書館協会 会計監査
<於: 東京大学 出席: 部長>

- 国立大学図書館協会 理事会
 <於：東京大学 出席：館長・部長・管理課長>
 第100回特定非営利活動法人日本医学図書館協会 近畿地区会例会
 <於：近畿大学 出席：医学サービス係長>
- 15 (日) 近畿地区国立大学法人等職員統一採用試験 第一次試験
- 16 (月) 共通教育「情報基礎」授業開始
- 17 (火) 「震災文庫」見学：人と未来の防災センターより3名来館
 ICタグを用いた書籍利用度調査システムのプレゼン
 <於：社会科学系図書館 出席：サービス課長 他>
 震災文庫見学：滋賀県立石山高等学校より6名来館
- 18 (水) 大学図書館近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会
 <於：関西学院大学 出席：サービス課長補佐(海事)>
 第1回人文科学図書館 図書委員会
- 19 (木) ~ 20 (金) 防火防災講習会 <於：京都市市民防災センター 出席：部長>
- 20 (金) 第1回人間科学図書館 図書委員会
- 22 (日) 保険科学図書室空調機工事 現地調査
- 23 (月) 震災文庫見学：経済産業省より3名来館
 第1回自然科学系図書館 図書委員会
 兵庫県立図書館と震災資料横断検索について凸版印刷との協議
 <於：電子図書館 出席：電子図書館係長>
- 24 (火) 「震災文庫」取材：朝日新聞社
 第1回附属図書館 研究開発室会議 <於：社会科学系図書館>
 兵庫県大学図書館協議会 企画委員会 <於：神戸松蔭女子学院大学
 出席：部長・両課長・管理課長補佐(社会)・企画係長>
 全国大学史資料協議会西日本部会 2011年度総会・第1回研究会
 <於：武庫川女子大学 報告：室員>
- 27 (金) 東北大学総長・副学長来学：震災について
 <於：事務局 出席：管理課長>
- 27 (金) ~ 31 (火) 保健科学図書室 空調機工事による臨時休館
- 30 (月) 第1回社会科学系図書館 図書委員会
 オーダーガイダンス <於：社会科学系図書館・法学部>
 「大学文書史料室」視察：琉球大学より2名来館
 国立大学図書館協会マネジメントセミナー：会場事前視察
 <於：グランドプリンスホテル広島 出席：管理課長>
- 31 (火) 雑誌論文の探し方(国内編・海外編) <於：自然科学系図書館>

<6月>

- 1 (水) Web of Science 操作説明会 <於：自然科学系図書館>
 外国雑誌センター西日本会議
 <於：大阪大学図書館 出席：部長・管理課長>
- 2 (木) 雑誌論文の探し方(国内編・海外編) <於：自然科学系図書館>
 オーダーガイダンス <於：海事科学分館>
- 3 (金) 第1回附属図書館 館長・副館長・分館長懇談会
 <於：社会科学系図書館>
 第1回附属図書館 運営委員会 <於：社会科学系図書館>

- 7 (火) 保健科学図書室臨時開館
Web版 SciFinder 説明会
＜於：情報基盤センター分館 出席：情報リテラシー係＞
- 7 (火)～10 (金) 第66回近畿地区中堅係員研修
＜於：大阪中之島合同庁舎 受講：1名＞
- 8 (水) エルゼビア講習会 ＜於：社会科学系図書館 出席：サービス課長＞
電子ジャーナル及び大学文書史料室について理事面談
＜於：理事室 出席：館長・部長・両課長＞
国立公文書館:実務担当者による意見交換会
＜於：国立公文書館 出席：室員＞
- 9 (木) 帝人ファイバー(株)によるスマートセルフ(IC タグを用いた書籍利用度
調査システム)のデモンストレーション ＜於：社会科学系図書館＞
「国立公文書館設立40周年」・「国際アーカイブズの日」記念講演会
＜於：JA 共済ビル 出席：室員＞
全国公文書館長会議 ＜於：JA 共済ビル 出席：室員＞
- 10 (金) 大学図書館近畿イニシアティブ 運営委員会 ＜於：大阪市立大学
出席：部長・管理課長・サービス課長補佐(海事)＞
- 13 (月) 「震災文庫」取材：NHK
- 13 (月)～14 (火) CSI 委託事業報告交流会(コンテンツ系)
＜於：学術総合センター 出席：電子図書館係員＞
- 13 (月)～17 (金) 漢籍整理長期研修 ＜於：東京大学東洋文化研究所 受講：1名＞
- 14 (火) アプリケーションソフトウェア研修(エクセル応用編)
＜於：百年記念館 受講：1名＞
- 15 (水) Web of Science(社会・人文科学分野) 操作説明会
＜於：社会科学系図書館＞
- 15 (水)～17 (金) アプリケーションソフトウェア研修(アクセス基礎編)
＜於：百年記念館 受講：1名＞
- 16 (木) 国立大学図書館協会 総会
＜於：グランドプリンスホテル広島
出席：館長・部長・管理課長 陪席：2名＞
- 17 (金) 第1回総合・国際文化学図書館 図書委員会
国立大学図書館協会 マネジメントセミナー
＜於：グランドプリンスホテル広島
出席：館長・部長・管理課長 陪席：2名＞
- 20 (月)～21 (火) アプリケーションソフトウェア研修(アクセス応用編)
＜於：百年記念館 受講：1名＞
- 21 (火) オーダーガイダンス ＜於：国際文化学部＞
公文書管理法制セミナー ＜於：全国町村議員会館 出席：室員＞
第7回学術情報ソリューションセミナー2011 in 大阪
「学術情報サービスの今とその先に見えるもの」
＜於：ヒルトンプラザウエスト 受講：1名＞
大学図書館近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会
＜於：大阪大学 出席：サービス課長補佐(海事)＞
- 22 (水) 日経テレコン21 操作説明会 ＜於：社会科学系図書館＞
- 23 (木)～24 (金) 大学図書館近畿イニシアティブ 中級研修 ＜於：大阪大学

- 研修実施要員：管理課長・サービス課長補佐（海事） 受講：4名>
 28（火） 第2回人文科学図書館 図書委員会
 オーダーガイダンス <於：国際協力研究科>
 近畿地区国立大学法人等職員統一採用試験 第1次試験合格発表

<7月>

- 1（金） 近畿地区国立大学法人等職員統一採用試験 機関訪問
 <於：社会科学系図書館>
 第2回大学文書史料室運営会議 <於：社会科学系図書館>
 3（日） 近畿地区国立大学法人等職員採用図書系 専門試験
 <於：京都大学 出席：部長・両課長>
 4（月）～15（金） 大学図書館職員長期研修 <於：筑波大学 受講：1名>
 5（火） 法人文書ファイル管理簿更新説明会 <於：法学研究科 出席：企画係>
 6（水） 近畿地区国立大学法人等職員採用図書系 面接
 <於：社会科学系図書館 出席：部長・両課長 他>
 第1回保健科学図書室 図書委員会
 7（木）～21（木） 筑波大学よりインターンシップ受入 <実習生：1名>
 8（金） 近畿地区国立大学法人等職員採用図書系 面接
 <於：社会科学系図書館>
 12（火） 「震災文庫」見学：岩手県立図書館
 紀伊国屋書店/EBSCO Publishing 共催セミナー
 <於：AP梅田大阪 受講：2名>
 15（金） 第2回人間科学図書館 図書委員会
 富士通) 大学図書館ソリューションセミナー
 <於：富士通関西システムラボラトリ 受講：1名>
 19（火） 「震災文庫」「住田文庫」見学：
 ハーバード大学ライシャワー日本研究所より1名来館
 シュプリンガー・ジャパンとの打合せ <於：社会科学系図書館
 出席：部長・サービス課長・管理課長補佐（社会）・雑誌情報係長>
 20（水）～22（金） NACSIS-CAT/ILL ワークショップ
 <於：国立情報学研究所 出席：総合・国際文化学情報サービス係員>
 21（木） 入退館システム第1回仕様策定委員会
 <於：社会科学系図書館 出席：サービス課長 他>
 22（金） 兵庫県大学図書館協議会総会 <於：神戸松蔭女子学院大学
 出席：館長・部長・両課長・管理課長補佐（社会）・企画係長>
 科学技術情報研修
 <於：国立国会図書館東京本館 出席：電子図書館係長>
 26（火） 大学図書館近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会
 <於：関西学院大学 出席：サービス課長補佐（海事）>
 27（水） 第1回医学分館 図書委員会
 29（金） トムソン・ロイター図書館員のための Web of Science
 キャッチアップ・セミナー in 大阪
 <於：アクセス梅田フォーラム 受講：2名>

<8月>

- 2 (火) 外国雑誌センター館部長懇談会 <於：一橋大学 出席：部長>
 3 (水) ~ 5 (金) 第一種衛生管理者試験受験準備講習会
 <於：瀧川 受講：情報システム係長>
 3 (水) ~ 5 (金) 学術ポータル担当者研修 <於：名古屋大学 受講：電子図書館係員>
 4 (木) 「震災文庫」見学：東北大学附属図書館より2名来館
 5 (金) 全国遺跡資料リポジトリプロジェクト担当者連絡・調整会議
 <於：大阪大学 出席：管理課長補佐(自然)>
 5 (金) ~ 8 (月) 雑誌論文の探し方(国内編・海外編) <於：保健科学図書室>
 9 (火) CINAHL操作説明会 <於：保健科学図書室>
 10 (水) 第2回保健科学図書室 図書委員会
 22 (月) ~ 23 (火) アプリケーションソフトウェア研修(アクセス基礎編)
 <於：百年記念館 受講：1名>
 23 (火) 文化庁施設調査 <於：社会科学系図書館>
 25 (木) セキュリティ研修・情報セキュリティ基礎コース
 <於：百年記念館 受講：1名>
 31 (水) アプリケーションソフトウェア研修(パワーポイント編)
 <於：百年記念館 受講：1名>
 31 (水) ~ 9月2日 図書館等職員著作権実務講習会 <於：京都大学 受講：1名>
 31 (水) ~ 9月2日 目録システム講習会 <於：国際協力研究科 受講：4名 聴講：1名>

<9月>

- 2 (金) 古文書合宿事前指導 <於：文学部 受講：1名>
 5 (月) ~ 8 (水) 古文書合宿
 <於：地域連携センター篠山フィールドステーション 受講：1名>
 5 (月) ~ 9 (金) 漢籍整理長期研修 <於：東京大学東洋文化研究所 受講：1名>
 6 (火) 学内会計監査 <於：社会科学系図書館>
 7 (水) 事業計画及び課題の実地調査
 <於：人間科学図書室・医学分館・保健科学図書室>
 8 (木) 「震災文庫」見学：宮城大学図書館長・岩手県立図書館より2名来館
 8 (木) ~ 9 (金) 機関リポジトリ新任担当者研修 <於：広島大学 受講：1名>
 9 (金) 事業計画及び課題の実地調査
 <於：総合・国際文化学図書室・海事科学分館>
IPrism 著作権法シンポジウム <於：大阪大学 受講：2名>
 12 (月) 事業計画及び課題の実地調査
 <於：社会科学系図書館・自然科学系図書館・人文科学図書室
 ・研究所図書室・大学文書史料室>
 12 (月) ~ 16 (金) 人文科学図書室臨時休館(書庫整理のため)
 14 (水) 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)版元提案説明会
 <於：関西大学 出席：管理課長補佐(社会)・雑誌情報係長>
 16 (金) 「震災文庫」見学：図書館総合展運営委員2名来館
 近畿における機関リポジトリコミュニティ形成の支援：
 機関リポジトリの事業と図書館員の役目
 <於：神戸松蔭女子学院大学 出席：電子図書館係長 他>
 22 (木) 第2回医学分館 図書委員会
 27 (火) 大学図書館近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会

- 28 (水) <於：関西学院大学 出席：サービス課長補佐（海事）>
メンタルヘルス・マネジメント検定試験Ⅱ種受験を含む
- 30 (金) メンタルヘルス研修：試験対策セミナー <受講：2名>
総務省「知のデジタルアーカイブに関する研究会」に係る
調査研究ヒアリング <於：社会科学系図書館>
第1回係長会議 <於：社会科学系図書館>
- <10月>
- 3 (月)～7 (金) 漢籍担当職員講習会 <於：京都大学 受講：1名>
- 4 (火)～7 (金) 大学図書館職員短期研修 <於：京都大学 受講：2名>
- 6 (木) J DreamⅡ研修会入門コース
<於：科学技術振興機構大阪科学技術センタービル 受講：1名>
兵庫県大学図書館協議会研究会：
大学図書館における情報リテラシー教育への参画
<於：神戸女学院大学 出席：管理課長・企画係長・目録情報係員>
- 6 (木)～7 (金) 機関リポジトリ新任担当者研修
<於：国立情報学研究所 講師：電子図書館係員>
- 7 (金) 留学生オリエンテーション <於：六甲ホール>
平成23年度医図協近畿地区会他実務者研修会
<於：大阪市立大学 出席：サービス課長補佐（医学）>
- 11 (火) 京都大学図書館機構第1回講演会「図書館は学生の現在にどう応えるか？」
<於：京都大学 出席：6名>
- 13 (木) 第2回館長・副館長・分館長懇談会 <於：社会科学系図書館>
第2回附属図書館運営委員会 <於：社会科学系図書館>
- 14 (金) 兵庫県大学図書館協議会 施設見学会
<於：神戸学院大学ポアアイ図書館 参加：3名>
- 18 (火) 入退館管理システム入札説明会
<於：社会科学系図書館 出席：サービス課長・管理係>
- 18 (火)～21 (金) 近畿地区国立大学法人等会計事務研修 <於：瀧川 受講：1名>
- 19 (水)～21 (金) 学術情報リテラシー教育担当者研修 <於：大阪大学 受講：1名>
- 20 (木) 「震災文庫」見学：国立国会図書館関西館より1名来館
- 20 (木)～21 (金) 平成23年度機関リポジトリ中堅担当者研修
<於：九州大学 受講：1名>
- 20 (木)～21 (金) 平成23年度 NAIST 電子図書館学講座
<於：奈良先端科学技術大学院大学 受講：1名>
- 21 (金)～12月20日 資料展「神戸ことはじめー外国人のいた風景ー」
<於：社会科学系図書館 主催：附属図書館>
- 24 (月) 「社会科学系図書館」見学：情報科学技術協会
- 24 (月)～11月4日 神戸大学史特別展「学生寮の青春譜ー神戸大学史にみる寮文化ー」
<於：百年記念館 主催：大学文書史料室>
- 26 (水) 年次計画等に関するヒアリング <於：大会議室>
リポジトリ Kernel 開設5周年記念講演会
<於：瀧川 運営：電子図書館係>
救急講習会 <於：図書館プレゼンホール 受講：3名>
- 26 (水)～27 (木) 公開研修会「電子出版・学術情報の電子化の実践のために」

- ＜於：大阪大学中之島センター 受講：1名＞
- 27 (木) 大学文書史料室 懇談会 ＜於：館長室 出席：館長・部長・両課長＞
- 28 (金) 資金管理に関する内部監査の実施 ＜於：保健科学図書室＞
- 29 (土) 第6回神戸大学ホームカミングデイ
 ＜於：六甲台 社会科学系図書館・展示会・震災文庫 見学受入＞
- 31 (月)～11月1日 雑誌論文の探し方 (国内編・海外編) ＜於：自然科学系図書館＞
- <11月>**
- 2 (水) 第3回人文科学図書館 図書委員会
 Web of Science (自然科学編) 操作説明会 ＜於：自然科学系図書館＞
- 7 (月)～11 (金) トライやる・ウィーク 神戸市立長峰中学校 (2名)
 神戸市立上野中学校 (2名)
 神戸市立鷹匠中学校 (2名)
- 8 (火) シュプリンガー・イーブックセミナー2011 in 京都
 ＜於：メルパルク京都 受講：1名＞
- 9 (水) 第1回経済経営研究所図書館 図書委員会
 Web of Science (海事科学編) 操作説明会 ＜於：海事科学研究科＞
- 9 (水)～11 (金) 第13回図書館総合展 ＜於：パシフィコ横浜 出席：管理課長 他＞
- 10 (木) 第2回総合・国際文化学図書館 図書委員会
- 14 (月) 会計監査法人による期中監査
- 14 (月)～25 (金) 神戸大学史特別展「学生寮の青春譜—神戸大学史にみる寮文化—」巡回展
 ＜於：アカデミア館 主催：大学文書史料室＞
- 15 (火) 国立公文書館デジタルアーカイブズ調査 ＜於：大学文書史料室＞
 館長・副館長と学生との懇談会 ＜於：社会科学系図書館＞
- 16 (水) 日経メディアマーケティングとの打合せ
 ＜於：社会科学系図書館 出席：部長・両課長・雑誌情報係長＞
 日経テレコン21操作講習会 ＜於：社会科学系図書館＞
- 17 (木) 学生選書ツアー ＜於：ジュンク堂書店三宮店＞
- 17 (木)～18 (金) 雑誌論文の探し方 (国内編・海外編) ＜於：社会科学系図書館＞
- 18 (金) 近畿における機関リポジトリコミュニティ形成の支援
 ＜於：京都ノートルダム女子大学 出席：電子図書館係長＞
- 19 (土) 停電に伴う臨時休館 (海事科学分館)
- 21 (月)～25 (金) 韓国海洋大学校より研修者受入 (研修者2名)
- 22 (火) 第3回人間科学図書館 図書委員会
- 25 (金) 救急講習会 ＜於：図書館プレゼンホール 受講：4名＞
 平成23年度国立大学図書館協会シンポジウム 電子書籍と大学図書館
 ＜於：京都大学 出席：企画係長 他＞
- 29 (火) 日経メディアマーケティングとの打合せ
 ＜於：社会科学系図書館 出席：部長・両課長・雑誌情報係長＞
 雑誌論文の探し方 (国内編・海外編) ＜於：発達科学部＞
- 29 (火)～30 (水) 平成23年度学内会計事務研修 ＜於：理学研究科 受講：1名＞
- 30 (水) 第3回総合・国際文化学図書館 図書委員会
 PsycINFO/PsycARTICLES 説明会 ＜於：発達科学部＞

<12月>

- 1 (木) 雑誌論文の探し方 (国内編・海外編) <於: 発達科学部>
副館長と学生との懇談会 <於: 自然科学系図書館>
- 2 (金) 施設キャラバン <於: 社会科学系図書館
出席: 館長・部長・両課長・課長補佐 (社会)・管理係長>
- 5 (月) 第4回人間科学図書館 図書委員会
- 6 (火) 大学図書館近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会
<於: 関西学院大学 出席: サービス課長補佐 (海事) >
- 9 (金) 近畿における機関リポジトリコミュニティ形成の支援
<於: 奈良先端科学技術大学院大学 出席: 電子図書館係長>
- 12 (月) 大阪大学附属図書館 訪問 <於: 大阪大学 参加: 3名>
- 15 (木) 第5回大学文書史料室運営会議
<於: 社会科学系図書館 出席: 館長・部長・両課長・室長・室員>
「大学文書史料室」見学: 東京基督教大学図書館より1名来館
- 16 (金) 第2回社会科学系図書館 図書委員会
第2回海事科学分館 図書委員会
日本医学分館図書館協会近畿地区例会
<於: 医学部 出席: サービス課長補佐 (医学) >
広報研修会 <於: 瀧川 受講: 2名>
- 17 (土) 全国遺跡資料リポジトリ・ワークショップ
<於: 九州大学 出席: 電子図書館係長>
- 19 (月) 国立大学図書館協会近畿地区協会 事務連絡会
<於: 京都大学 出席: 部長・両課長>
- 21 (水) 第4回人文科学図書館 図書委員会
内閣府現地調査 <於: 大学文書史料室 出席: 部長・管理課長・室員>
オープン・アクセスとセルフ・アーカイビングに関する
著作権マネジメントプロジェクト (SCPJ3) に関する意見交換会
<於: 筑波大学 出席: 電子図書館係長>
- 21 (水) ~ 22 (木) XooNIps 研究会 2011 関西ワークショップ
<於: 大阪市立大学 出席: 2名>
- 21 (水) ~ 27 (火) 第3回附属図書館 運営委員会 (メール回議)
- 22 (木) 館長と学生との懇談会 <於: 保健科学図書室>
- 28 (水) 図書館員情報交換会
<於: 図書館プレゼンホール 出席: 附属図書館全職員>

<1月>

- 10 (火) 館長・副館長と学生との懇談会 <於: 総合・国際文化学図書館>
- 11 (水) ~ 12 (木) 東日本大震災アーカイブ国際合同シンポジウム
<於: 仙台国際センター 特別講演: 管理課長>
- 13 (金) 郷土文書類目録について打合せ <於: 社会科学系図書館
出席: 管理課長補佐 (社系) (自然)・電子図書館係長>
- 17 (火) 館長・副館長と学生との懇談会 <於: 人間科学図書館>
大正大学ラーニングコモンズ 見学・調査
<於: 大正大学 参加: 1名>
- 17 (火) ~ 20 (金) 会計検査院による会計実地検査
- 18 (水) 「震災文庫」視察: 仙台市民図書館より2名来館

- 18 (水) 「震災文庫」視察：仙台市民図書館より2名来館
韓国漢城大学より10名来館 <於：自然科学系図書館>
- 18 (水)～20 (金) 平成23年度日本古典籍講習会
<於：国文学研究資料館・国立国会図書館 受講：1名>
- 20 (金) 第3回館長・副館長・分館長懇談会 <於：社会科学系図書館>
第4回附属図書館運営委員会 <於：社会科学系図書館>
- 20 (金)～2月9日 資料展「神戸ことはじめー外国人のいた風景ー」
<於：アカデミア館 主催：附属図書館>
- 23 (月) 愛媛大学図書館学術講演会 <於：愛媛大学 講師：電子図書館係員>
- 24 (火) 資金管理に関する内部監査
<於：総合・国際文化学図書館・自然科学系図書館・人文科学図書館>
大学図書館近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会
<於：関西学院大学 出席：サービス課長補佐(海事)>
- 24 (火)～26 (木) 平成23年度アーカイブズ研修Ⅱ <於：国立公文書館 受講：室員>
- 26 (木) 紀伊国屋・IDECとの打合せ <於：社会科学系図書館>
人文学研究科C棟改修についての打合せ
- 27 (金) 資金管理に関する内部監査 <於：大学文書史料室>
- 31 (火) 第3回 SPARC Japan セミナー2011
「学術情報流通の新たな展開ー研究者・学会とオープンアクセスー」
<於：岡山大学 出席：システム情報係員>

<2月>

- 3 (金) 「震災文庫」見学：三国立大学法人監事会より10名来館
- 3 (金)～5 (日) 第5回21世紀ミュージアム・サミット
<於：湘南国際村センター ゲストスピーカー：管理課長>
- 6 (月)～16 (木) 神戸大学史特別展「学生寮の青春譜ー神戸大学史にみる寮文化ー」巡回展
<於：東京六甲クラブ>
- 7 (火) 人文学研究科C棟改修についての打合せ
平成23年度国立大学図書館協会シンポジウム
<於：東京大学 出席：管理課長補佐(自然)>
- 7 (火)～8 (水) オーダーメイドガイダンス <於：保健科学図書室>
- 8 (水) 第5回人文科学図書館 図書委員会
- 9 (木) 「震災文庫」見学：国立国会図書館より3名来館
目録システム/ILLシステム講習会担当者会議
<於：国立情報学研究所 出席：目録情報係長>
- 14 (火) オーダーメイドガイダンス <於：国際文化学研究科>
ワークショップ「研究者と論文を結びつけるために～研究者 ID サミット2～」
<於：大阪市立大学 出席：電子図書館係長>
- 16 (木) 「大学文書史料室」見学：学習院大学より1名来館
兵庫県大学図書館協議会研究会：
大学図書館における教育支援のあり方について
<於：甲南大学 出席：企画係長・リテラシー係長 他>
- 20 (月) 六甲台6部局合同自衛消防訓練
<於：六甲台1団地本館・六甲台正門前 参加：6名>
日本図書館研究会第53回研究大会

- 21 (火) 会計監査人による期中監査 <於：社会科学系図書館>
平成23年度大阪大学附属図書館シンポジウム
<於：大阪大学 出席：サービス課長補佐(医学) 他>
- 21 (火) ~ 22 (水) 被災地図書館との震災資料の収集・公開に係る情報交換会
<於：震災文庫ほか 出席：管理課長 他>
- 23 (木) 第3回社会科学系図書館 図書委員会
第5回人間科学図書館 図書委員会
- 29 (水) 第4回総合・国際文化学図書館図書委員会
鶴甲第1キャンパス自衛消防訓練
<於：鶴甲第1キャンパス 参加：3名>
大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会 <於：関西学院大学
出席：部長・管理課長・サービス課長補佐(海事)>
第5回 SPARC Japan セミナー2011「OA メガジャーナルの興隆」
<於：国立情報学研究所 出席：電子図書館係員>
第3回保健科学図書室 図書委員会

<3月>

- 1 (火) 「大学文書史料室」見学：熊本大学より1名、立教大学より5名来館
第3回医学分館図書委員会
- 1 (火) ~ 7 (水) 入退館システム導入に伴う臨時休館 (社会科学系図書館)
- 2 (水) 第2回自然科学系図書館 図書委員会
第2回経済経営研究所図書館 図書委員会
第3回海事科学分館 図書委員会
「大学文書史料室」見学：
東北大学学術資源研究公開センター史料館より1名来館
- 7 (水) 第6回人文科学図書館 図書委員会
- 13 (火) 平成23年度文書管理者研修 <於：国際文化学部 受講：2名>
「大学文書史料室」見学：九州大学文書館より2名来館
- 17 (土) ~ 21 (水) 入退館システム導入に伴う臨時休館 (医学分館)
- 21 (水) 第4回館長・副館長・分館長懇談会 <於：社会科学系図書館>
第5回附属図書館 運営委員会 <於：社会科学系図書館>
- 22 (木) 研修会「多様な利用者への多様な対応～
人的トラブルを未然に防ぐためのコミュニケーション・スキル～」
<於：大阪大学 受講：2名>
- 22 (木) ~ 23 (金) 入退館システム導入に伴う臨時休館 (保健科学図書室)
- 23 (金) 神戸大学学位授与式 <於：神戸ポートアイランドホール 出席：館長>
- 27 (火) 「震災文庫」見学：福島大学附属図書館より4名来館
- 28 (水) 永年勤続者表彰式 <於：六甲ホール>
- 29 (木) 第2回係長会議 <於：社会科学系図書館>
- 30 (金) 「震災文庫」見学：盛岡大学より2名来館